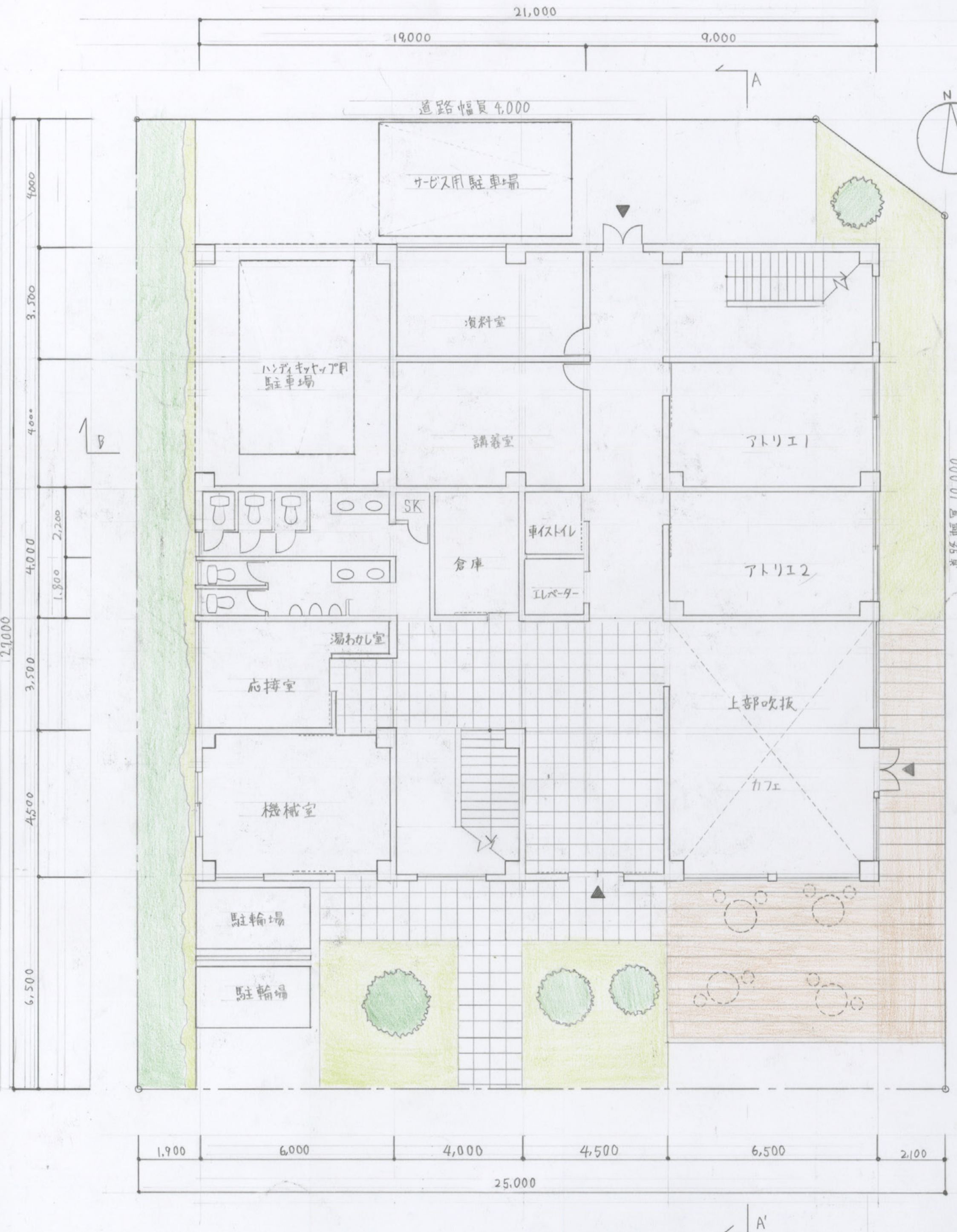


大和の間



コンセプト
 今回の名産物「きりこたん」を作る体験ができる施設を考えた。通行人の目にとまるよう、カフェの位置を道路面に置き、体験だけでなくカフェの飲食を目的とし、この施設を利用してもらうようにした。また、テラスを東と南の2つ設け、窓を多く設置して、より多くの光を取り入れ、建物内の密閉感を与えない空間を作り出し、そして、車椅子を使用する人がアトリイや展示ルームなどの各部屋に行きやすいよう施設の中心にエレベーターを配置し動線を短くした。

面積表

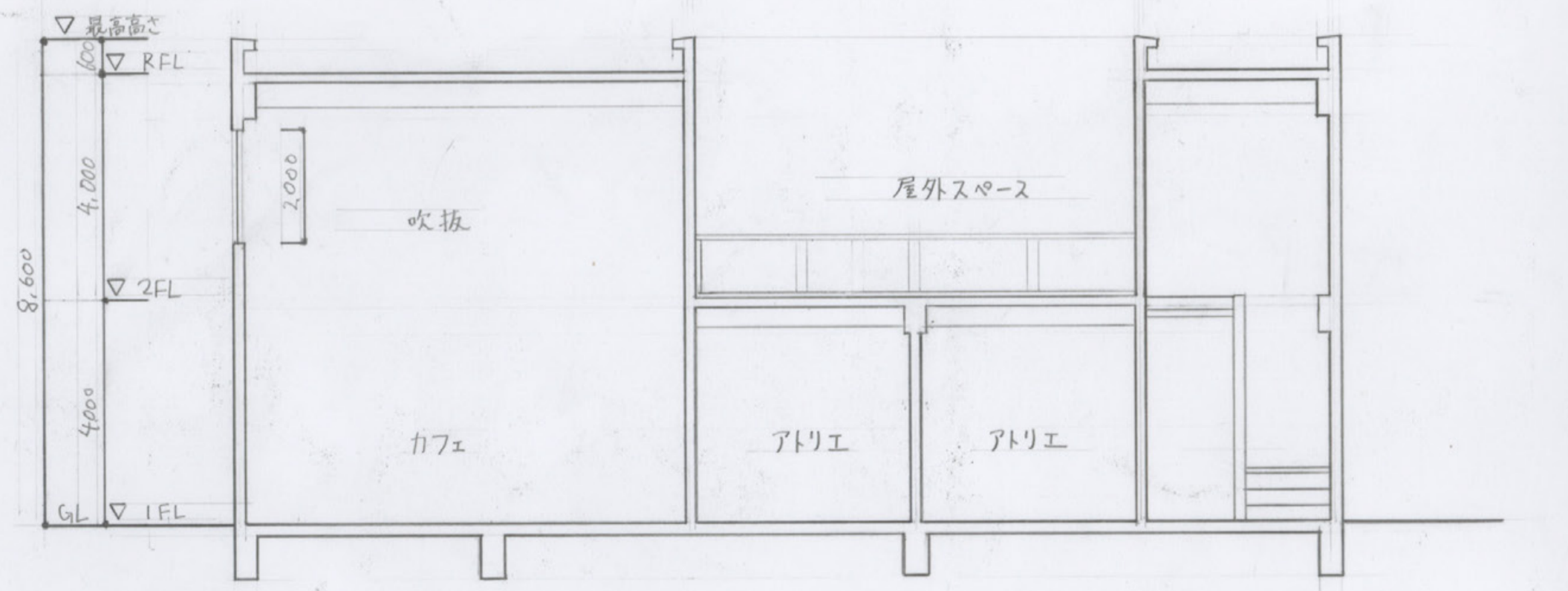
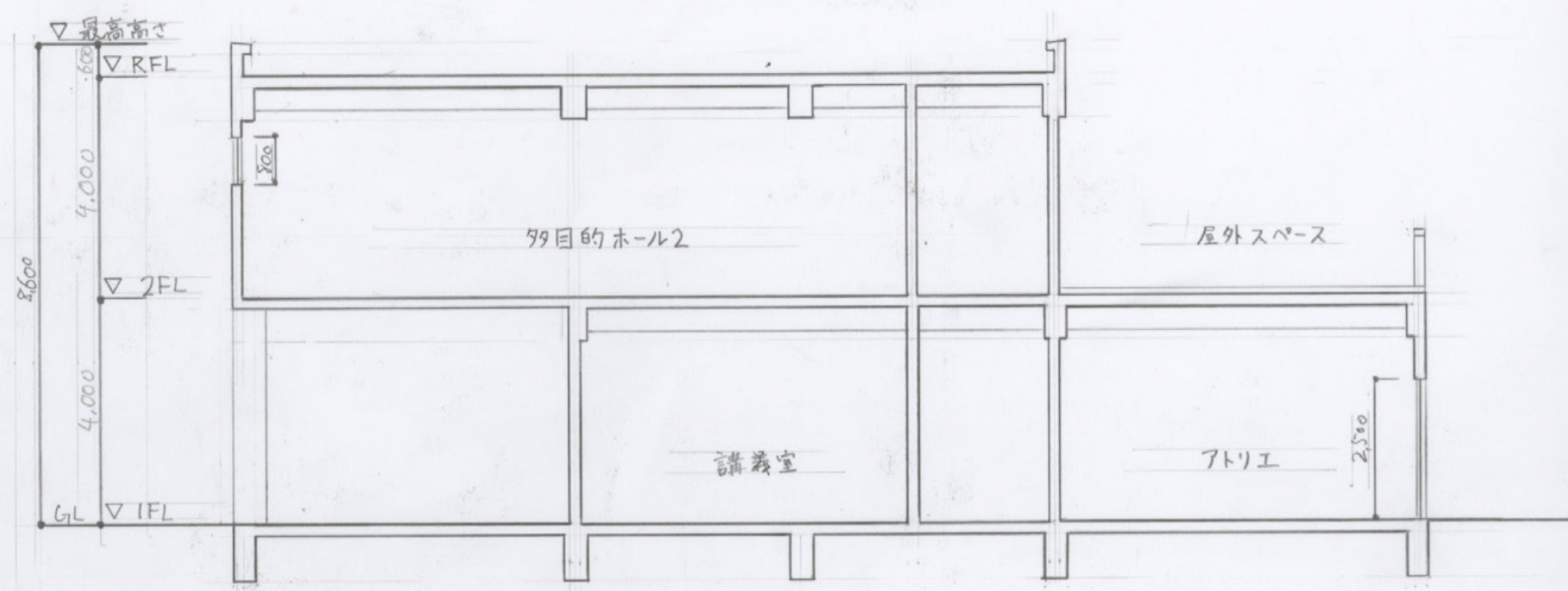
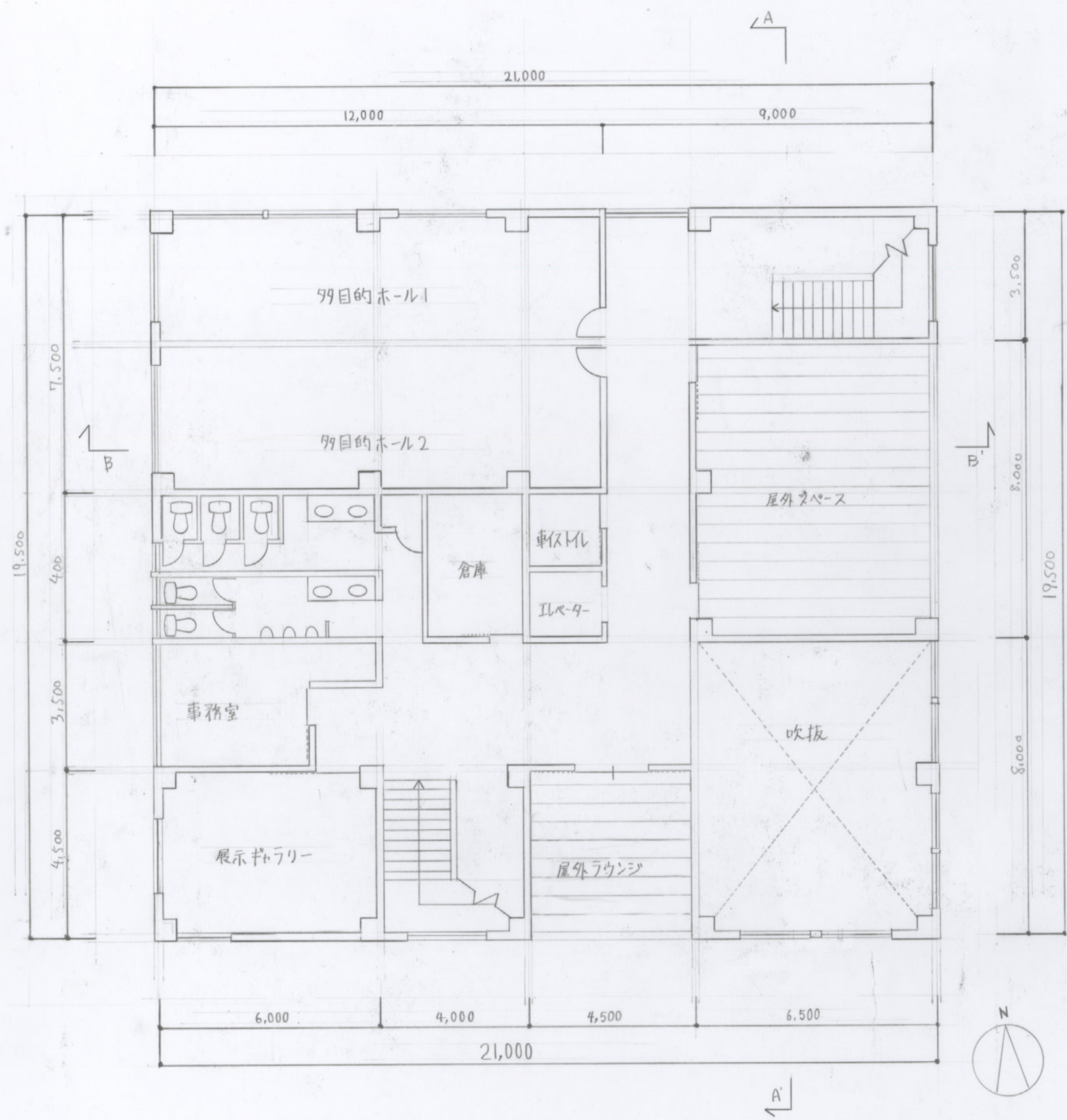
敷地面積	744 m ²
建築面積	409.5 m ²
1階床面積	364.5 m ²
2階床面積	305.5 m ²
延べ床面積	670 m ²

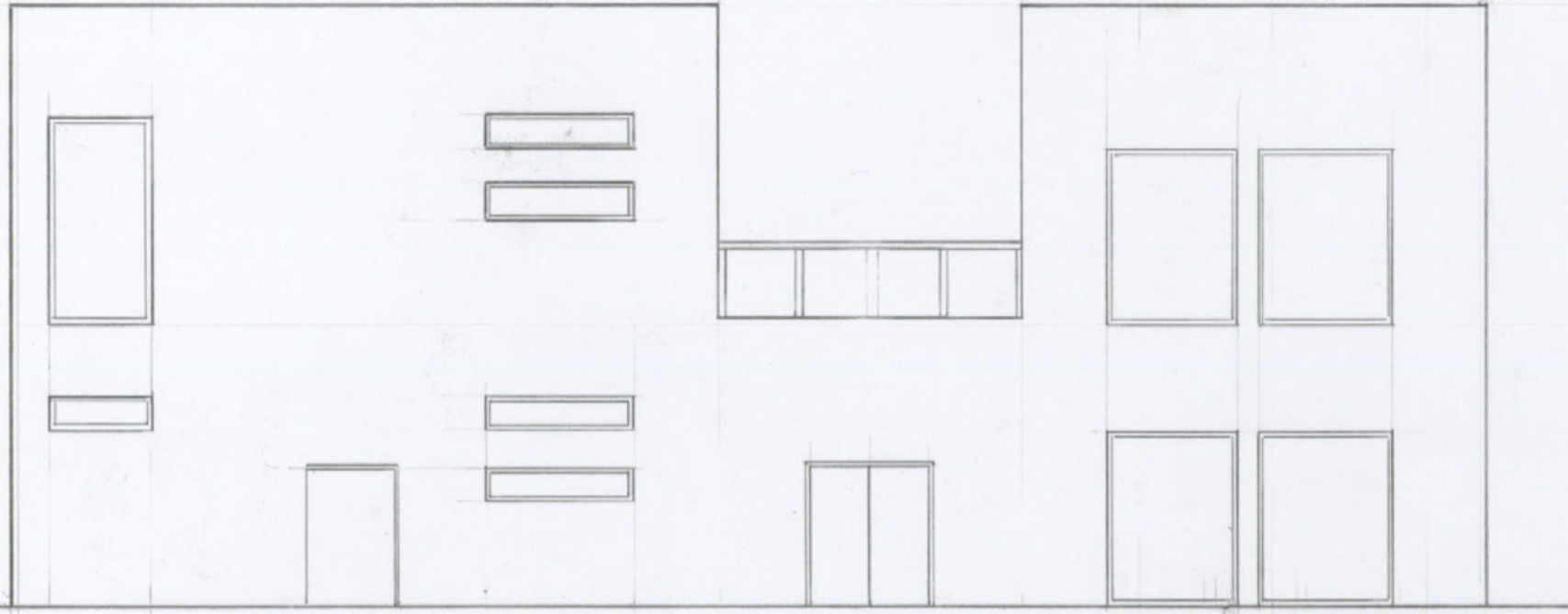
仕上がり表

外部	
壁	ガルバリウム鋼板
屋根	セロセラタイル
内部	
アトリイ	床・木フローリング 壁・不燃PBt12.5 漆喰 フラット仕上げ 天井・不燃PBt9.5塗装
多目的ホール	床・木フローリング 壁・不燃PBt12.5 漆喰 フラット仕上げ 天井・不燃PBt9.5塗装
展示室	床・杉板貼 壁・PBペンキ塗り 天井・不燃PBt9.5塗装
カフェ	床・杉板貼 壁・漆喰 天井・不燃PBt9.5塗装
トイレ	床・磁器タイル150mm 壁・陶器タイル150mm 天井・不燃PBt9.5塗装

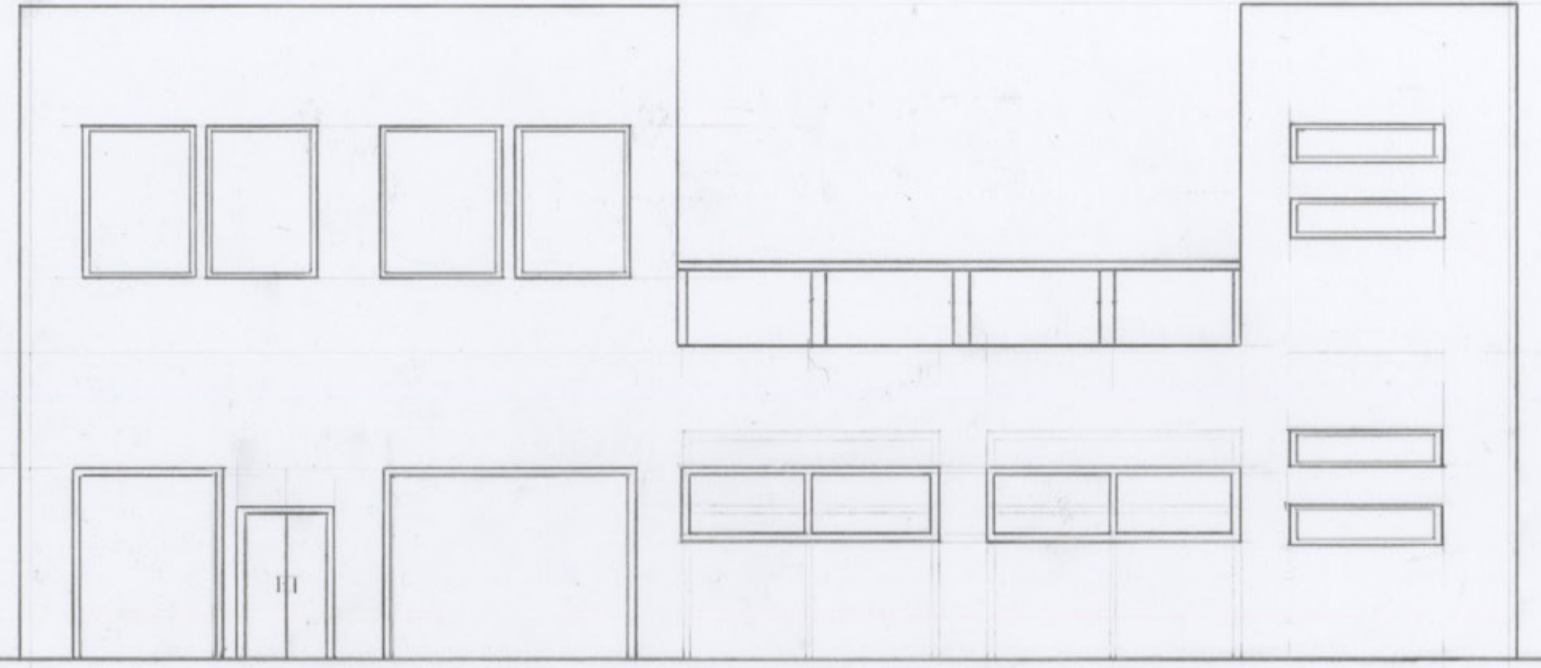


1階平面図兼配置図 1/100

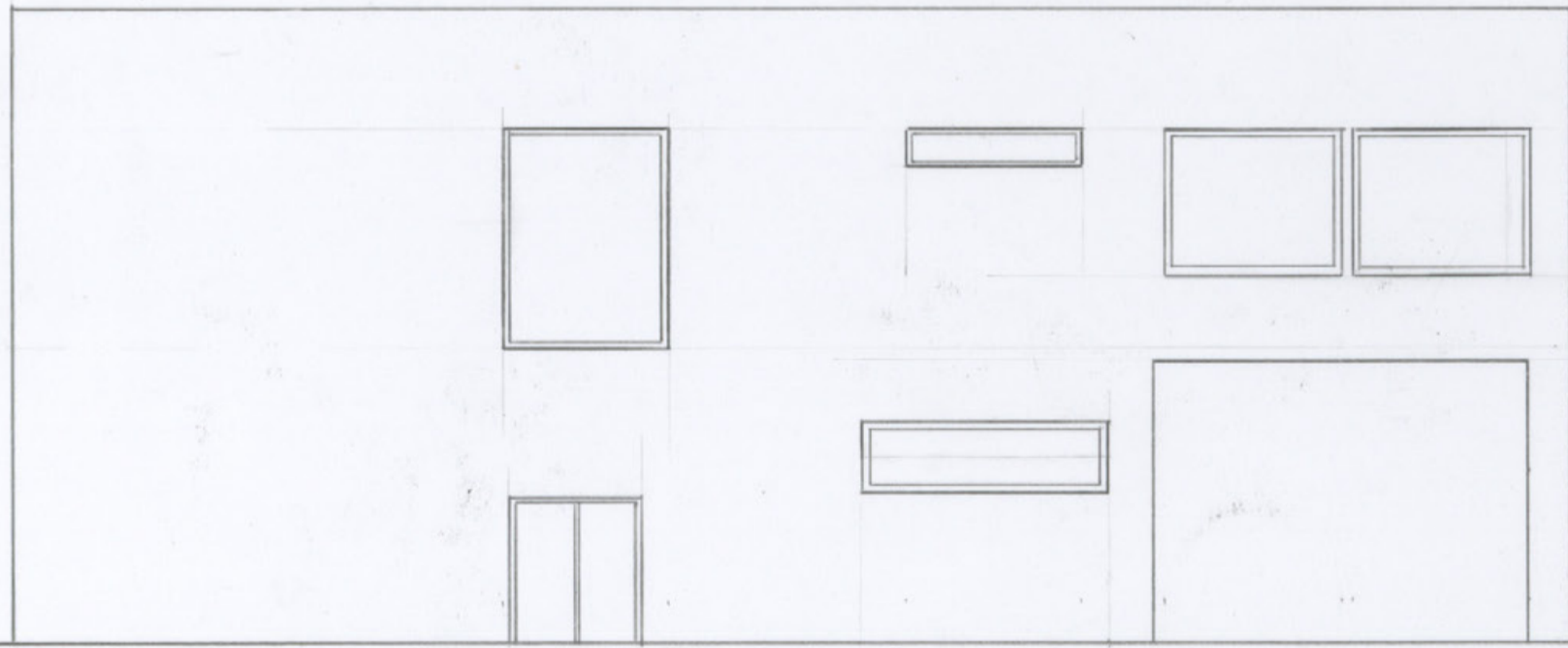




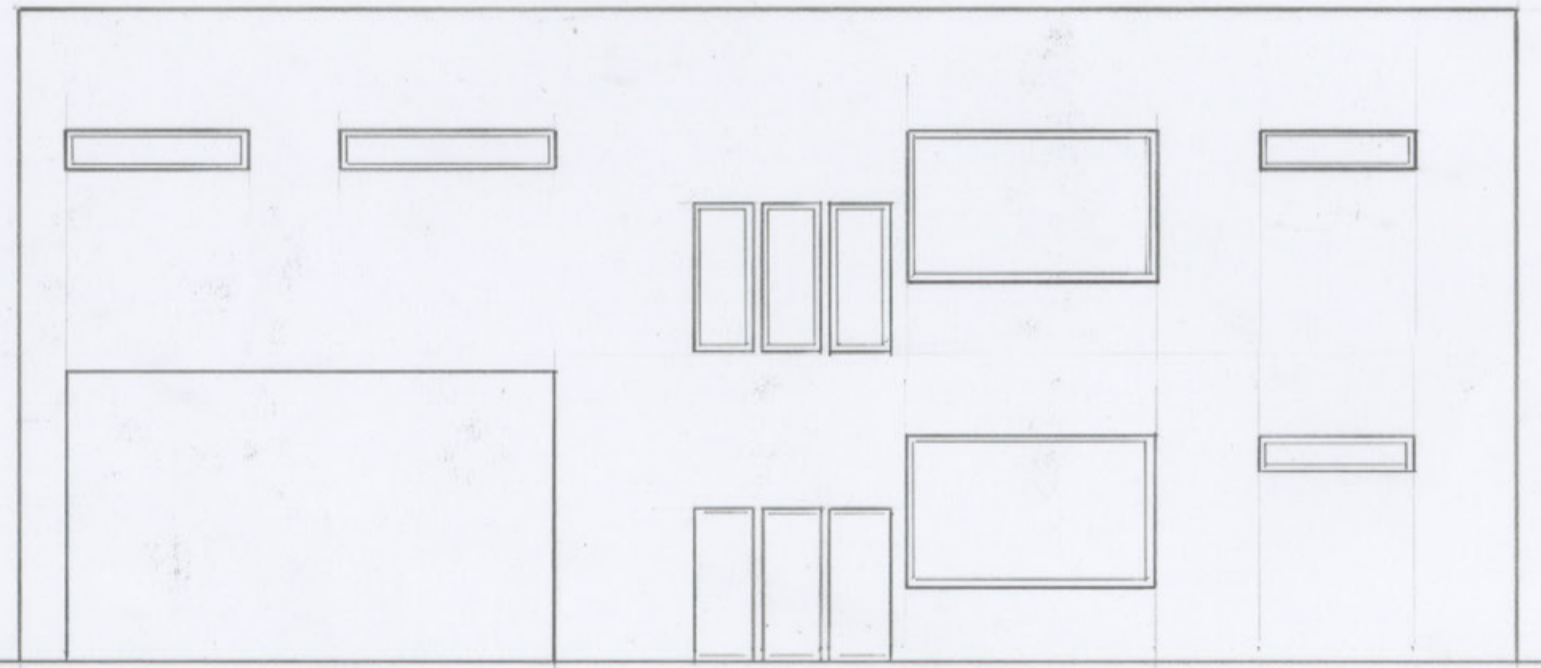
南立面图 1/100



东立面图 1/100



北立面图 1/100



西立面图 1/100



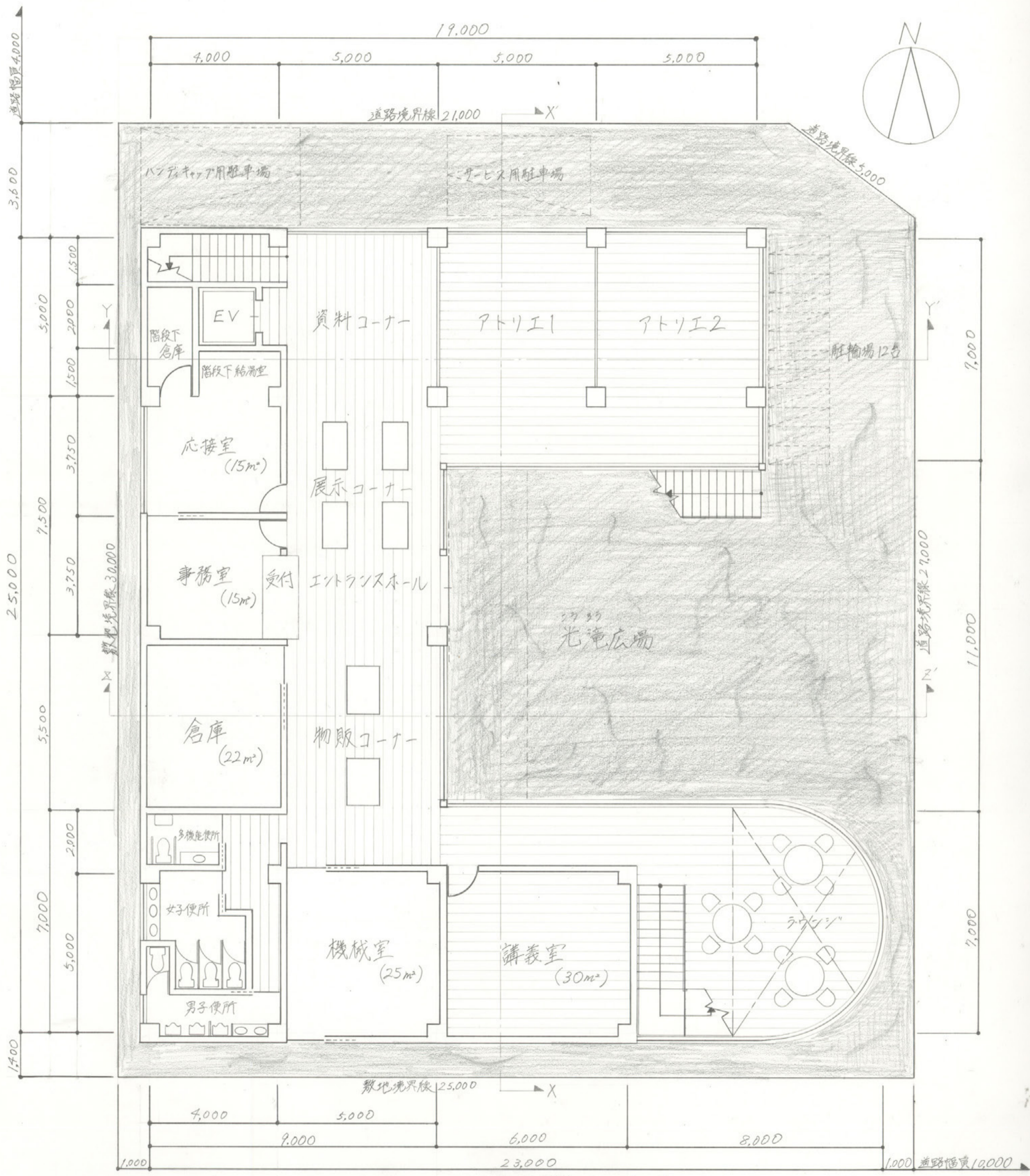
設計趣旨

この建物のコンセプトはタイトルにもある通り、「流動する吉野」をメインとしています。今回の奈良の文化により親しみを持ち、もたらさるべきこととして、今回私が考えたいのは、吉野山や吉野川などの豊かな自然と国宝である金峯山寺蔵王堂を始めとする名所、吉野葛や柿の葉寿司、桜ようかんを有する吉野地域です。

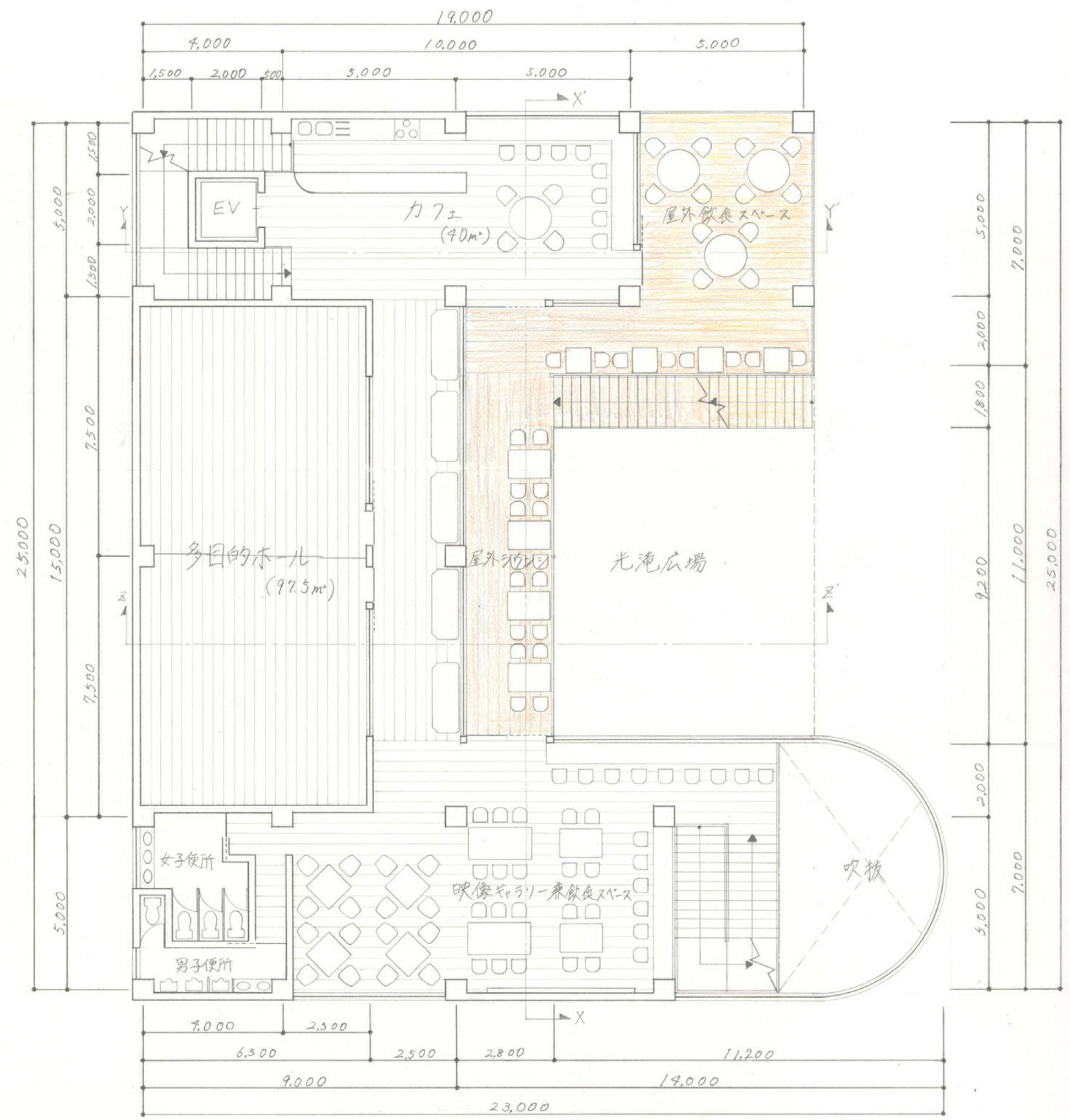
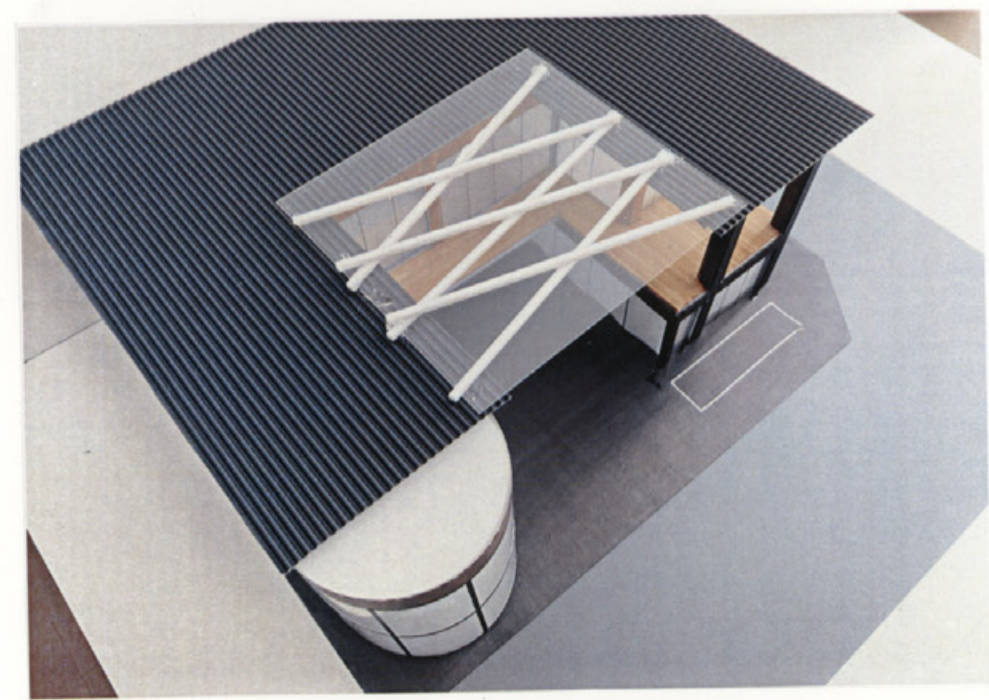
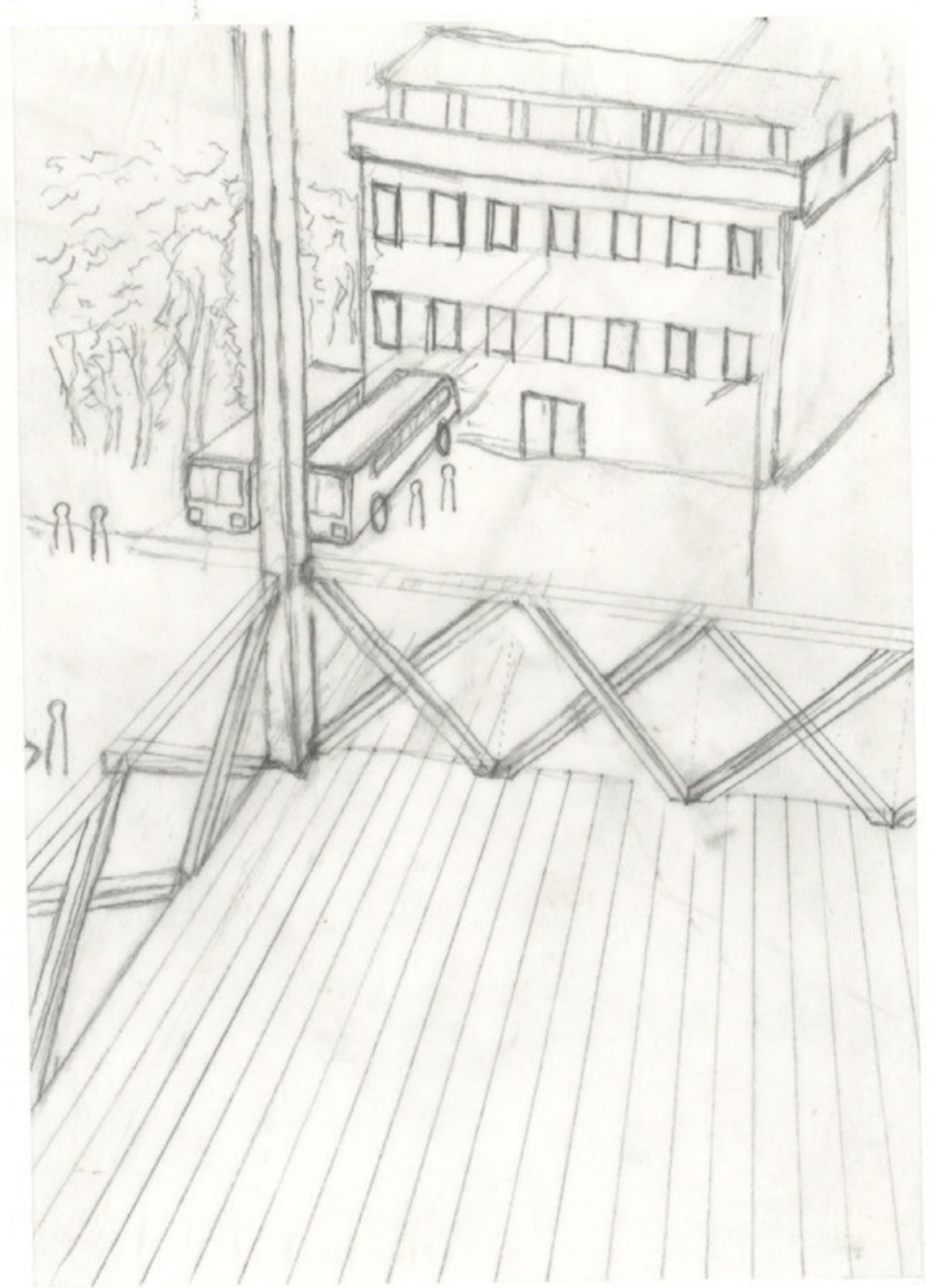
なせ単体の文化ではなく、吉野地域全体をチョイスしたかというと、近年吉野地域の財政を支えてきた林業が吉野杉と吉野檜の価格の大幅な下落により衰退しているのにも関わらず、町全体は少子高齢化の影響で若者からず活気をなくしてきています。そのため、吉野地域では町を活性化させるために町全体で様々な取り組みを行っており、その手助けが出来ればいいと思。そこで、この文化施設を通じて吉野地域の魅力に触れたい。観光客の観光ルートにもなることから、観光客に利用してもらい、吉野地域に興味を持ってもらう。また、地元の人々にも吉野地域の魅力を伝え、移住してもらえそうな「流れ」を作り出せる。かっこいいなと思、このコンセプトにしました。

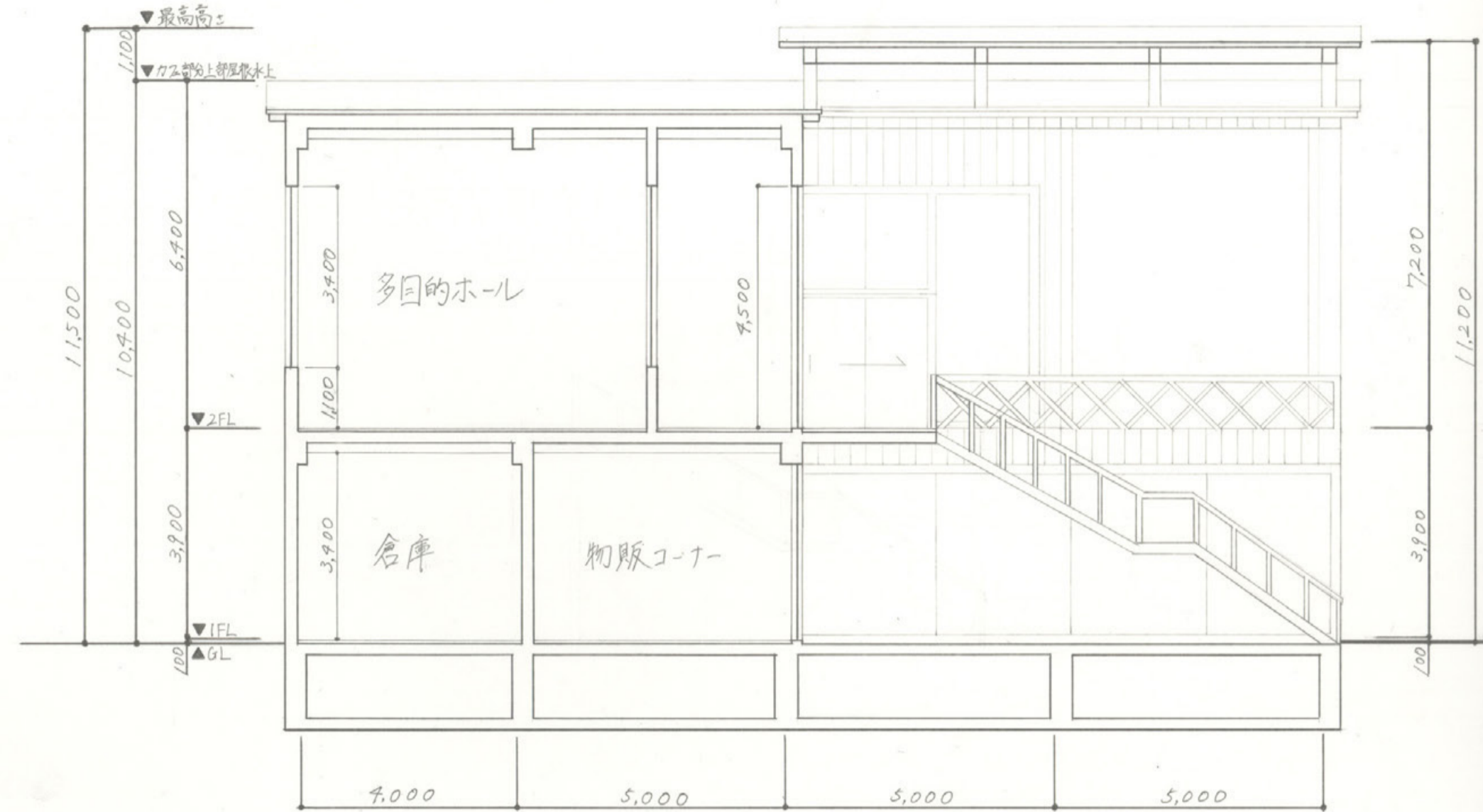
そのための取掛かりとして全身で吉野を感じてもらえるため、吉野杉をメインの部材として押し出しました。まず、吉野杉を使いアトリエ+小物造りを体験してもらい、そこからカフェや柿の葉寿司や桜ようかんなどを買ってもらい、屋外テラスで五重塔を見ながら吉野杉の匂いを感じながら食べる。もしくは映像ギャラリー兼飲食スペースで吉野地域のことで知ってもらいながら食べる。そしてその中から興味を持つ。事務所には講義室+講義を受けたい。物販コーナーで土産を買いたい。という動線の流れを作りました。また、地元の子供たちが勉強場所として利用できるように外から直接カフェ飲食スペースに行けるように外階段を設けました。光滝広場は、屋根から下から吉野杉の格子から漏れる光が光滝の滝のように見えるためこのように名付けました。

仕上表		面積表		
外部仕上	屋根	ガルバリウム鋼板		
	外壁	吉野杉、焼杉、ト、アコート透明FRP		
	床	凝灰岩		
内部仕上	床	壁	天井	
	エントランスホール	吉野杉フローリング	吉野杉3mm	漆喰
	多目的ホール	吉野杉フローリング	漆喰	吉野杉5mm
	アトリエ	吉野杉フローリング	吉野杉格子	漆喰
	カフェ	吉野杉フローリング	吉野杉3mm	吉野杉化粧垂木
		床面積	延べ床面積	
		1F	383.85 m ²	
		2F	395.00 m ²	
			778.85 m ²	

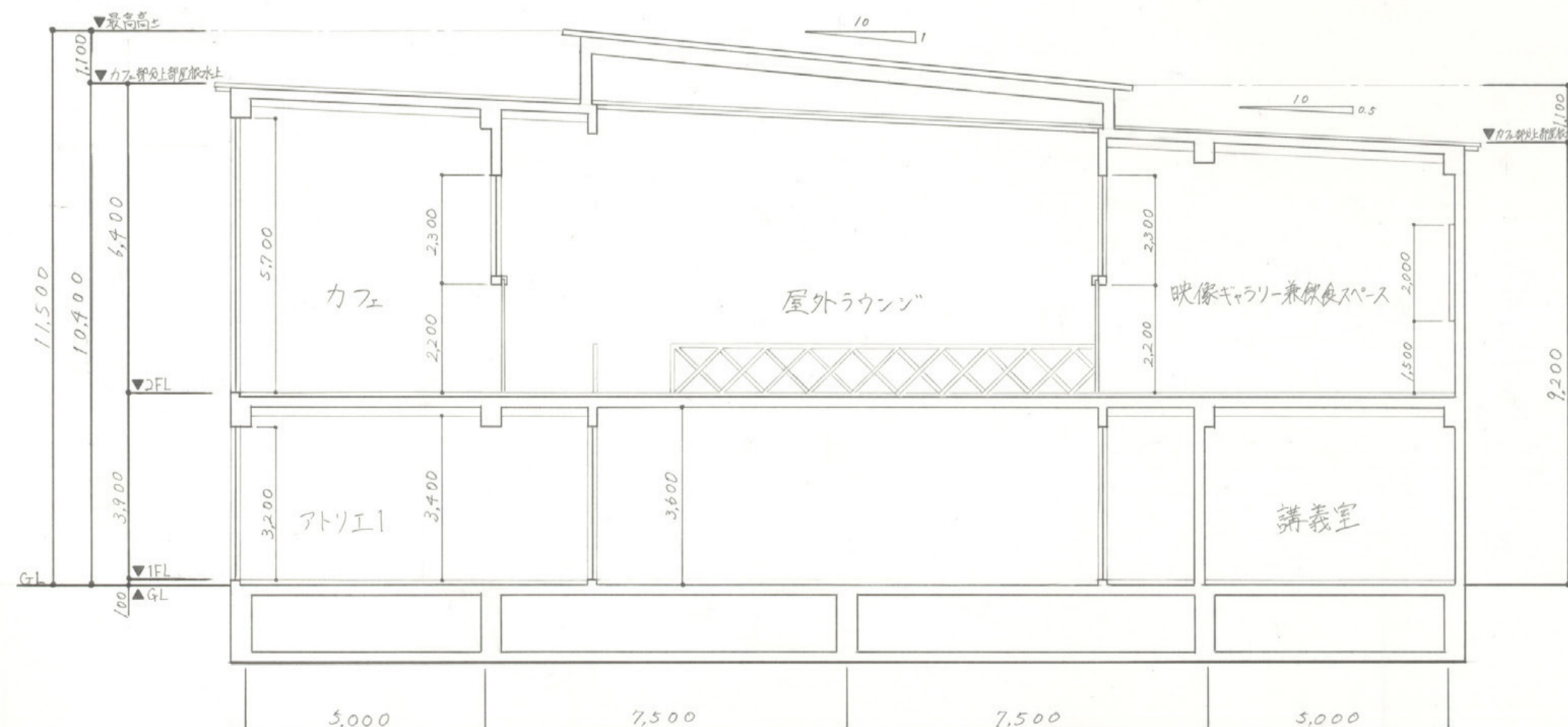


1階平面図兼配置図 S-1/100

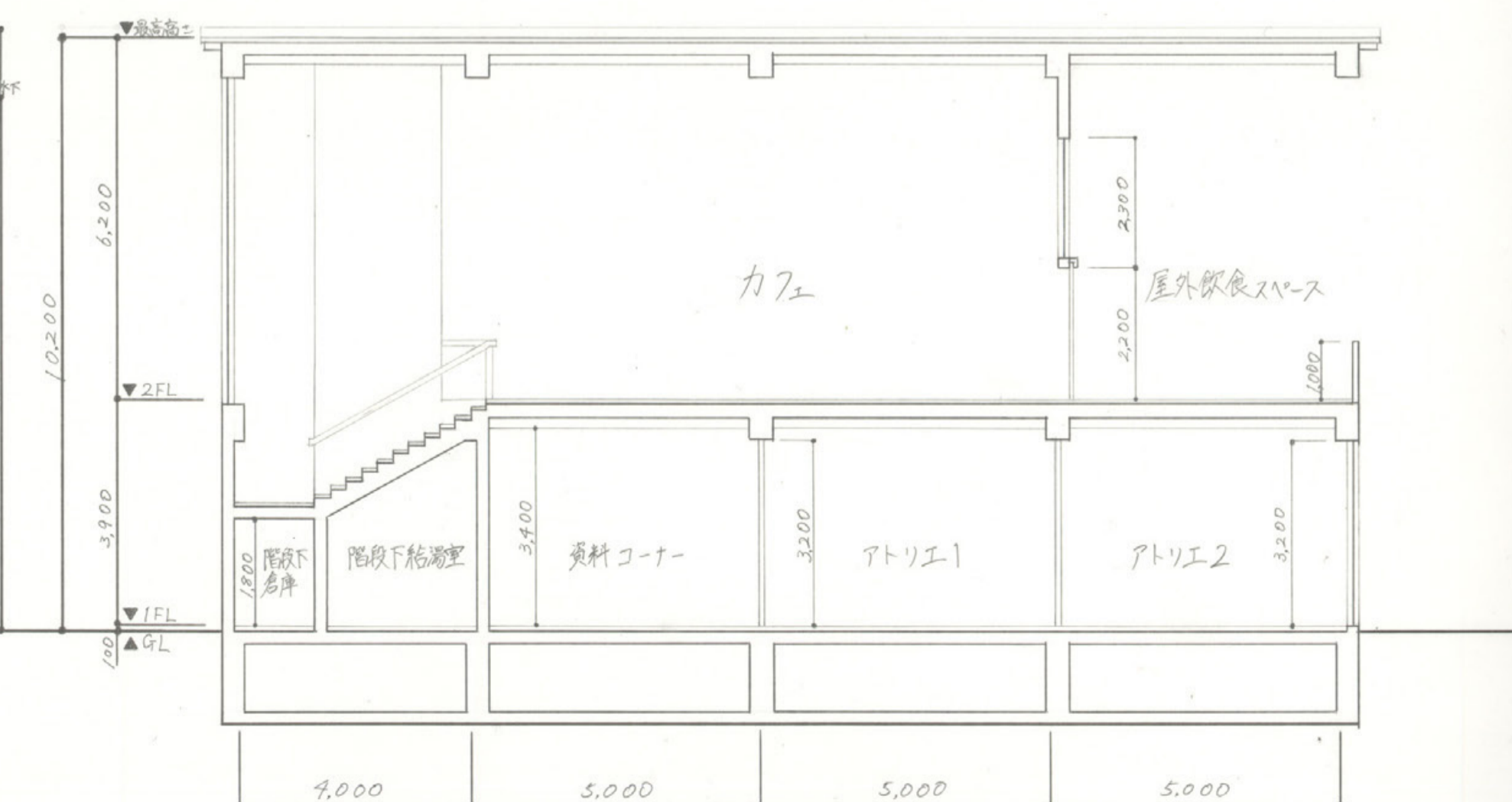




Z-Z'断面図 S=1/100



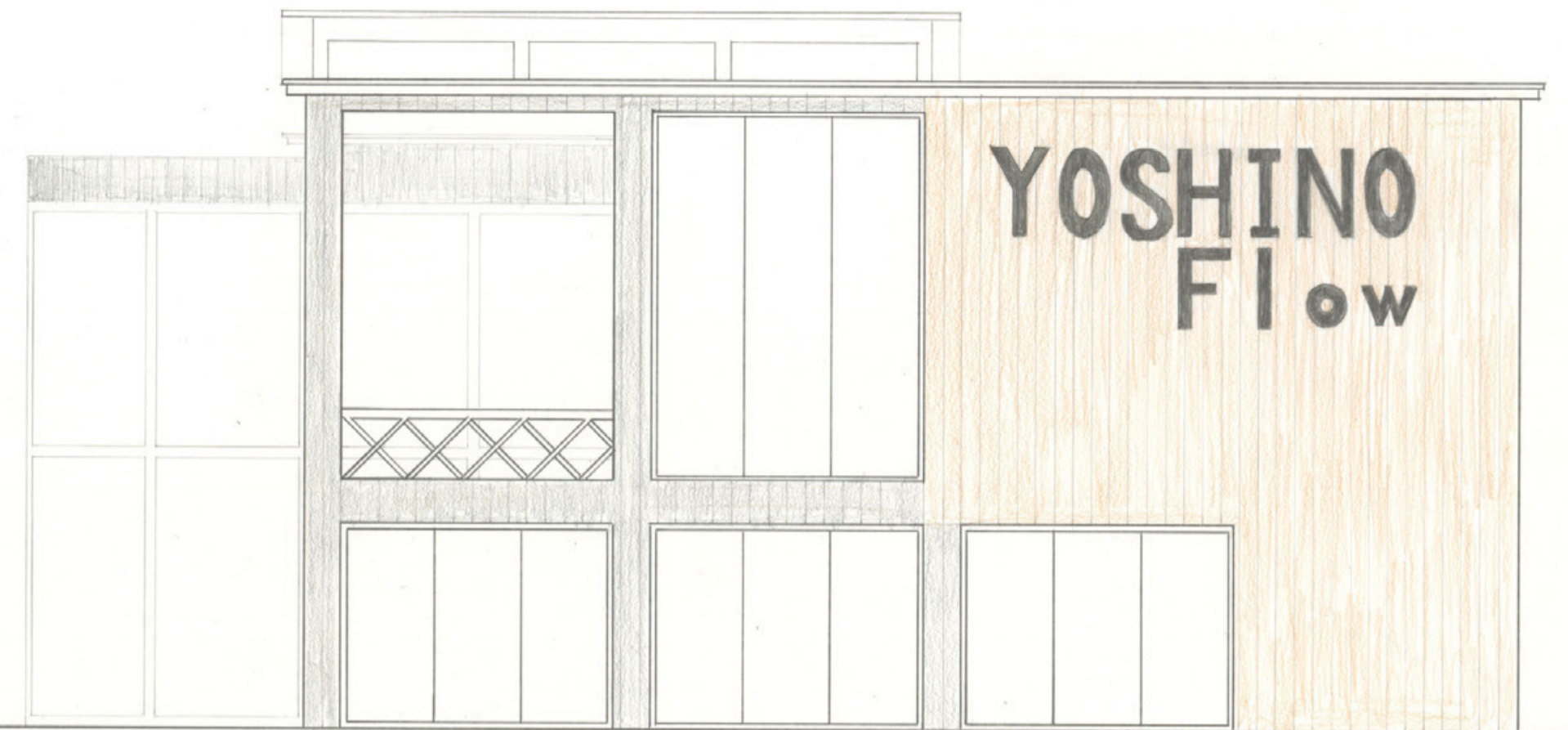
X-X'断面図 S=1/100



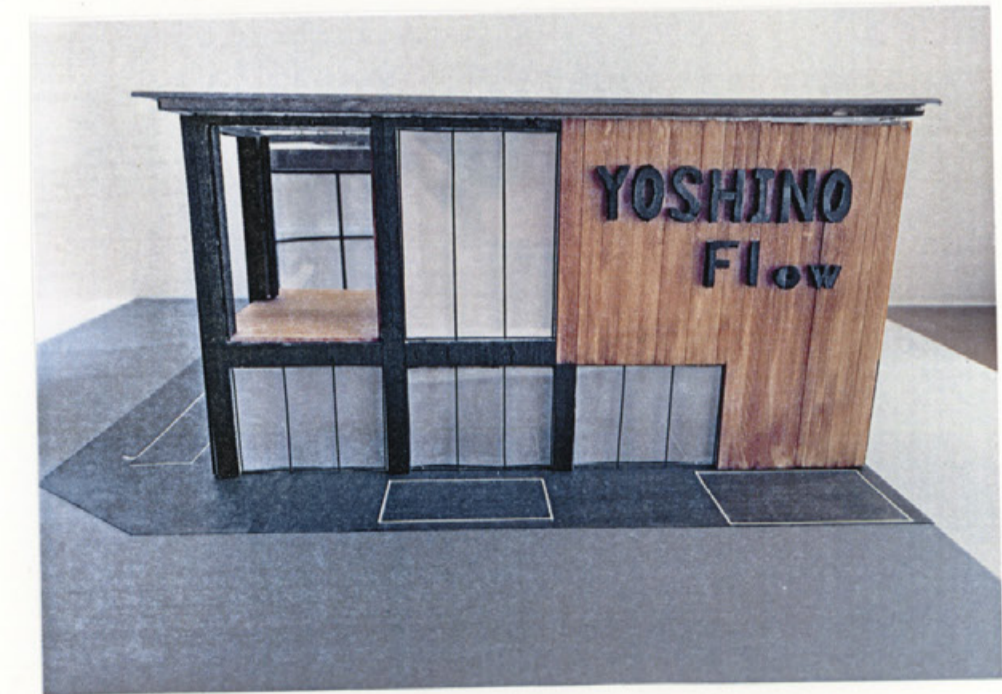
Y-Y'断面図 S=1/100



東立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100





西立面图 S=1/100



南立面图 S=1/100



『ちぐはぐ』

コンセプト

この建物のコンセプトは『ちぐはぐ』です。『ちぐはぐ』とは二つ以上のモノが食い違ったり揃わないさまを指し、それを建物全体で表現しました。この建物は茶道の体験ができる施設です。茶道といえば閑寂な空間の中、少数でお茶を楽しむのが主流ですが、この施設は茶道の体験ができる部屋を含めたほとんど全ての部屋が建物中央部分の中庭を介して「外」と接しています。この様にこの施設は一部部屋の外に出るといっても「外」を感じる事ができ、茶道とは閑寂な空間で行うものという固定概念を払拭できるような設計にしました。

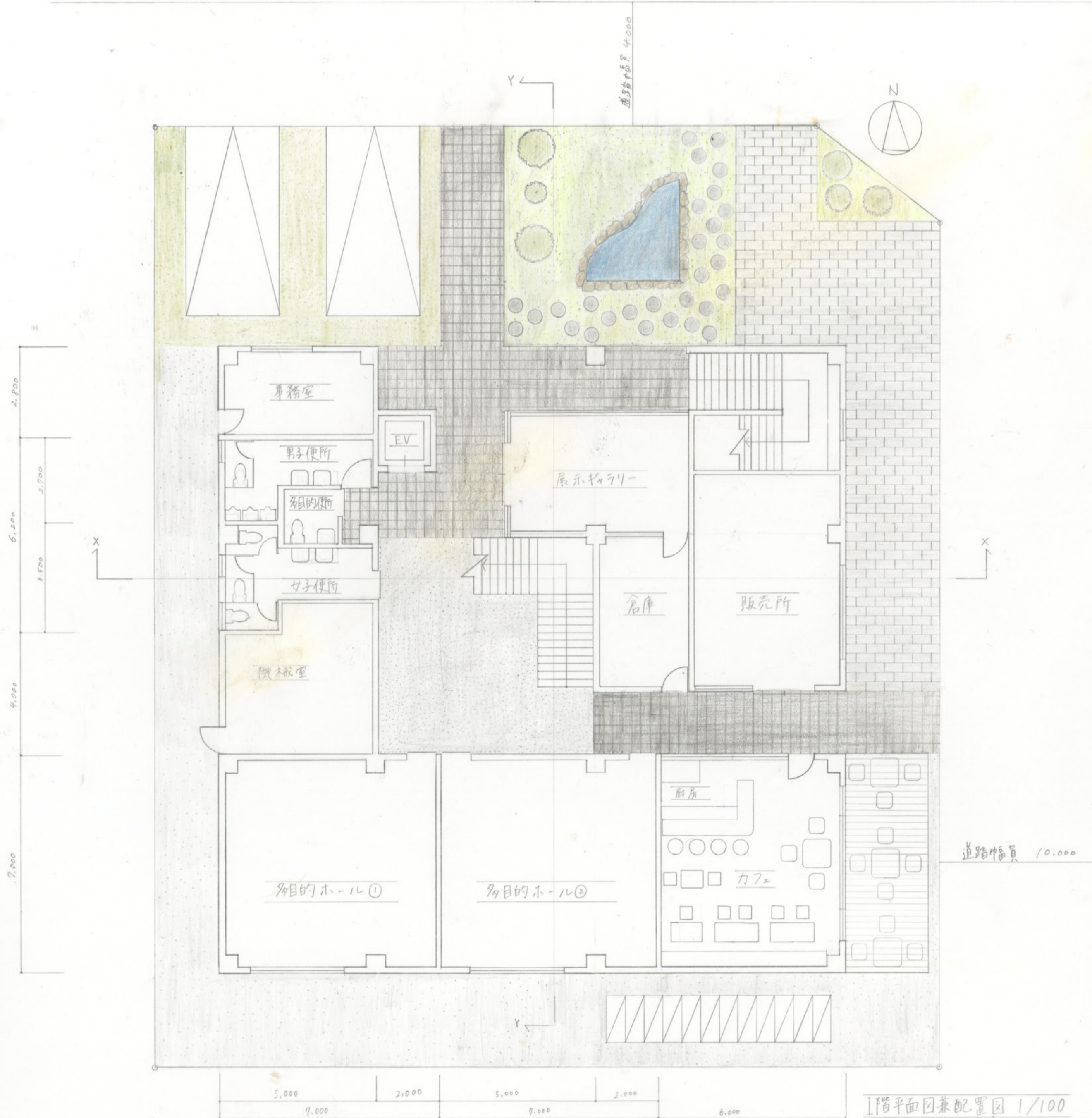
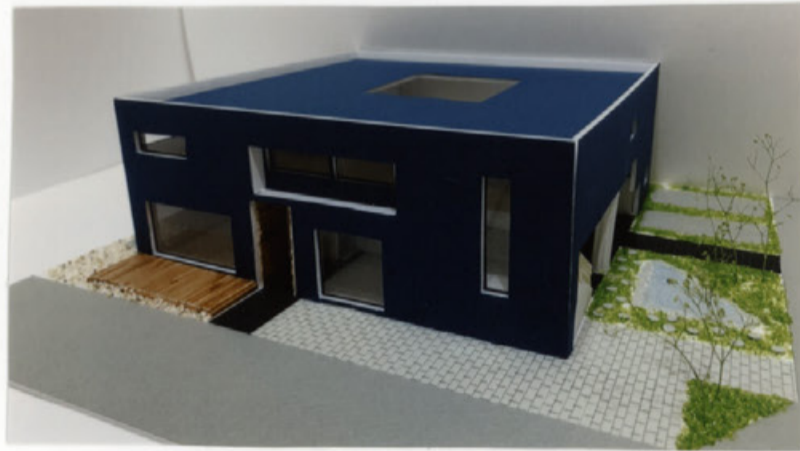
さらに外部仕上げはカルバリウム網板を用いて落ち着いた雰囲気に見せる一方で中庭には沢山水を使用し、日本文化である茶道の温かみを感じられる設計にしました。

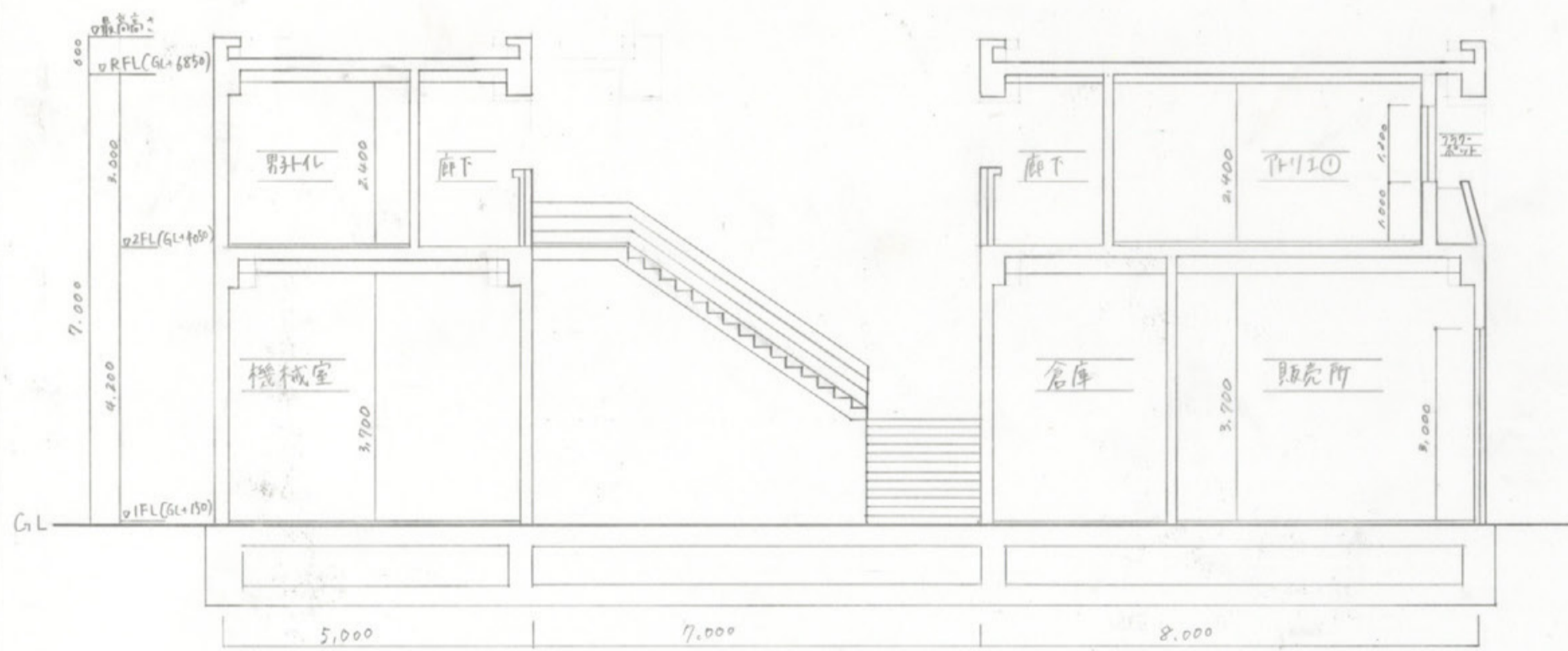
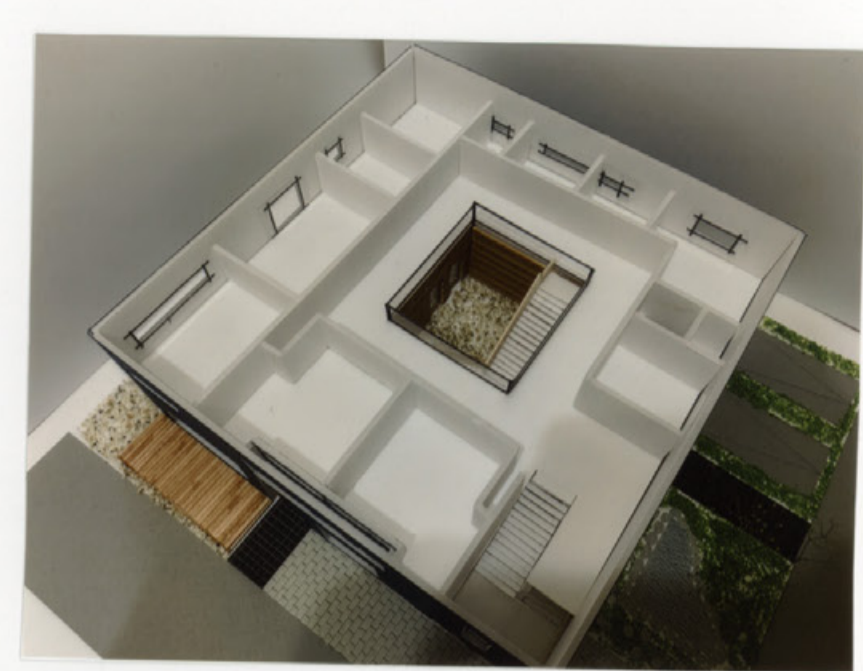
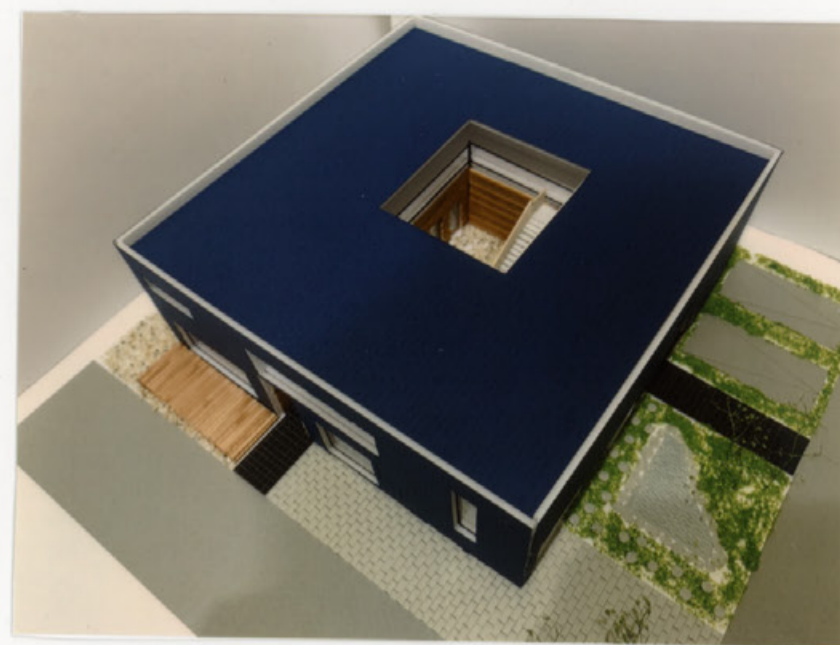
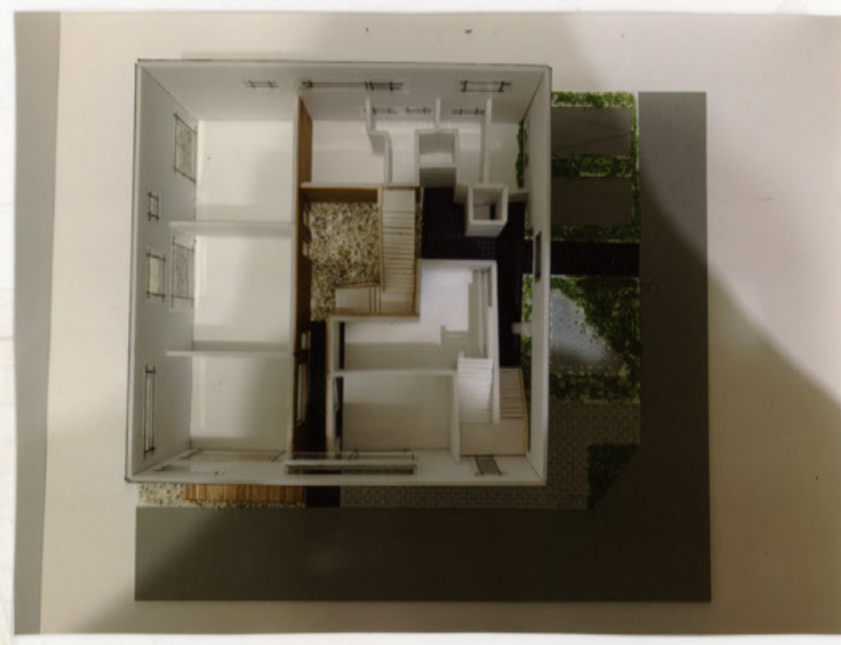
仕上げ表

外部仕上げ	壁: カルバリウム網板
	床: 御景石, 砕石砂利
	屋根: カルバリウム網板
内部仕上げ	1階 床: フローリング 壁: EP塗装 天井: EP塗装 中庭: 玉砂利洗い出し
	2階 床: フローリング 壁: EP塗装 天井: EP塗装 トイレの床: 無塗装木目量

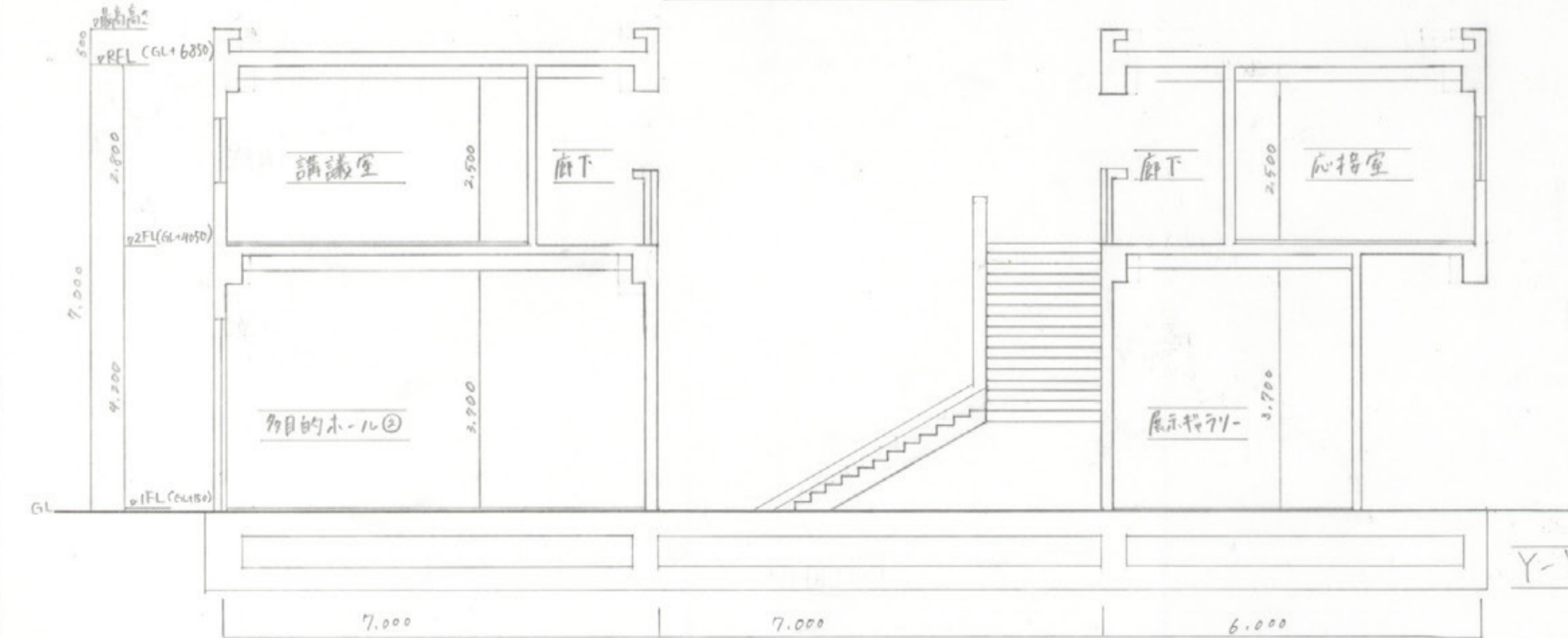
面積表

建築面積	400.00㎡
敷地面積	744.00㎡
1階	303.00㎡
2階	351.00㎡
延床面積	654.00㎡

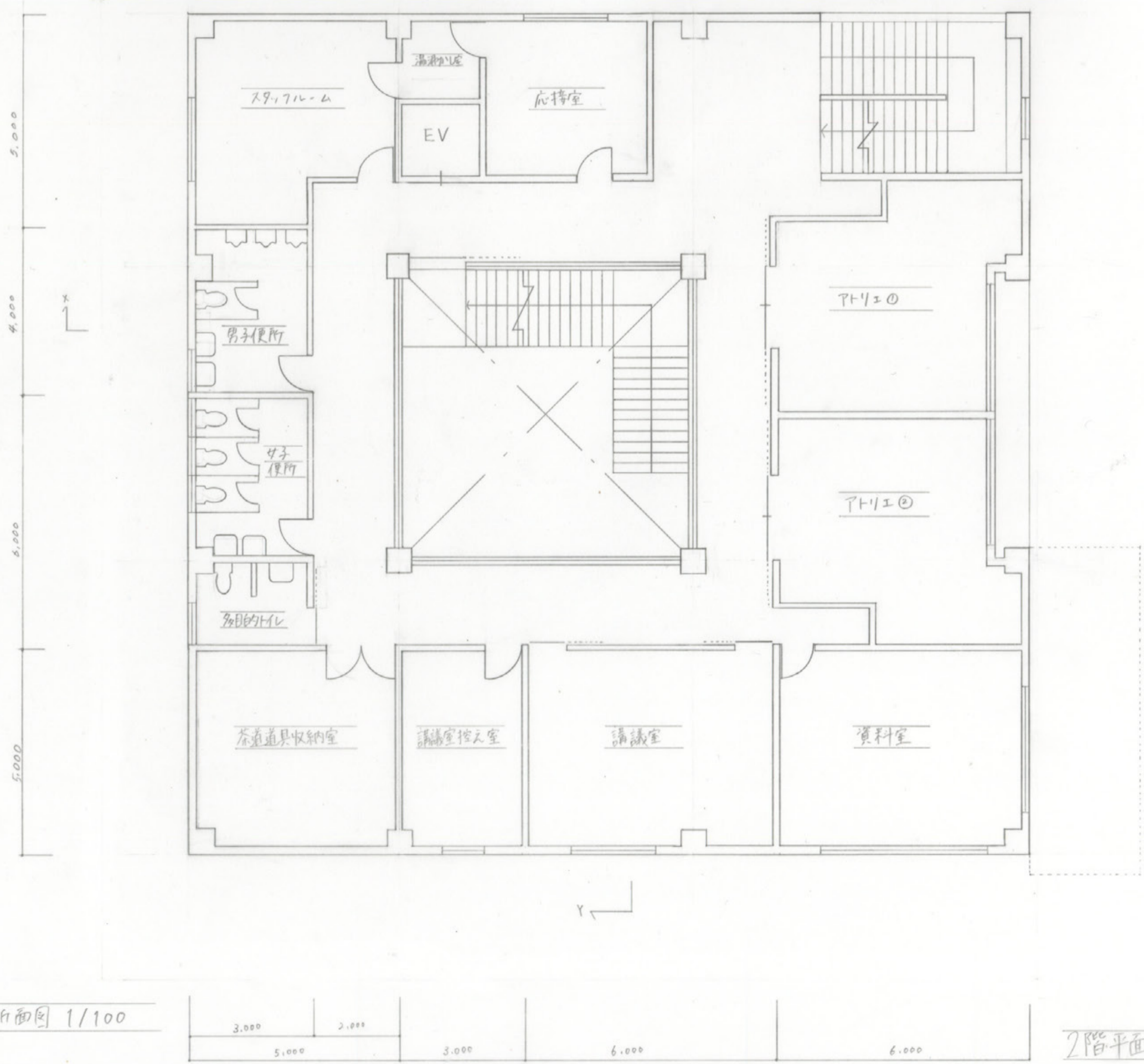




X-X断面図 1/100



Y-Y断面図 1/100

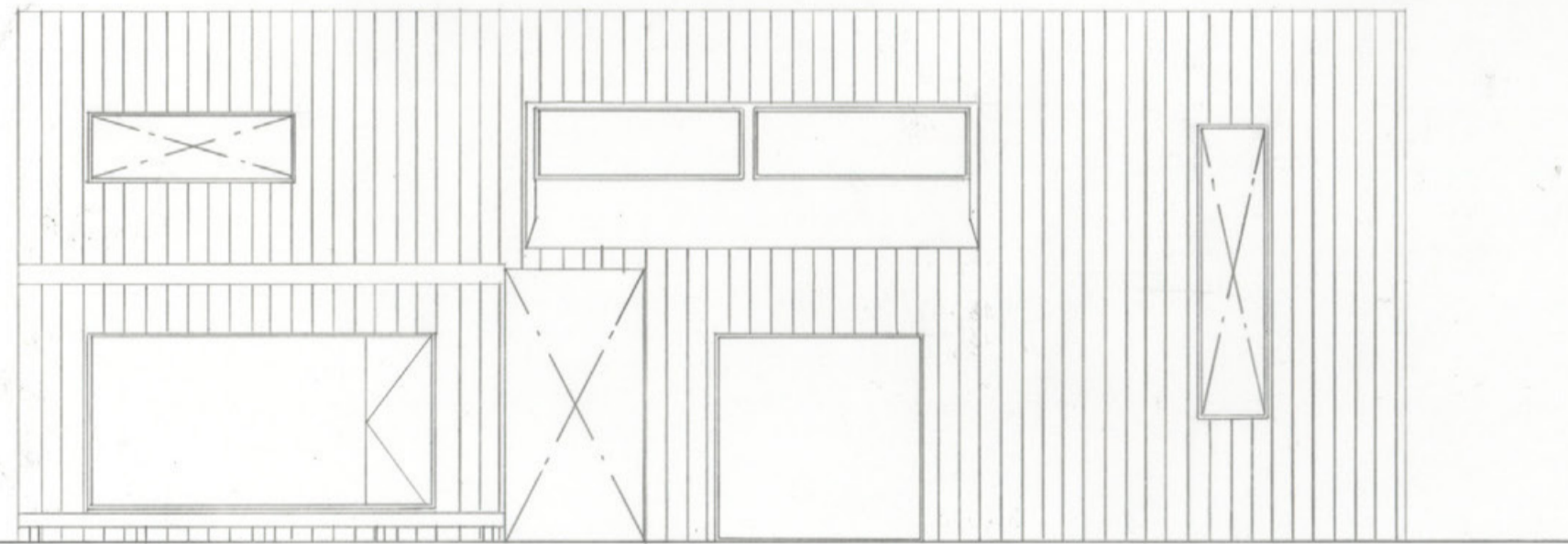
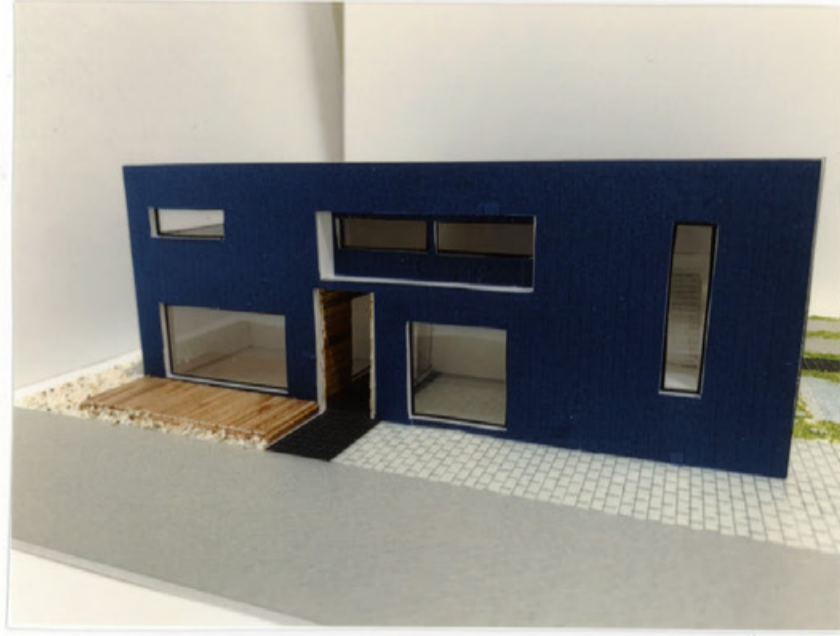


2階平面図 1/100

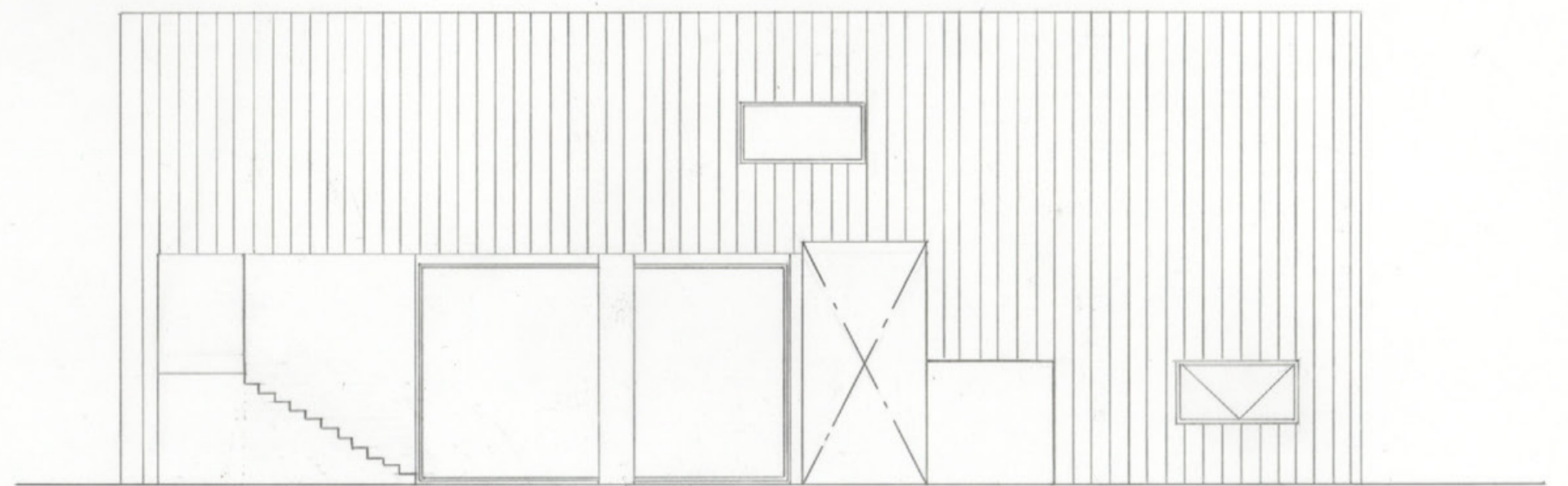
『あぐ (あぐ)』

S = 1/100

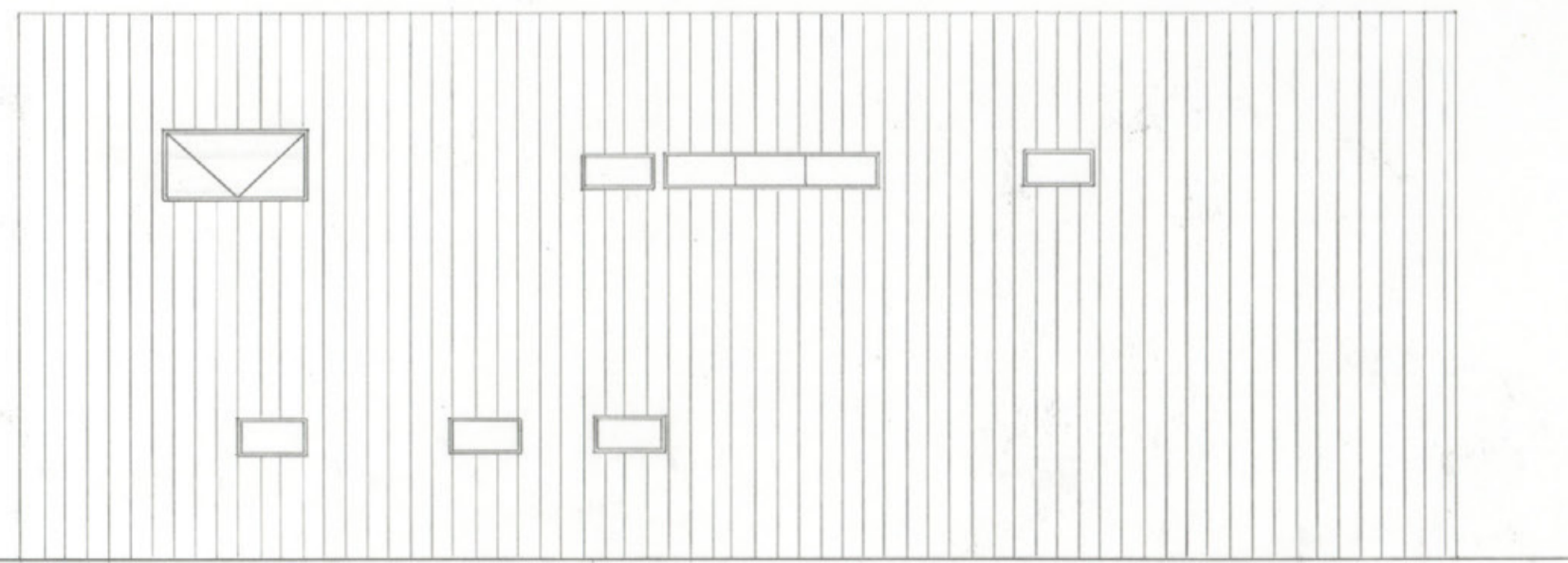
栗山 史温



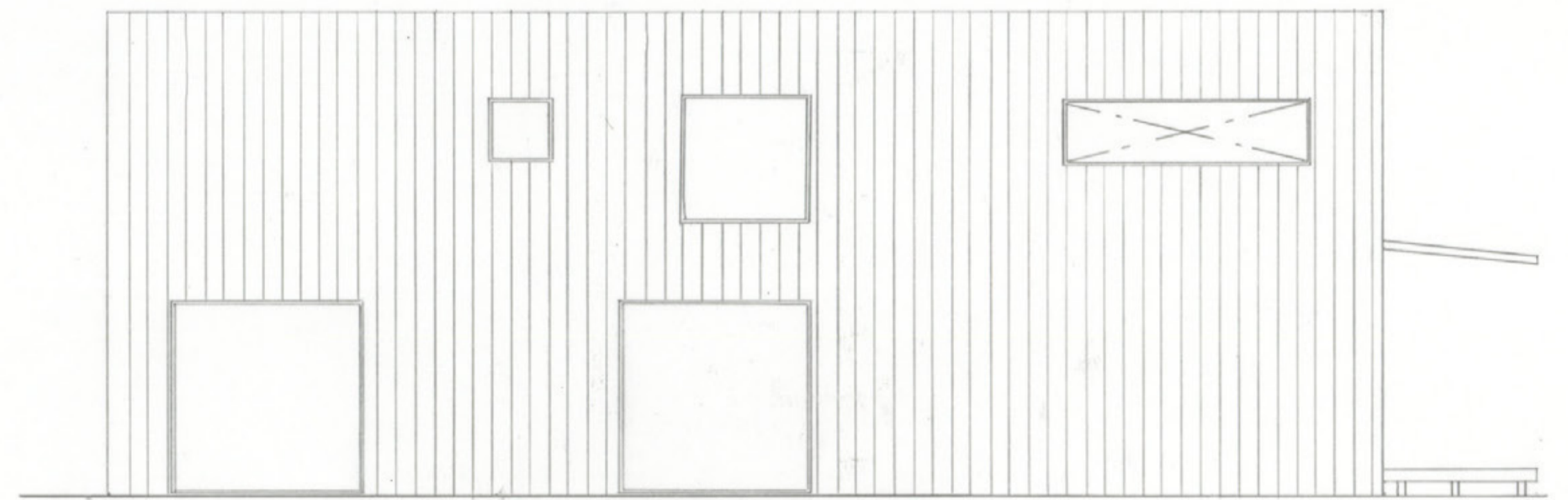
東立面图 1/100



北立面图 1/100



西立面图 1/100



南立面图 1/100

親しみ -スギの香り-

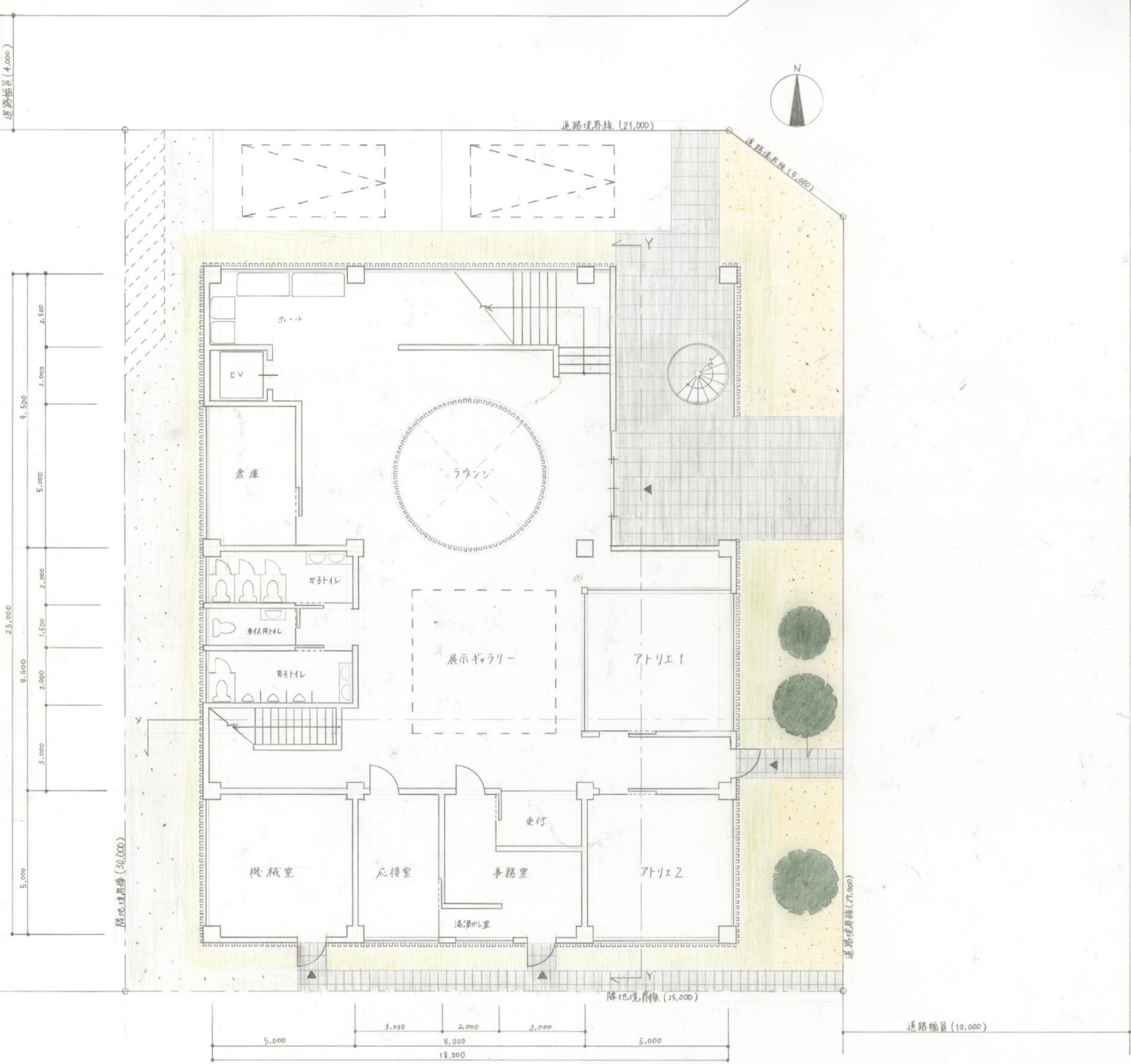
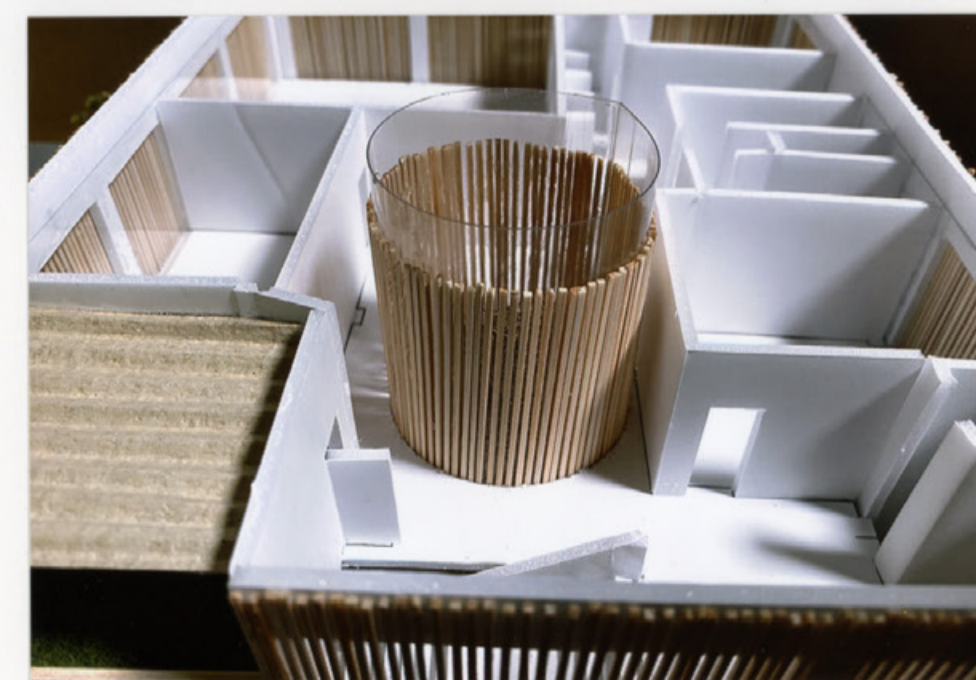
コンセプト
 この複合文化施設は吉野のスギを根、枝、葉、組手コースターアップリカでできる体験型複合文化施設である。その体験ができるアトリエは道路側にあり、近くを通る観光客や地元の人々の目に留まるよう、一面ガラス張りにし外側には厚みを薄くしたルーバーを付けた。また、エントランスすぐ上を突き抜けたラウンジを設け、外壁と同じ様に杉の格子をイメージしたルーバー、そ中にも用いることスギをこの建物の特徴的なものにした。さらに、2階にある屋上飲食スペースからは遠くの方に五重塔が見ることができ、どこにいても奈良を感じられ、この施設を利用することで親しむを持ってもらえるような空間になっている。

仕上げ表

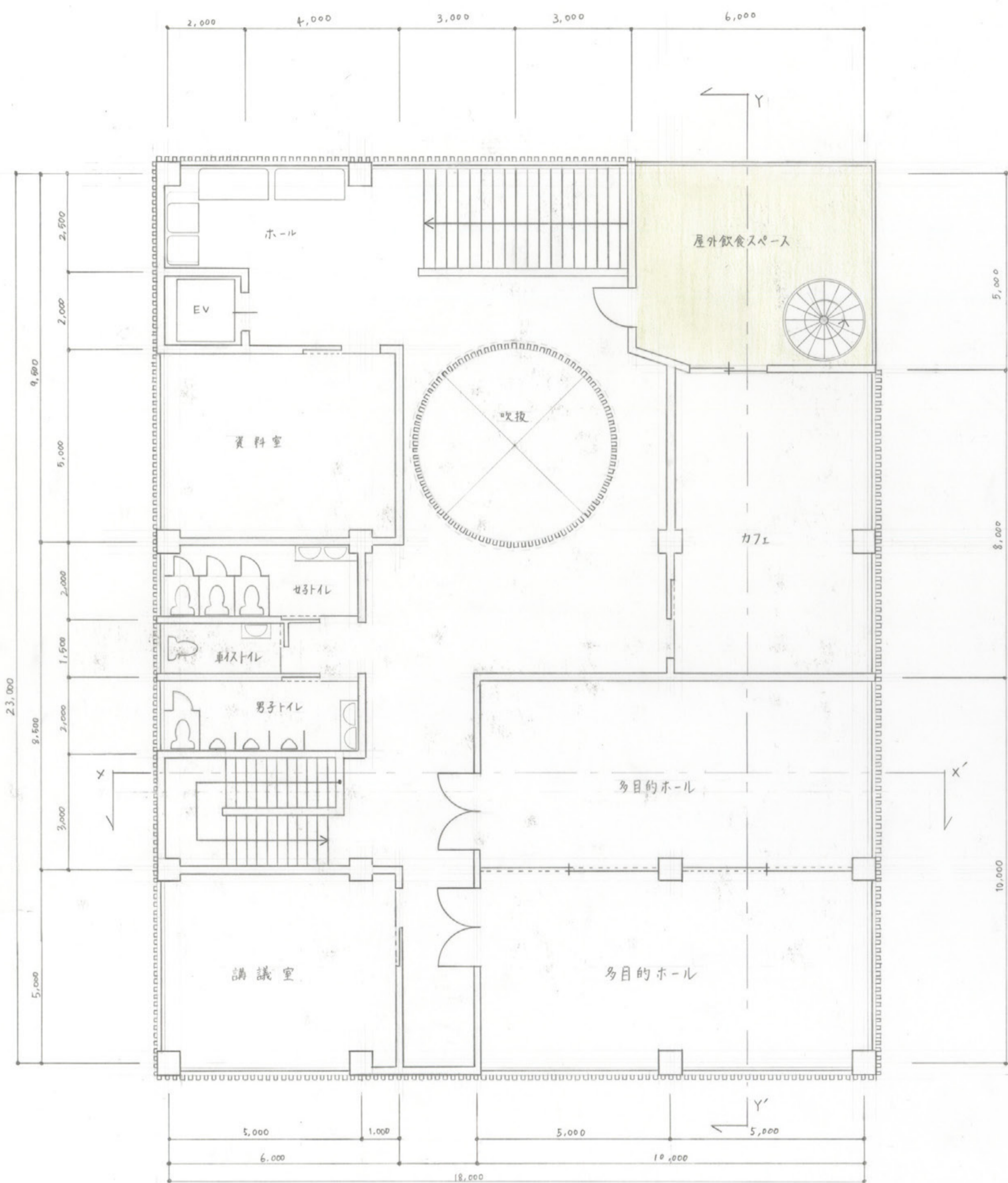
外部仕上げ	屋根	コンクリート / ウレタン防水	
	外壁	モルタル吹き付けタイル, 杉(ルーバー)	
	床	セラミックタイル, 砂利	
内部仕上げ	1階	壁	漆喰
		床	吉野杉
	天井	吉野杉	
	2階	壁	漆喰
		床	吉野杉
		天井	吉野杉
床		吉野杉	

面積表

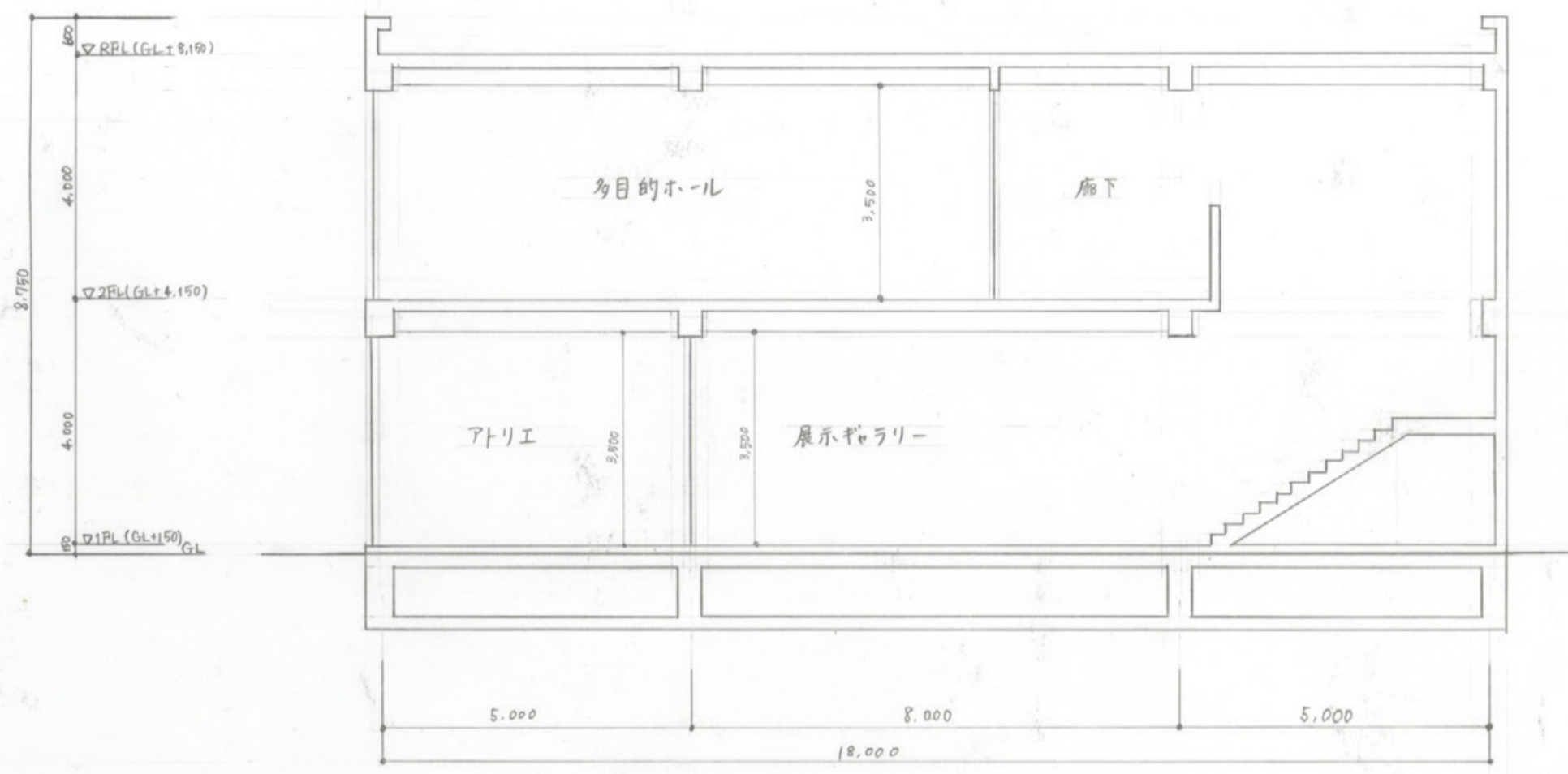
敷地面積	744 m ²
建築面積	414 m ²
床面積	1階 414 m ²
	2階 414 m ²
延べ床面積	828 m ²



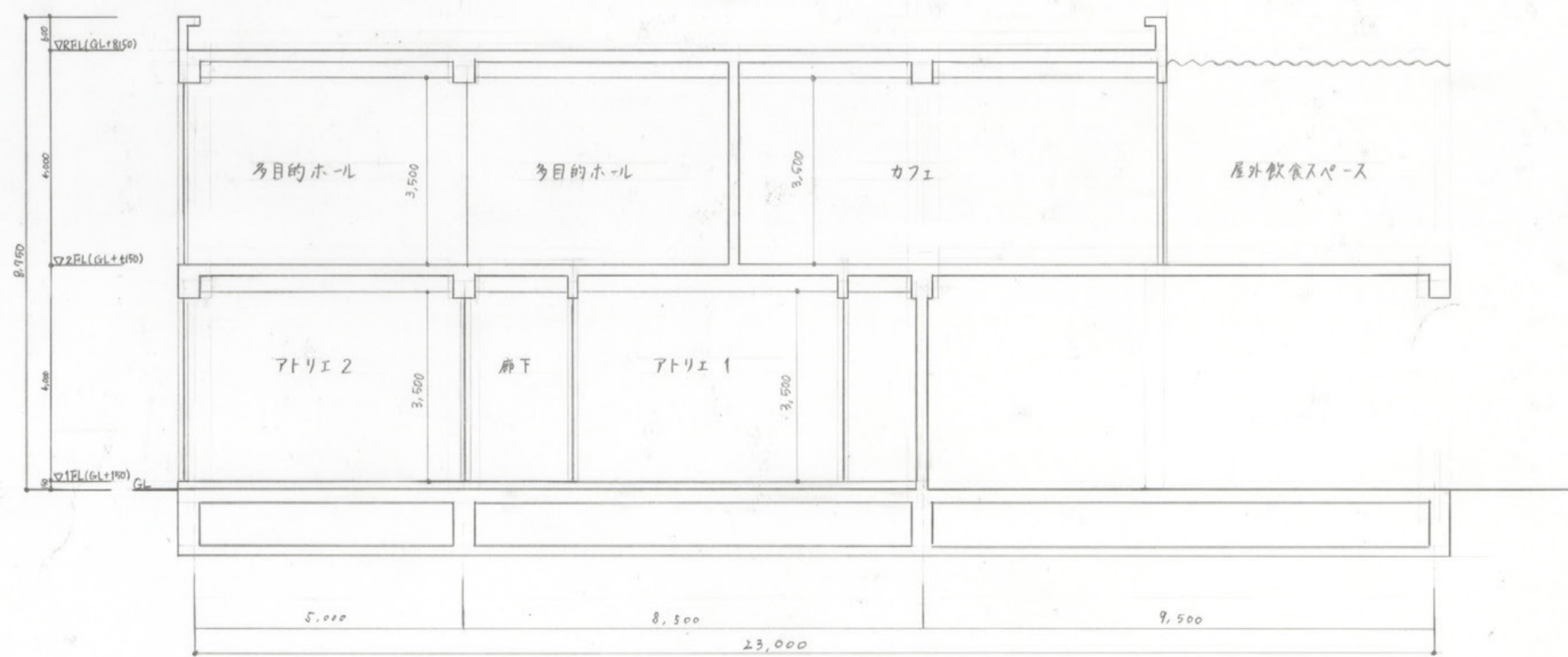
1階平面図兼配置図 (1/100)



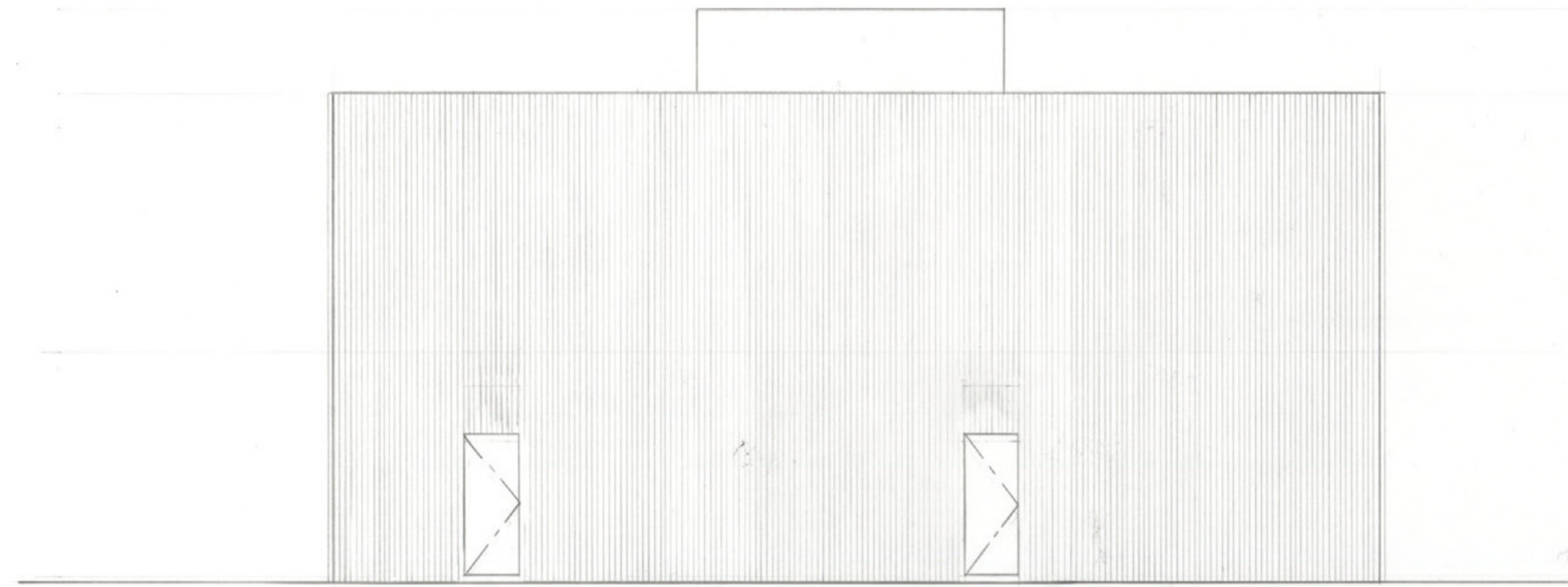
2階平面図 (1/100)



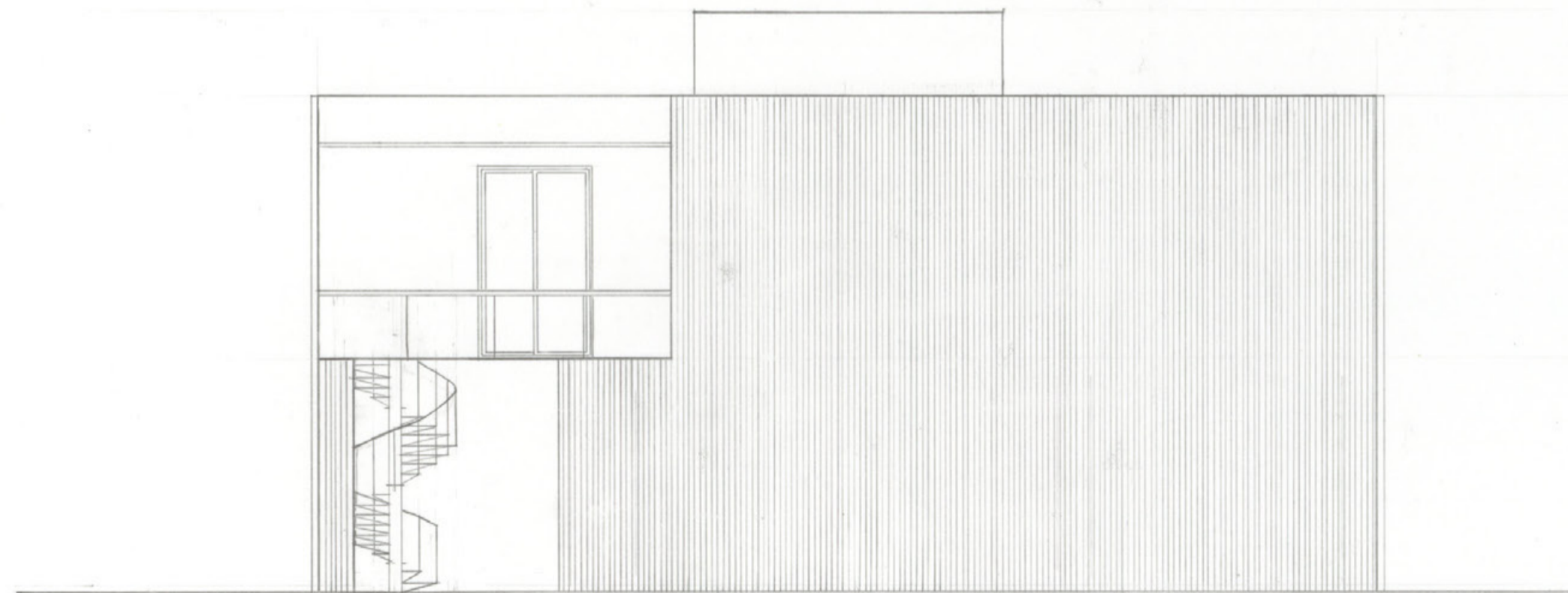
X-X' 断面図 (1/100)



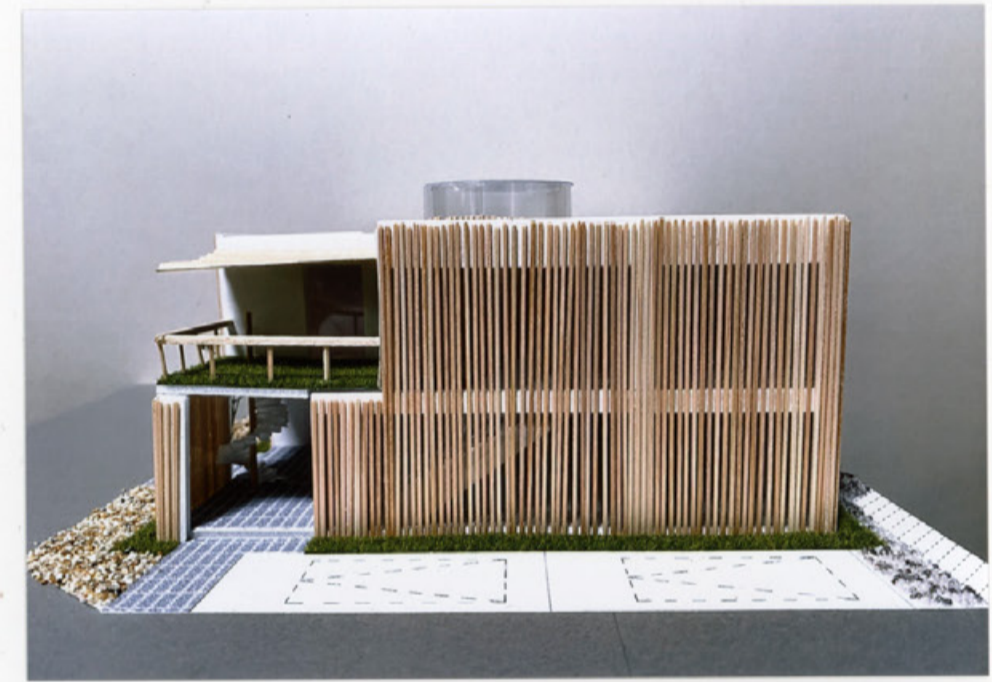
Y-Y' 断面図 (1/100)



南立面图 (1/100)

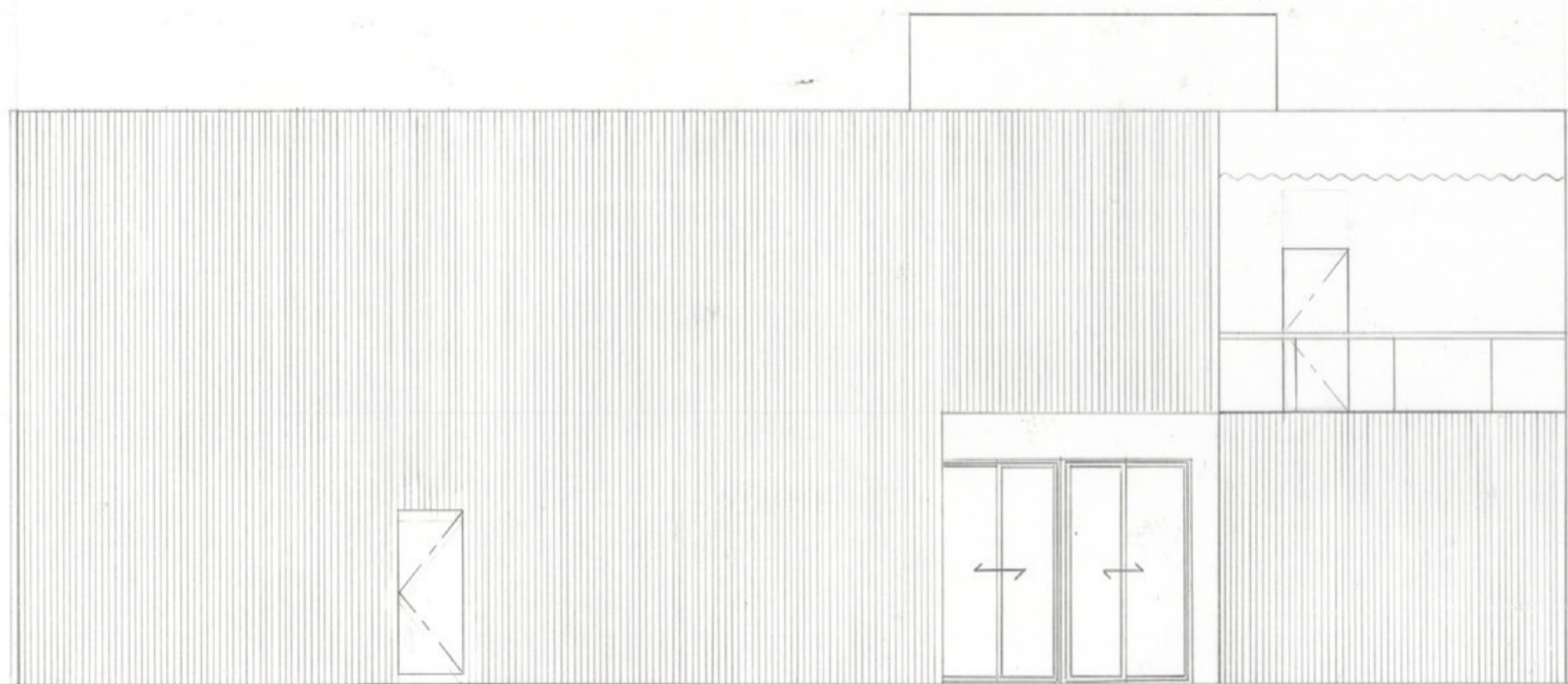


北立面图 (1/100)

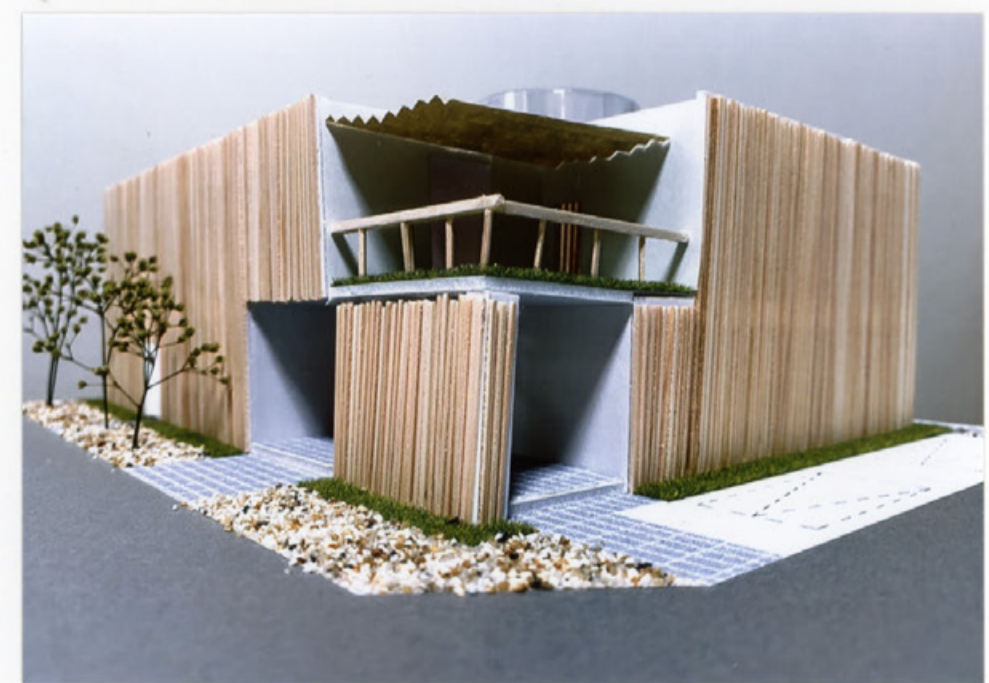




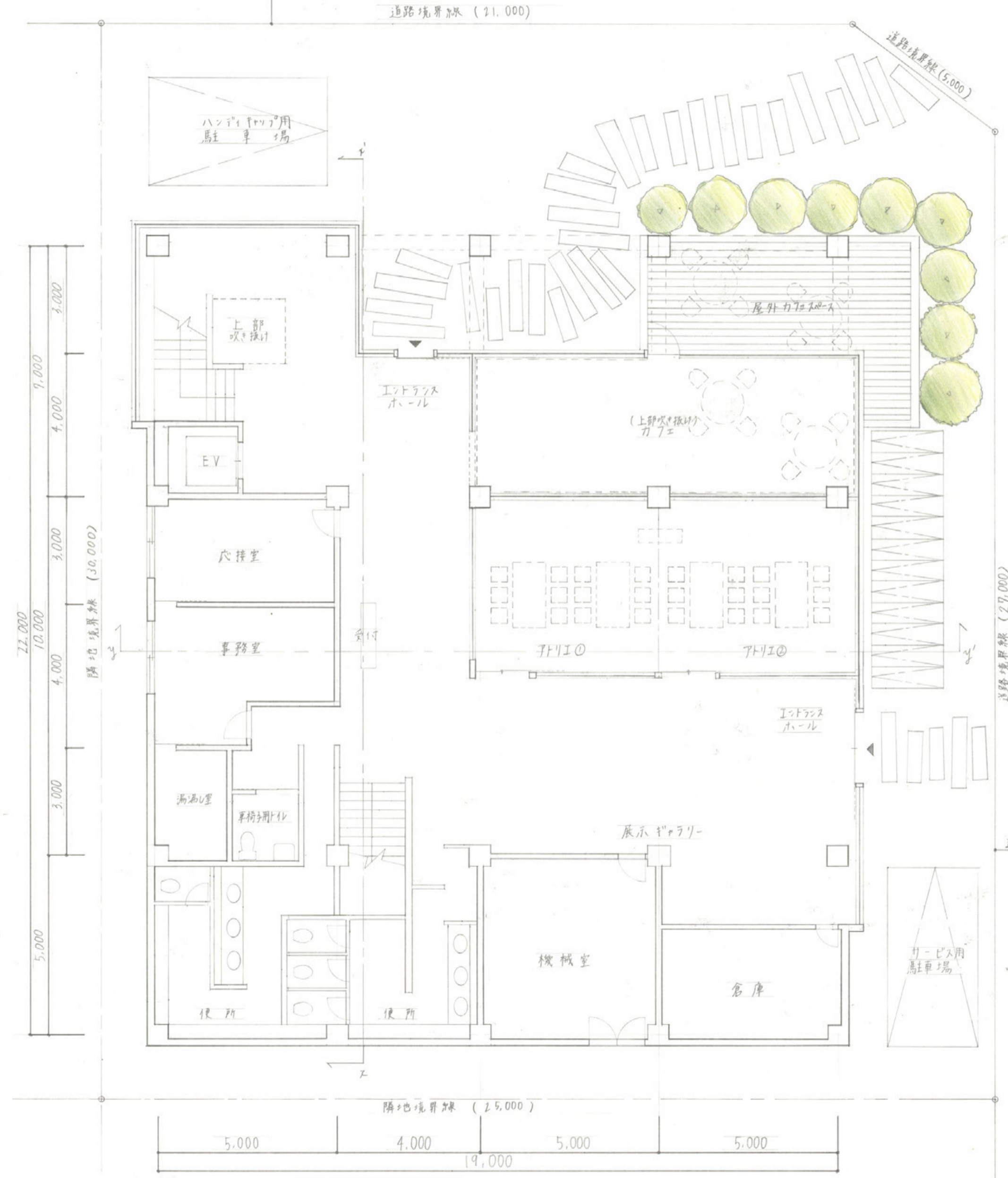
西立面图 (1/100)



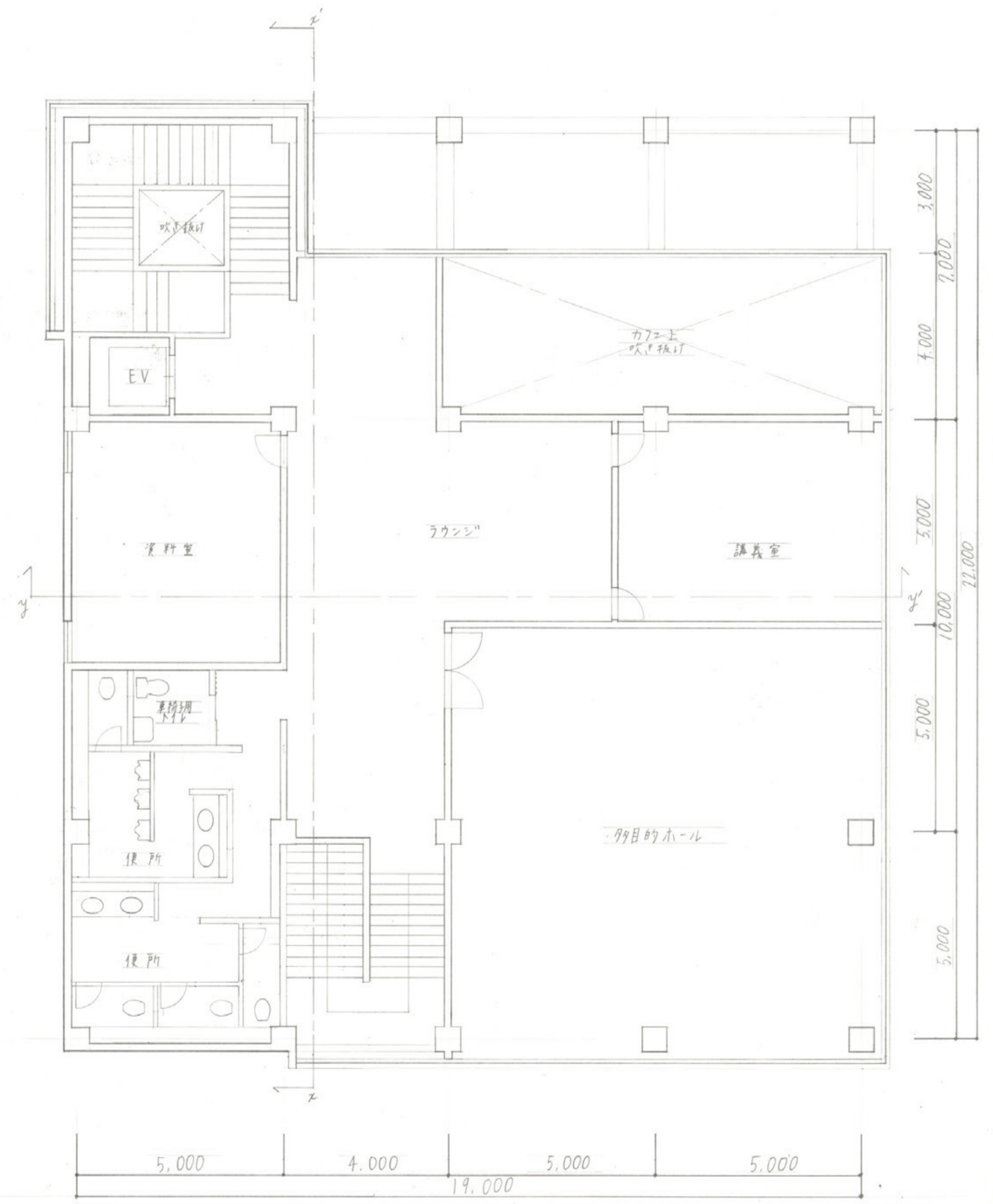
東立面图 (1/100)



集う空間



1階平面図兼配置図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

コンセプト

奈良県の特産品のひとつである「柿の葉寿司」を実際に作る体験ができる体験型複合施設です。ほろほろに遊心に来たる観光客を喜ばせ、ターゲットを定めて、この施設で実際に作ってもらい、その場でお楽しみいただけるように、作ってもらえるように作りこまれています。体験するだけで、より深く奈良の魅力を知ってもらえます。

また、施設内にあるカフェスペースは、観光客だけでなく、地元の人たちも気軽に集い、話し合い、集まる空間を創出しています。

建物の横を通りかかると、中庭の植栽や、カフェ、展示ギャラリー、興味を持ってもらうように通路側をガラスにし、中庭の様子が伝わるようにしています。

外部仕上表

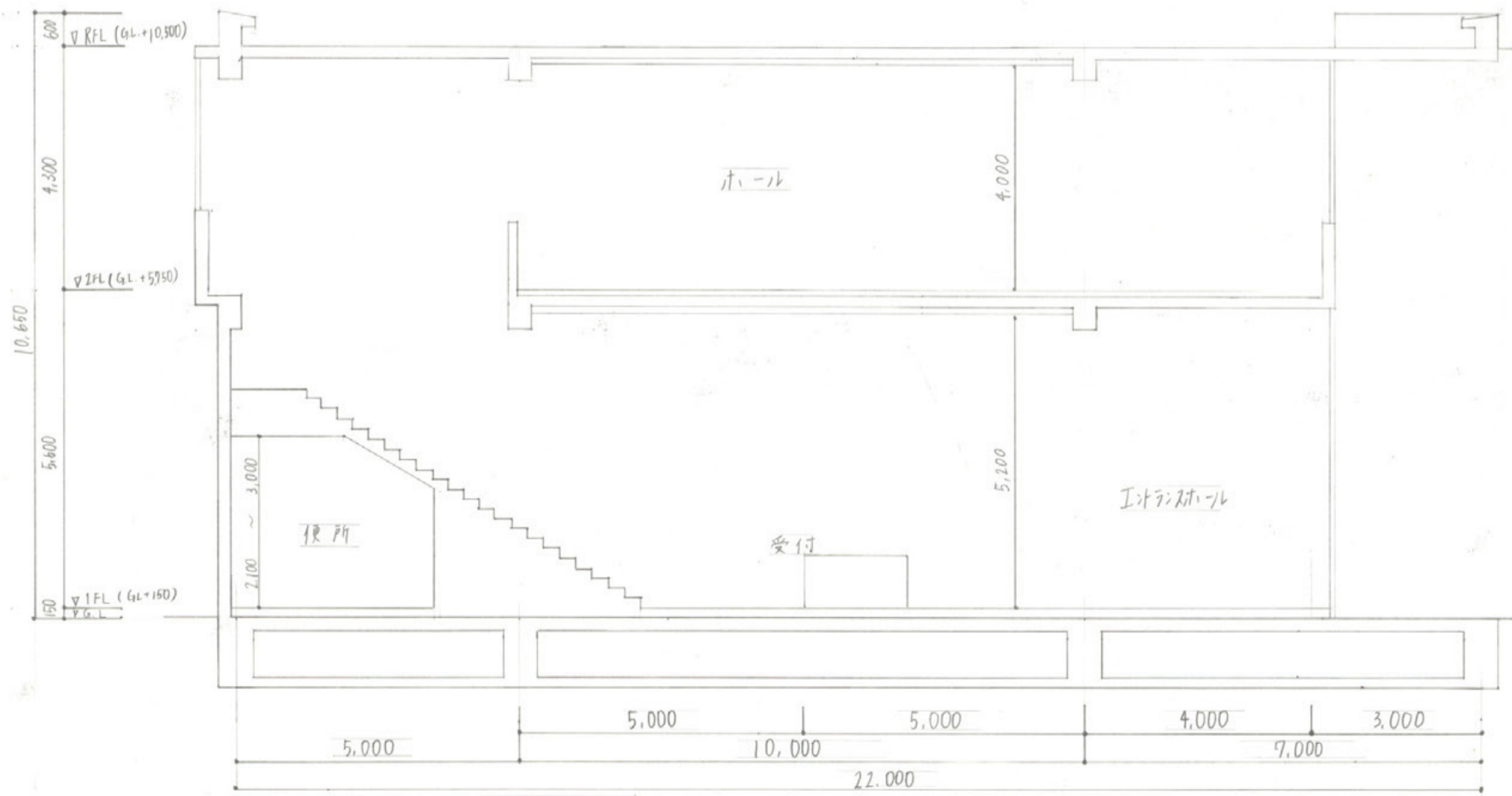
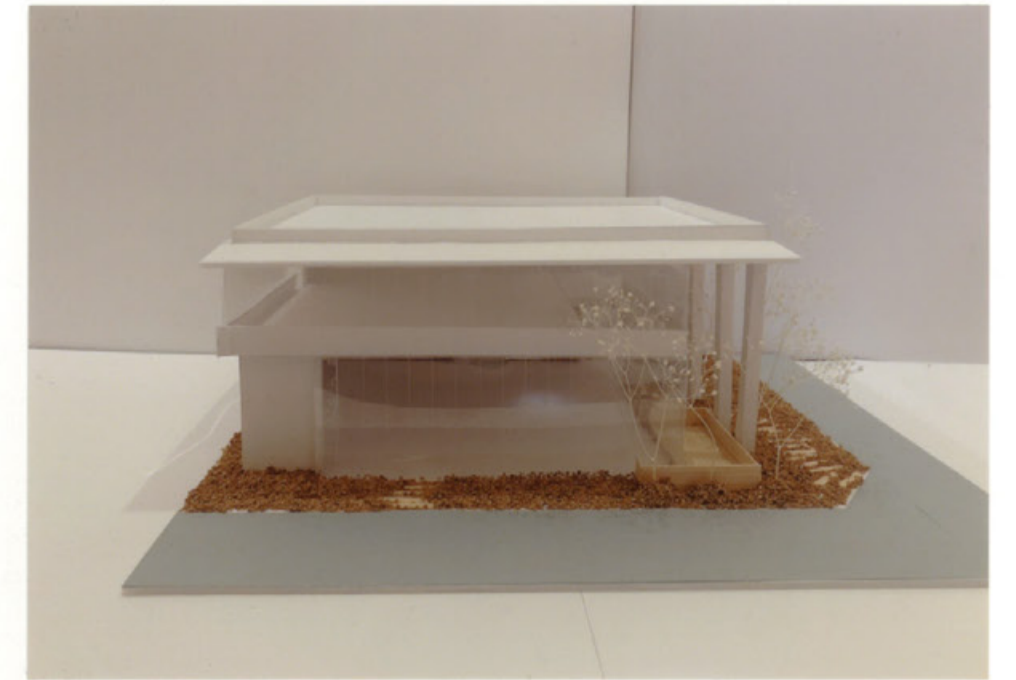
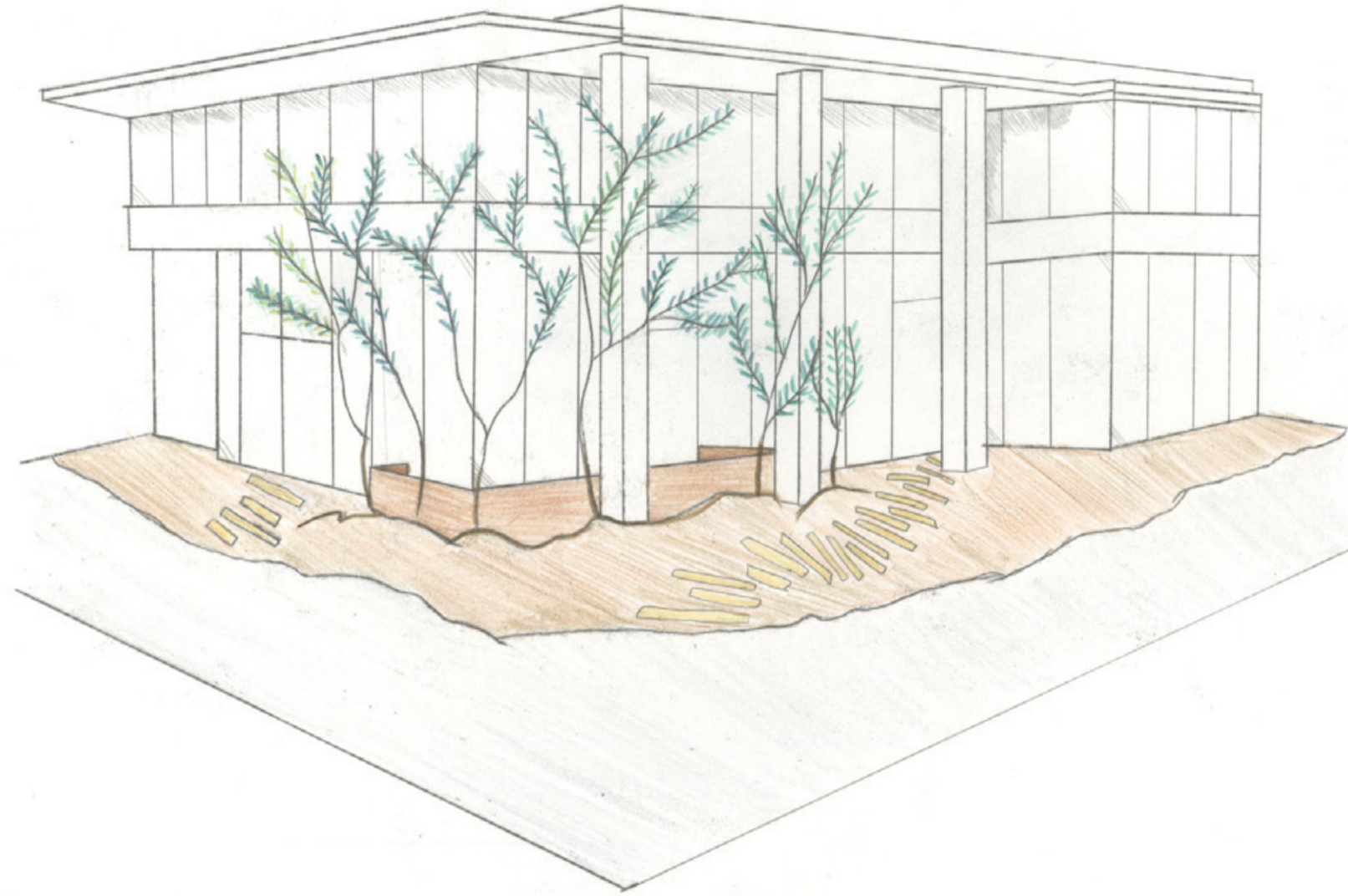
屋根: コンクリート 外壁: コンクリート 内装材: ウォール

内部仕上表

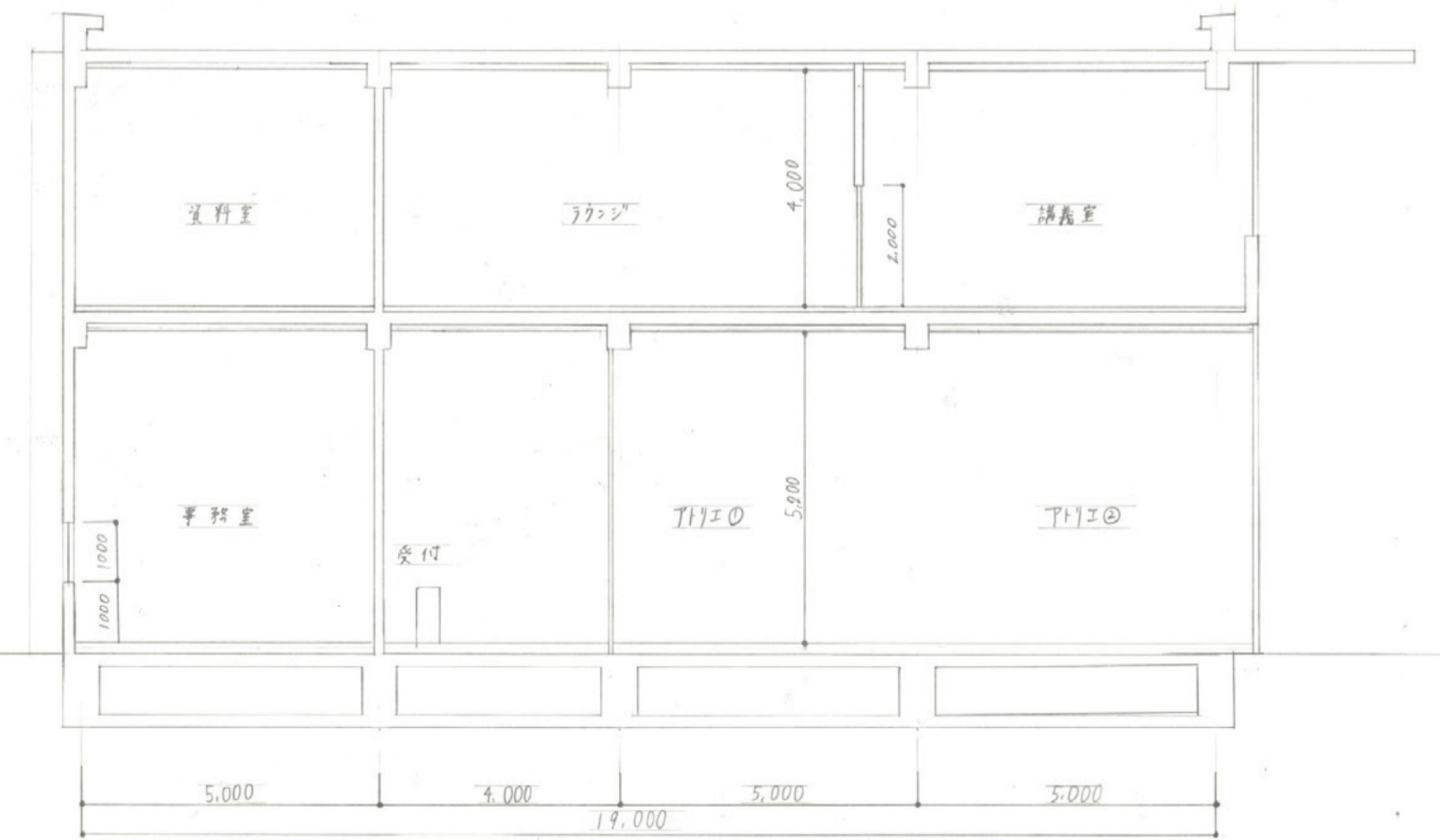
階	室名	床	壁	天井
1	調理・加工ホール	セラミックタイル	珪藻土珪藻土	珪藻土
	事務室	タイルカーペット	珪藻土珪藻土	珪藻土珪藻土
	カフェ	セラミックタイル	珪藻土珪藻土	
2	調理ホール	タイルカーペット	珪藻土	珪藻土
	講義室	タイルカーペット	珪藻土珪藻土	珪藻土珪藻土
	資料室	タイルカーペット	珪藻土珪藻土	珪藻土珪藻土

面積表

敷地面積	744 m ²
建築面積	376 m ²
床面積	392 m ²
1階	332 m ²
2階	332 m ²
延床面積	704 m ²



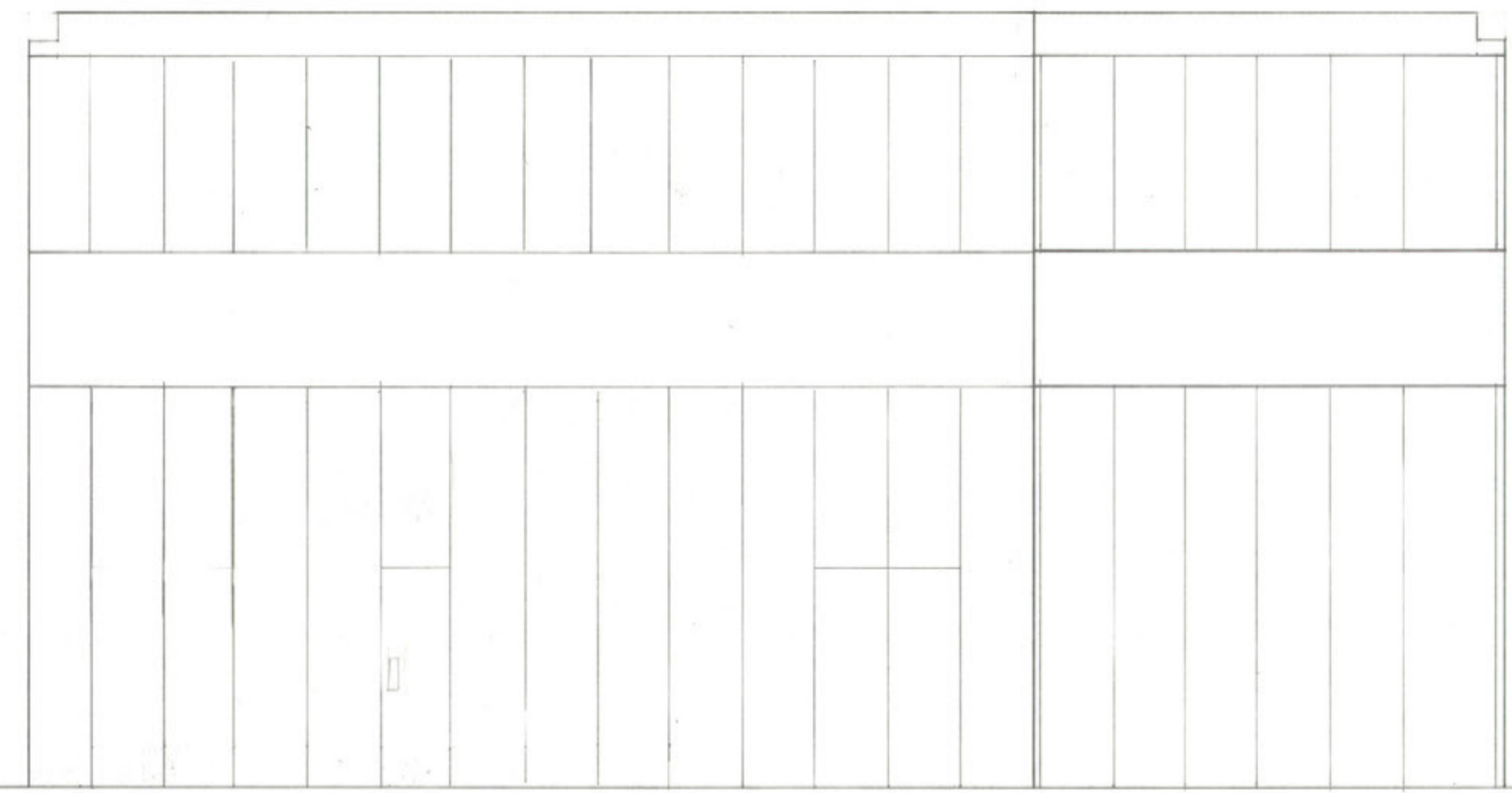
X-X' 断面図 S=1/100



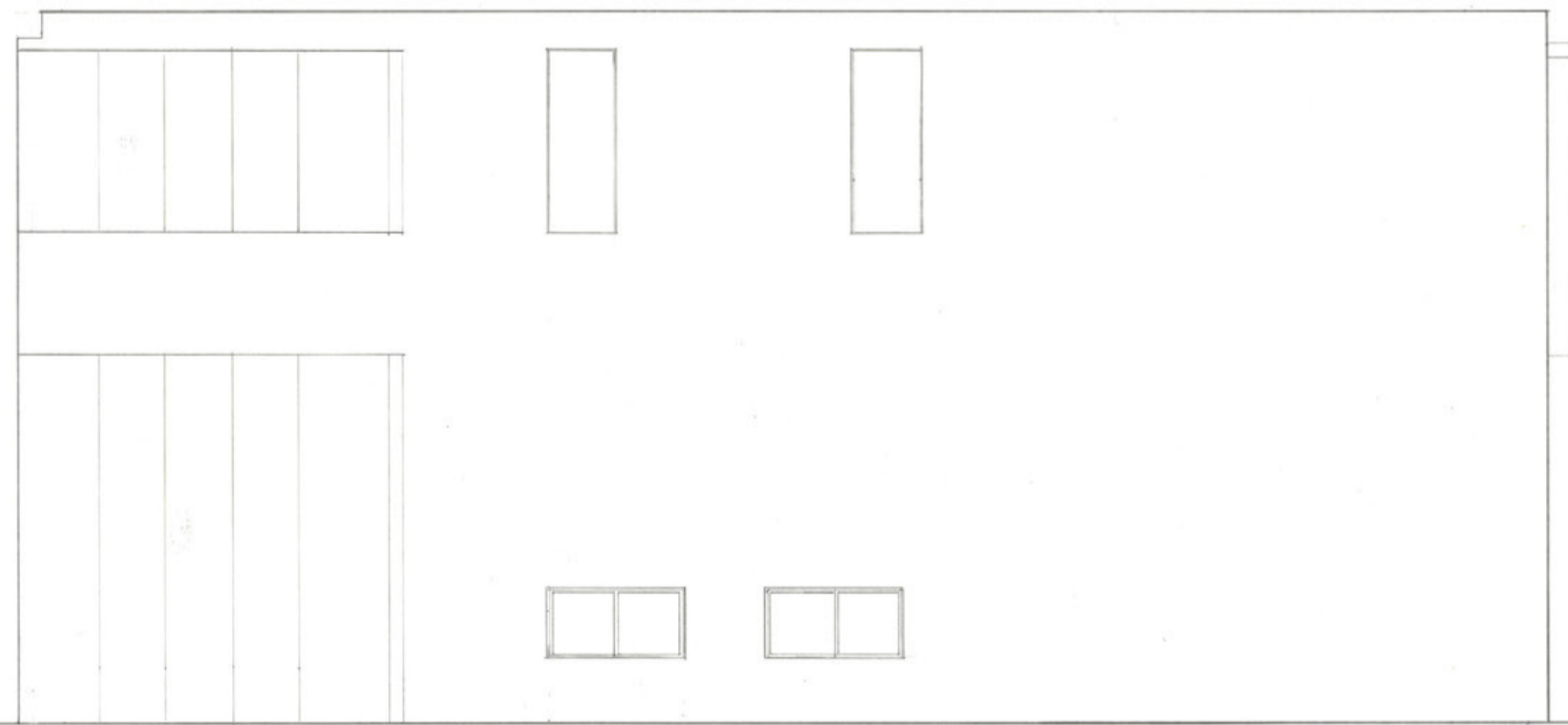
Y-Y' 断面図 S=1/100



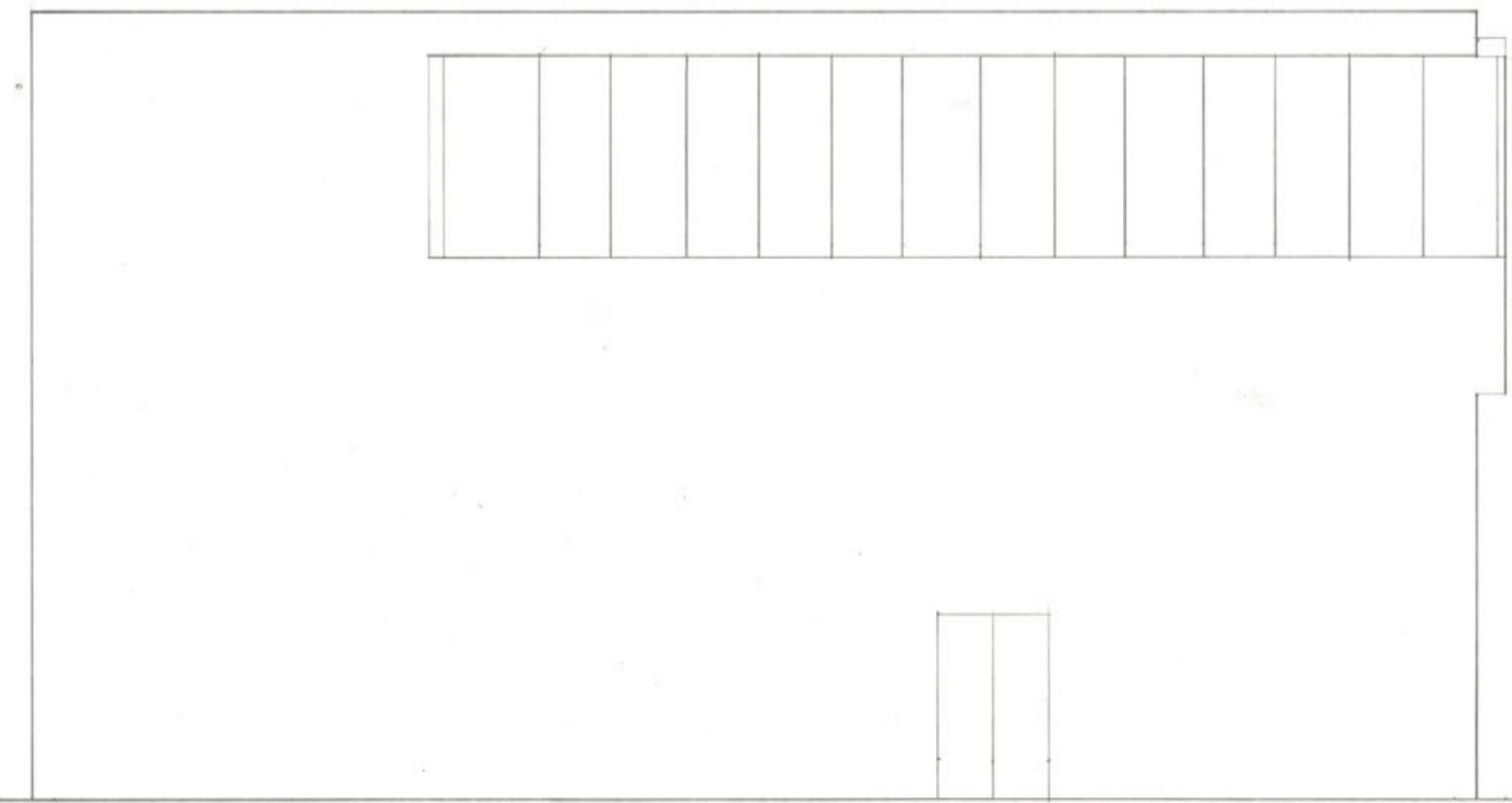
東立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100

Square



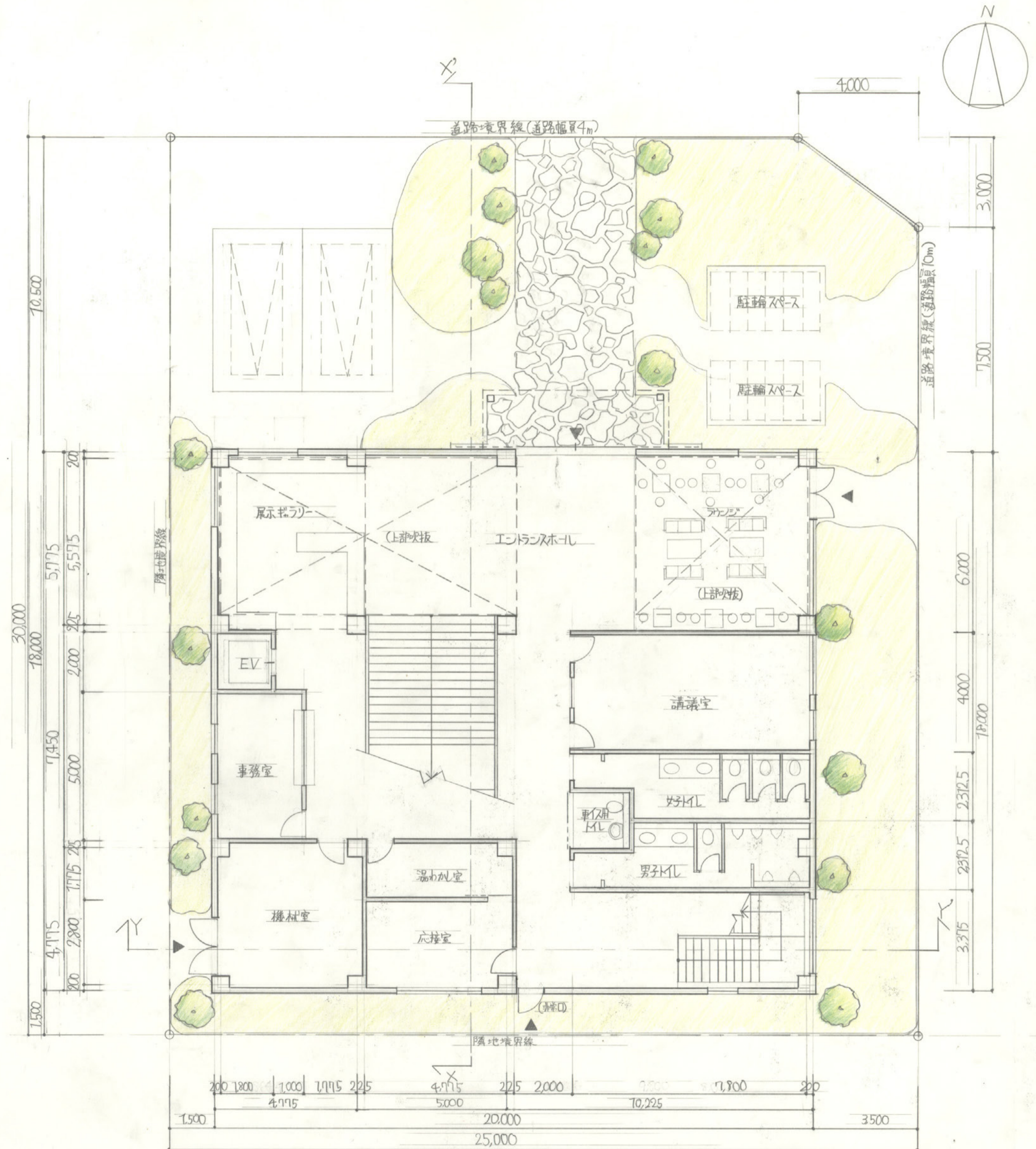
コンセプト

スクエアと言うタイトルのように、四角をメインに設計しました。また、ならぬ町になじむように、底を瓦張りにするなど、計画地である場所の周囲と調和しつつ、目立つデザインを考えました。ターゲットは学生や、カッパルなどの若い人で、この場所に来ることをメインに奈良に来てもらえるような体験内容を考え、奈良の伝統工芸である漆塗り焼を容器にして、オリジナルの匂いの香水を作る体験と、奈良晒で作った香水をいれる巾着を作る体験を考えました。また、建物の中は、所々吹き抜けになって広くとした空間を味わえるようにし、エントランスを入るとすぐにある大きな階段を中心に広がる気持ちの良い、広々とした空間を味わうことができます。吹き抜け部分にはたくさんの大きな窓をつけることで、室内に光を取り入れて、さらに気持ちの良い空間を作ることを目指しました。3Fにあるカフェは可変式ガラス張りとし、外から見えるようにして、人を呼び込み、屋外スペースはカフェの利用客のみが使える空間で、3Fにあることで外から見られず、自由に楽しむことができます。

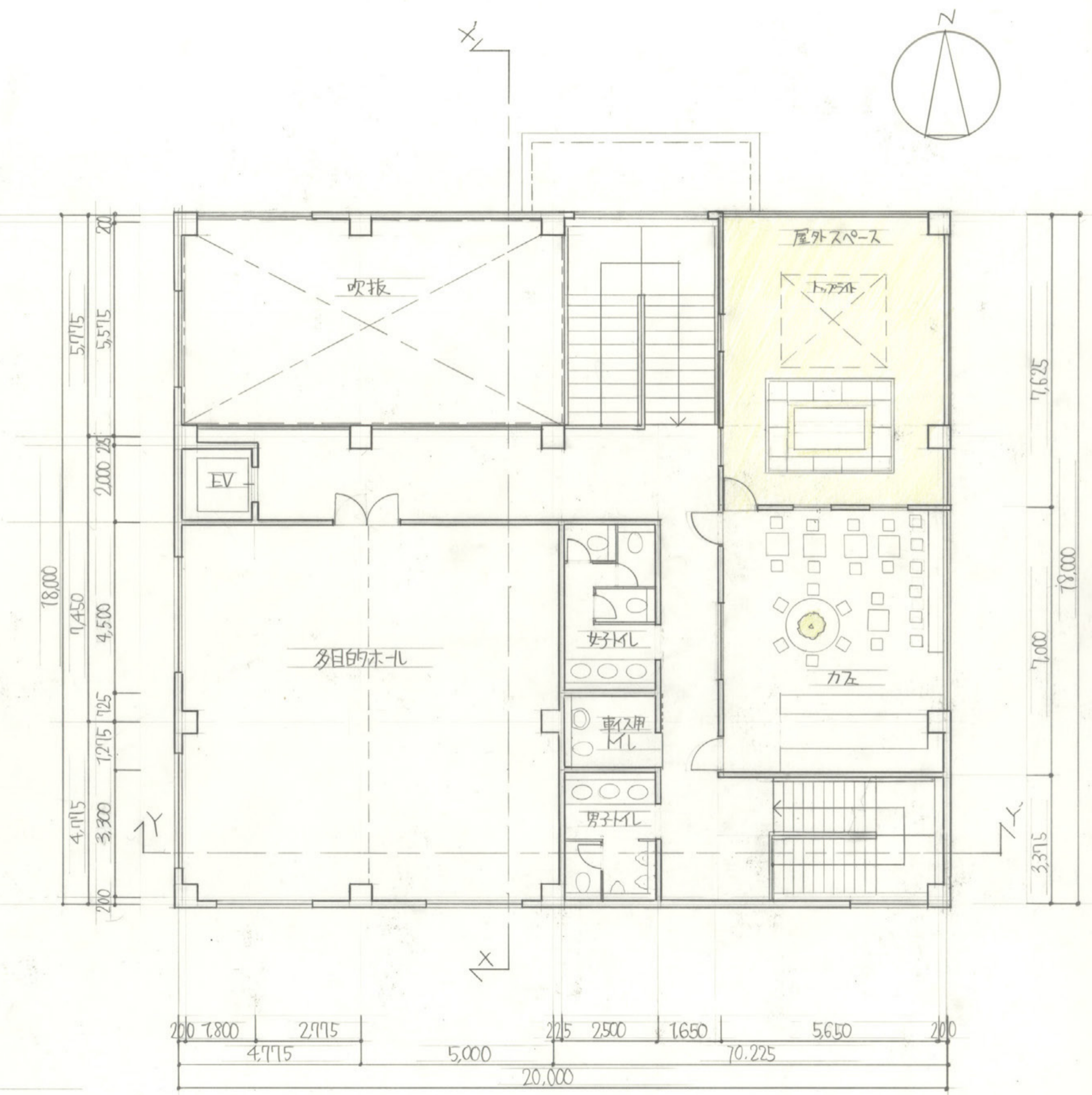
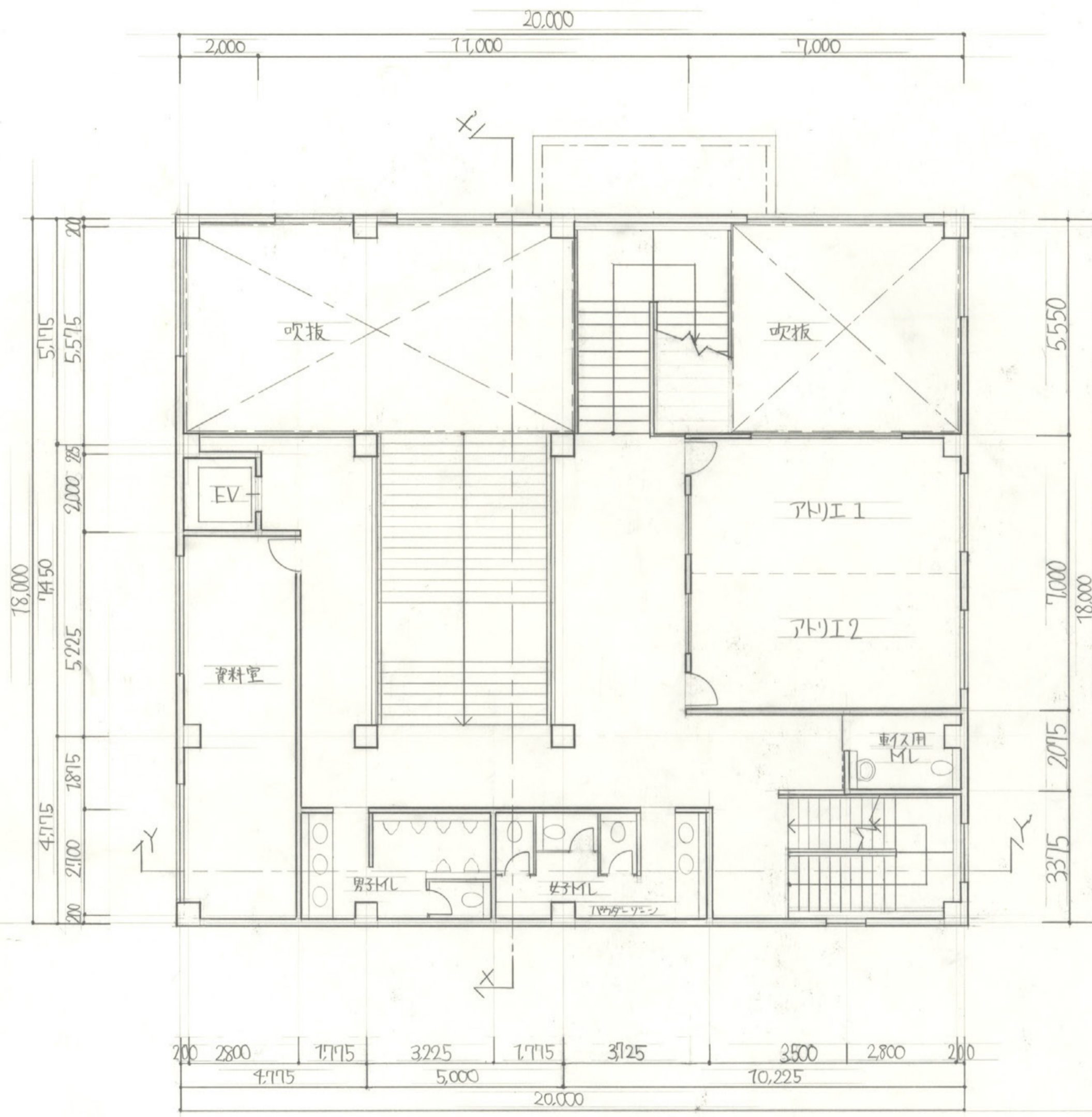
敷地面積	744.00m ²
建築面積	372.00m ²
1F	360.00m ²
2F	241.44m ²
3F	222.20m ²
延べ床面積	823.64m ²

外部仕上げ			
屋根	シート防水		
外壁	板張り / シリコパット塗装		
開口部	アルミ製サッシ		
庇	瓦張り		
屋外スペース	芝生		
内部仕上げ			
	壁	床	天井
エントランス	漆喰 / 板張り	コンクリート	板張り
ラウンジ	漆喰 / 板張り	石貼り	板張り
応接室	クロス	大理石	板張り
カフェ	漆喰 / 石張り	コンクリート	板張り
アトリエ	漆喰 / 板張り	コンクリート	板張り
多目的ホール	漆喰	タイルカーペット	板張り

西井 和

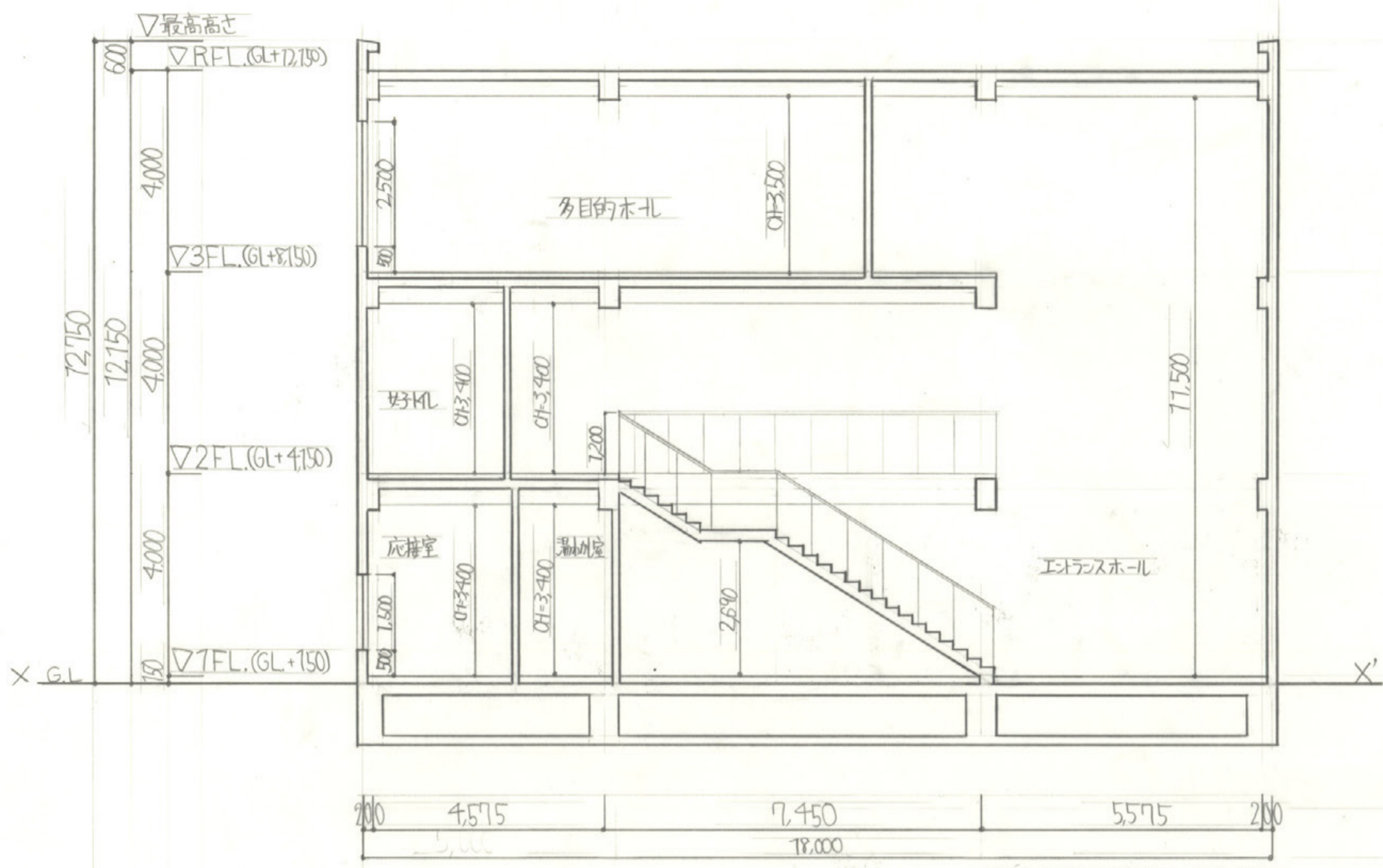


1階平面図兼西配置図 S = 1/100

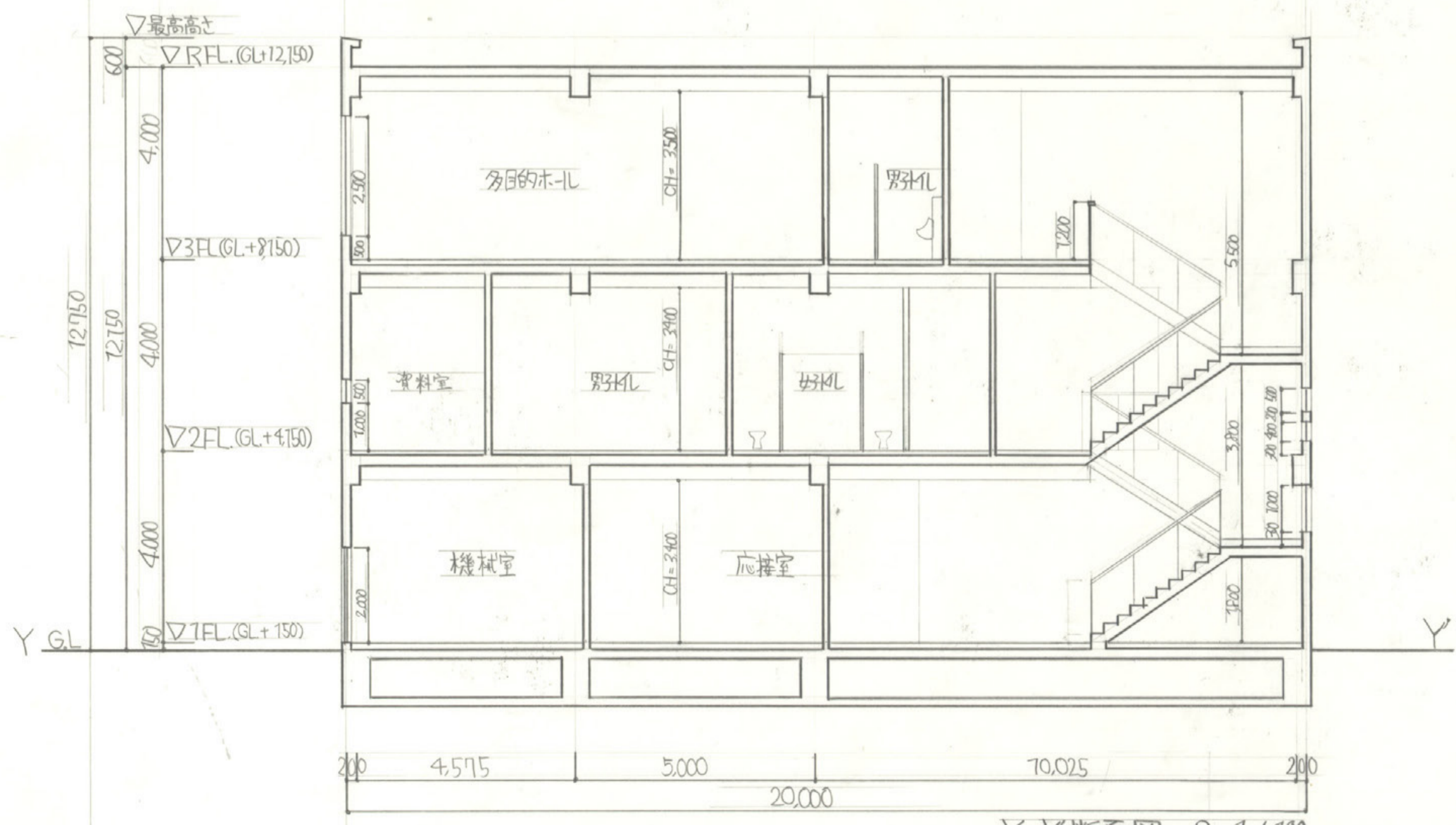


Square

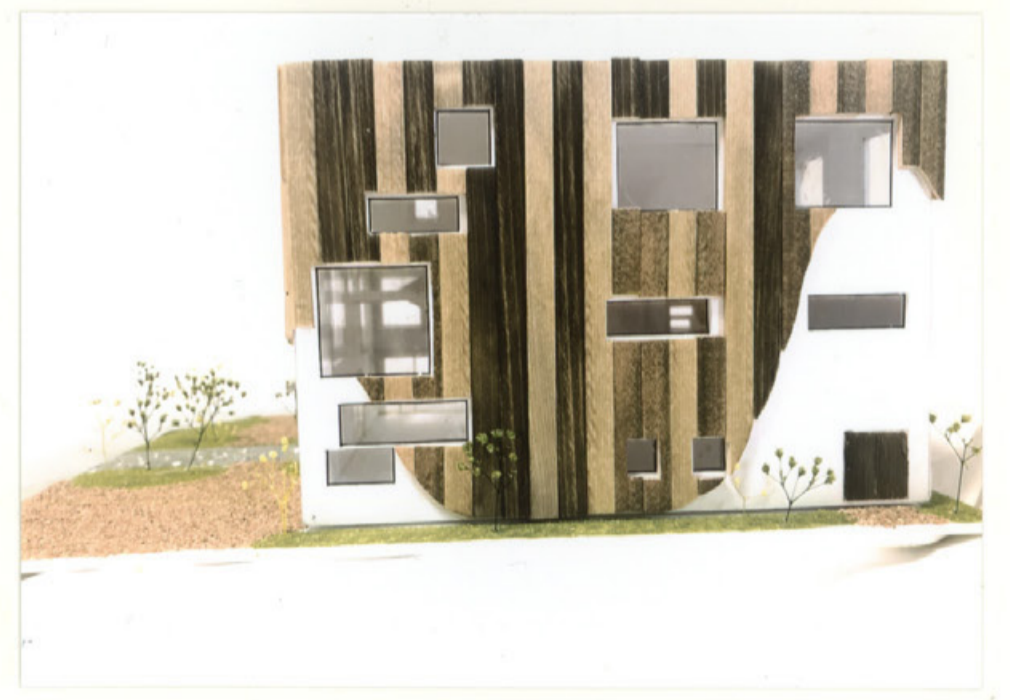
西井和



X-X'断面図 S=1/100

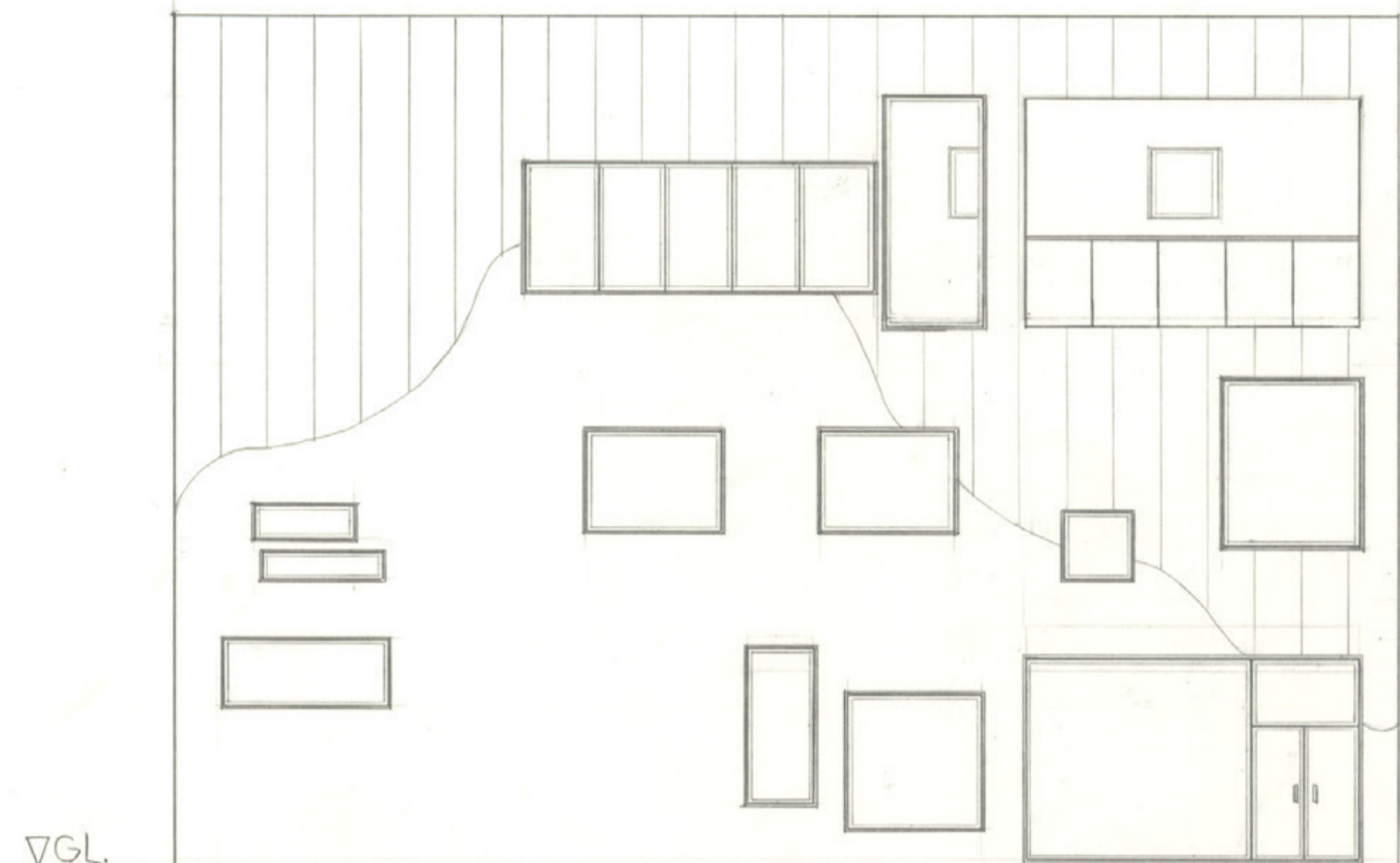


Y-Y'断面図 S=1/100

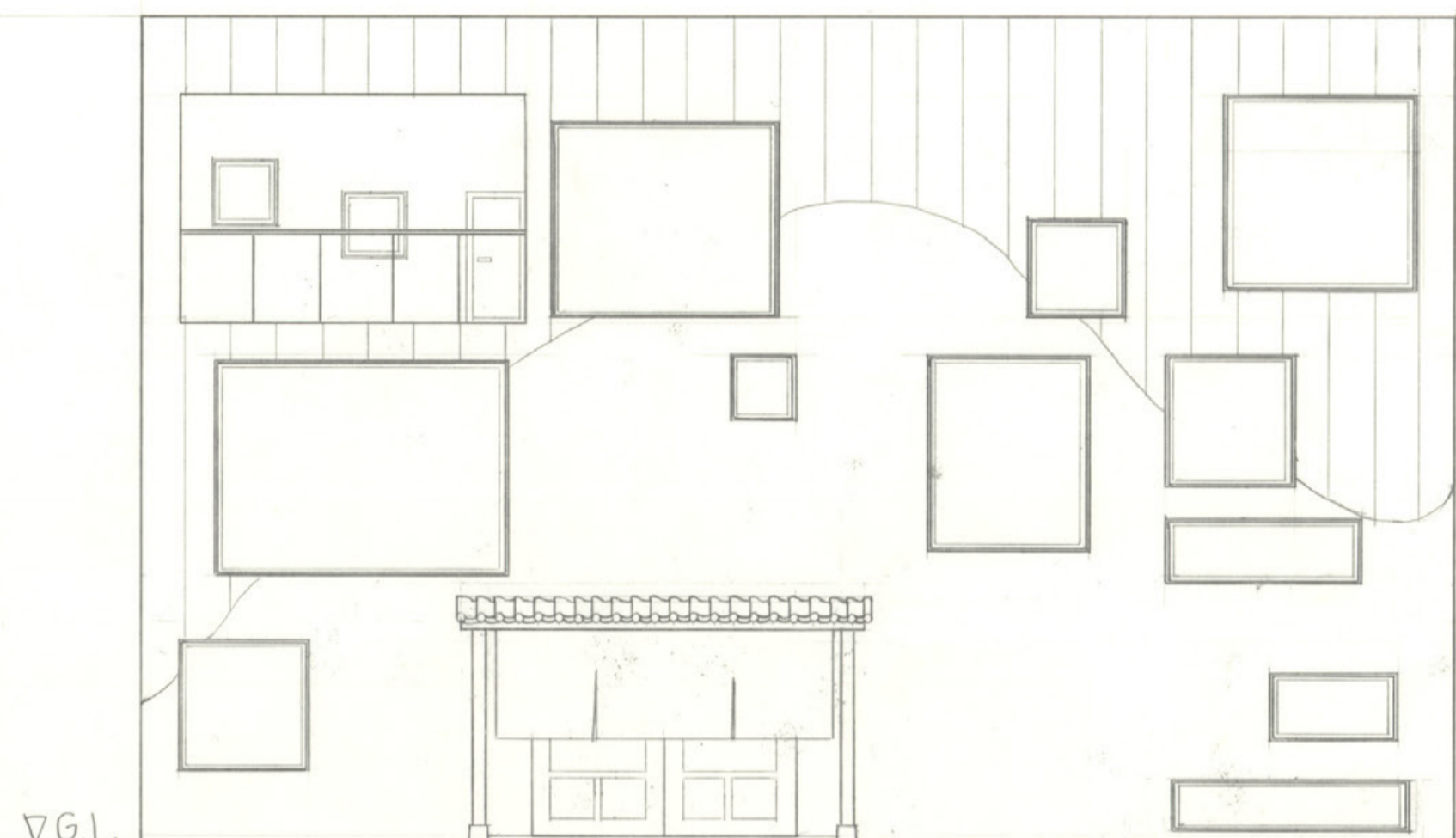


Square

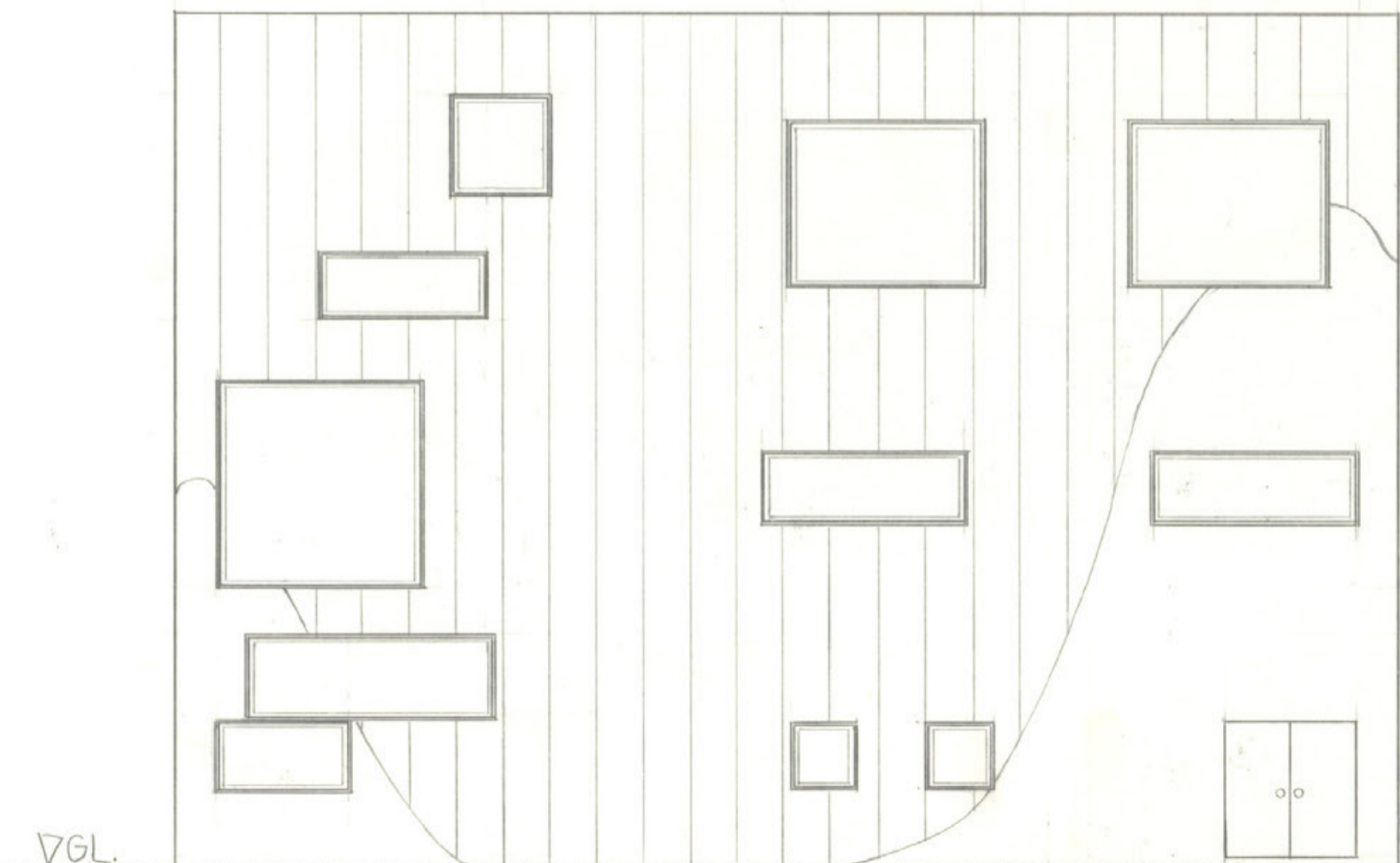
西井和



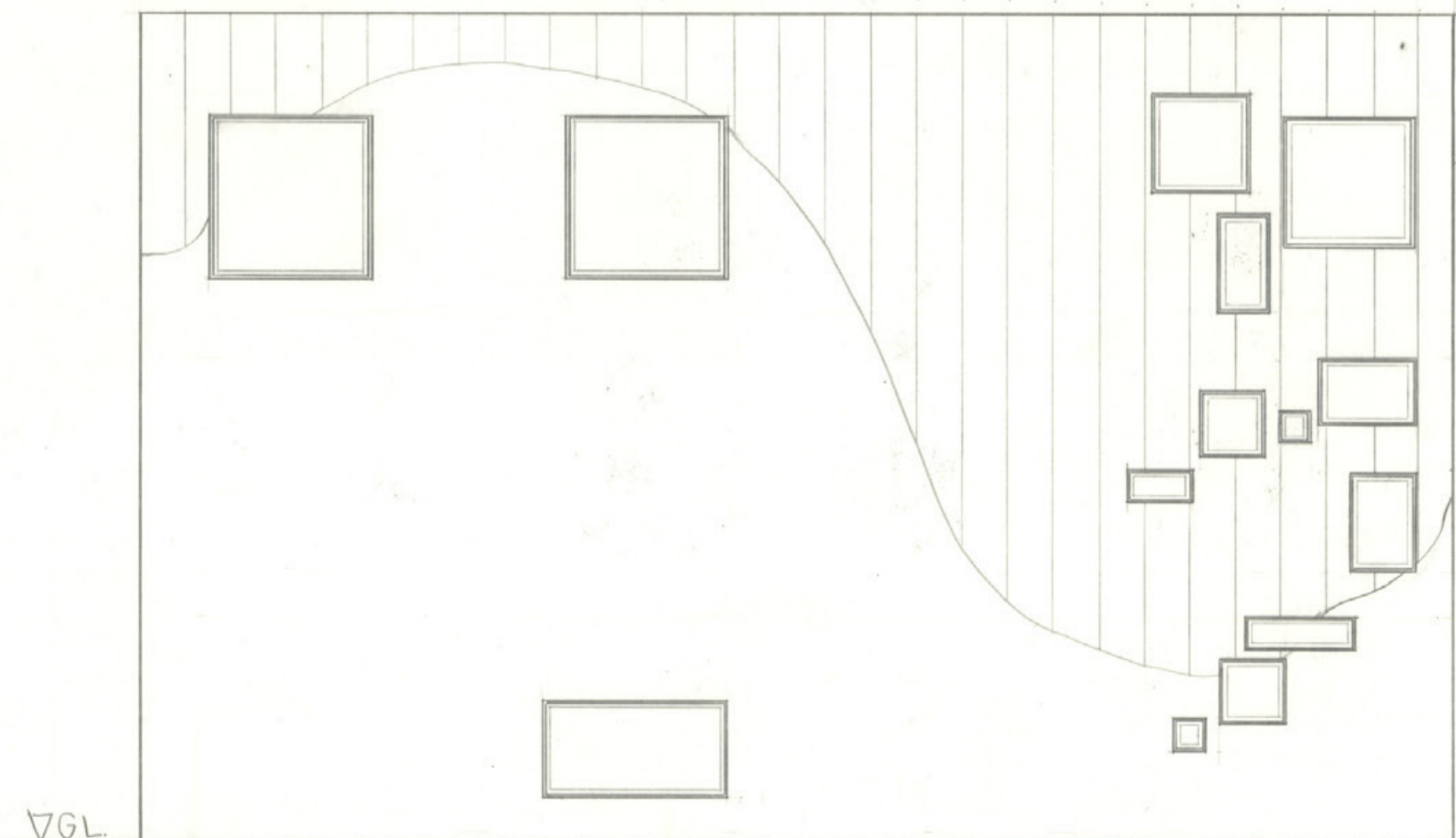
東立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100

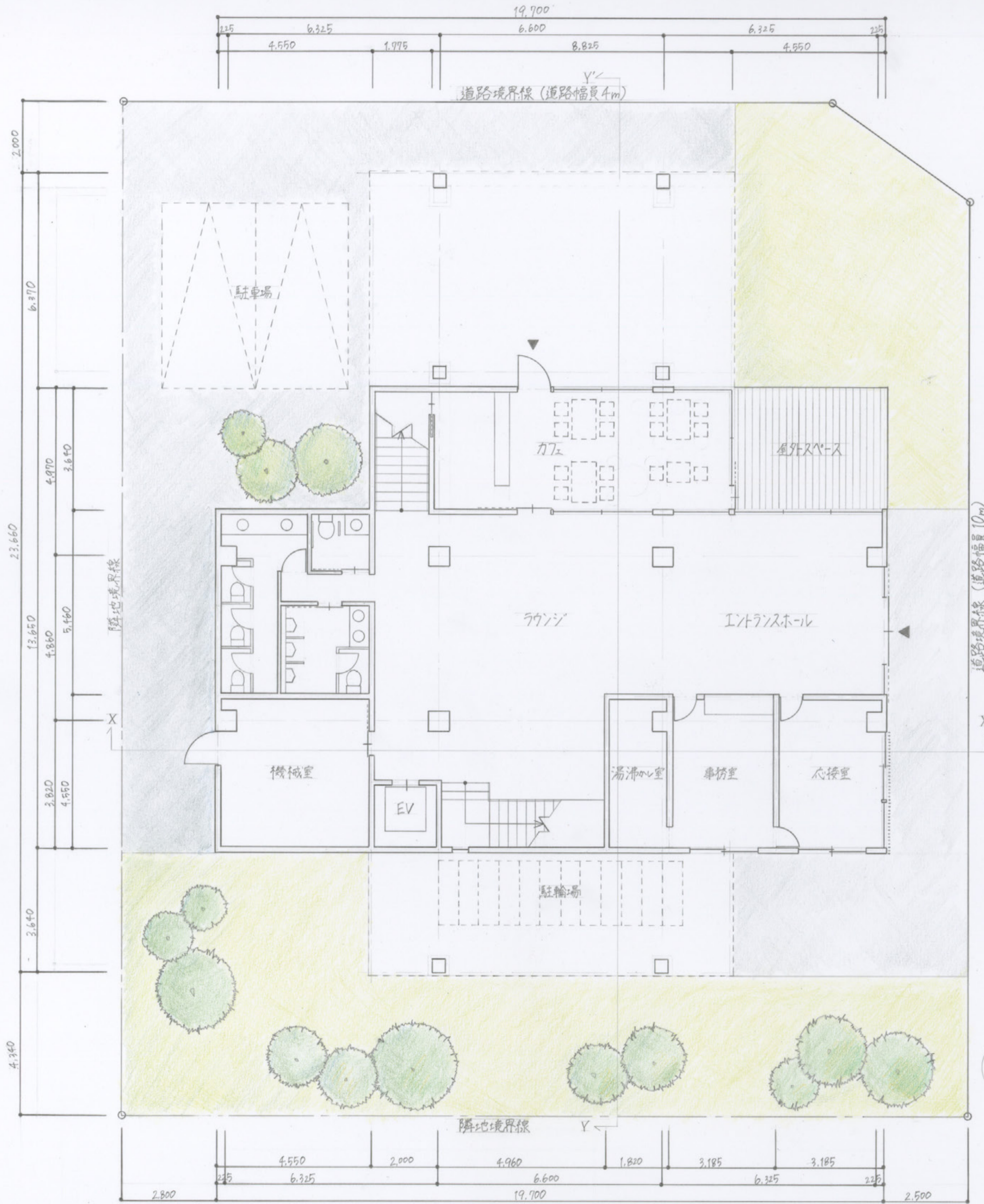


南立面図 S=1/100

Square

西井和

交差する空間



1階平面図兼配置図 縮尺 1/100

コンセプト

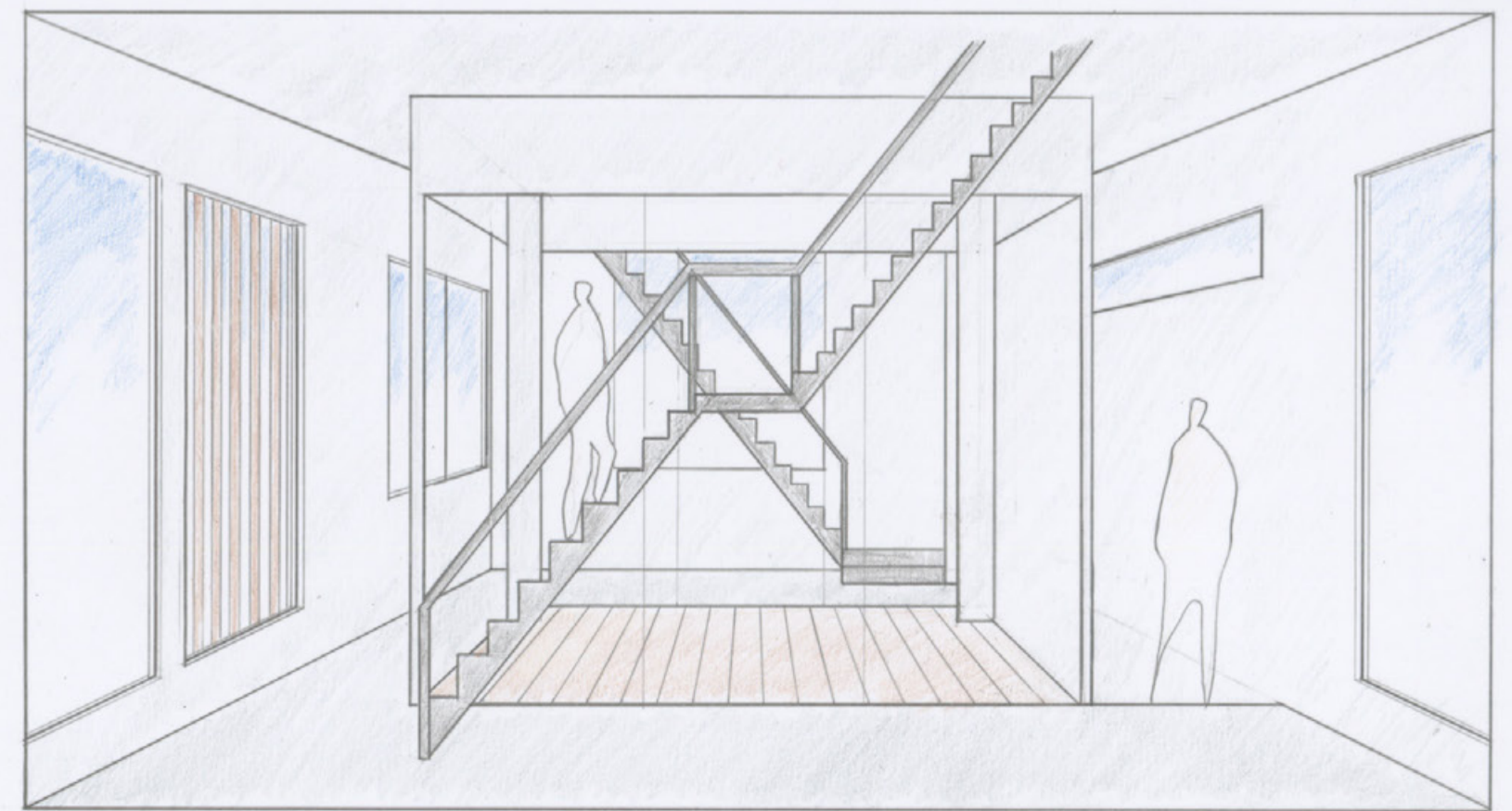
奈良筆づくりの体験型複合施設を設計しました。紙、アトリエ棟に設けた和室では作られた筆を使い、習字や絵はがきを書く体験ができます。

2階を通る2つの階段は多目的ホールと狭いように配置し、階段ご空間が作り出せるようにしました。階段と横から見ると交差するように通っており、題名どおりの「交差する空間」を表現しています。北側の窓と大きく取り、外から内観が見えるようにしました。内部もガラス壁と多く使用し、隣の部屋と交流できる空間にしました。

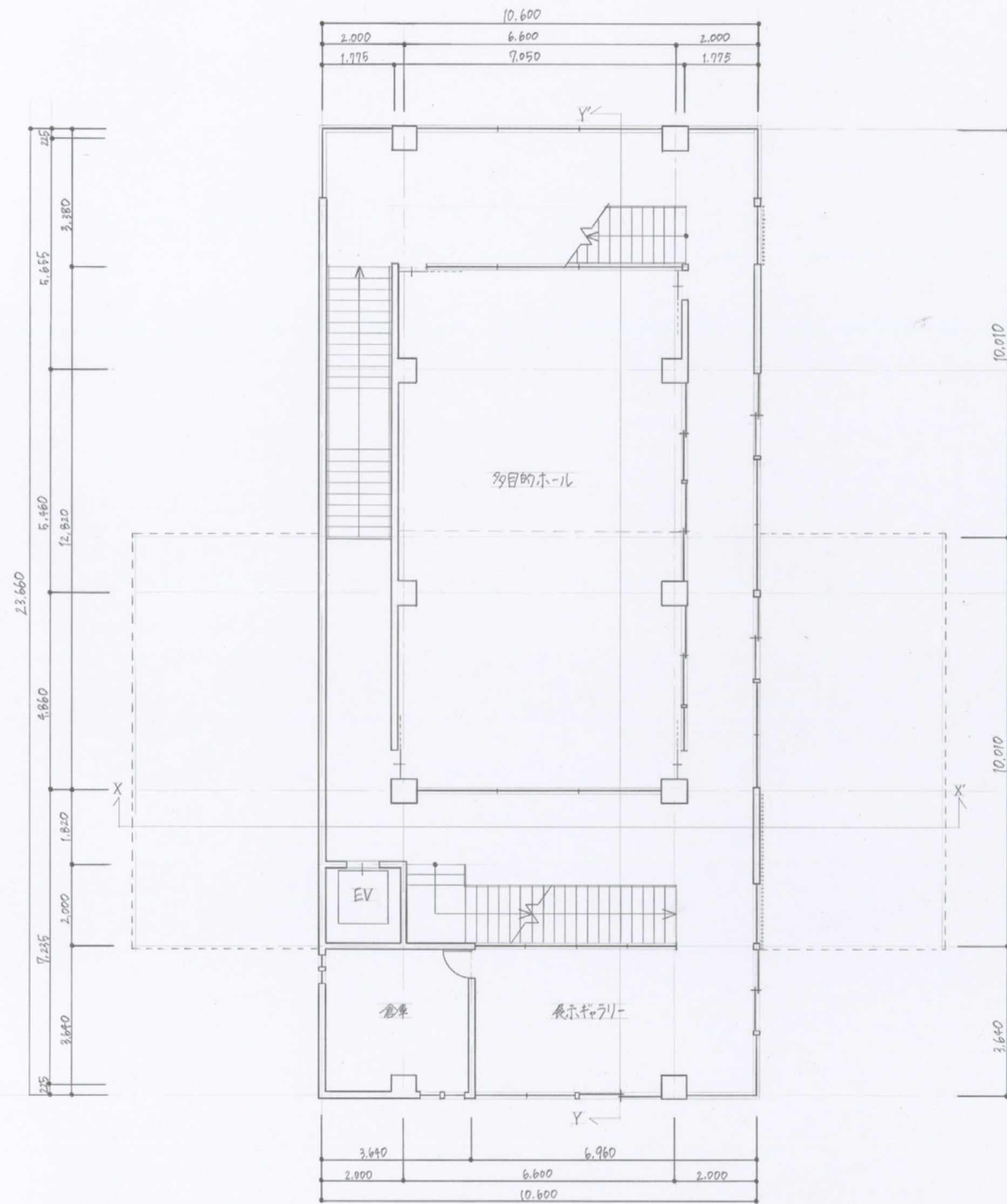
9-7ネットと世界中からの観光客とし、世界中の人々と日本が交わり合う空間になることを目指しました。

面積表	
敷地面積	744.00m ²
建築面積	341.89m ²
床面積	1階 235.78m ²
	2階 250.80m ²
	3階 250.80m ²
延床面積	737.38m ²

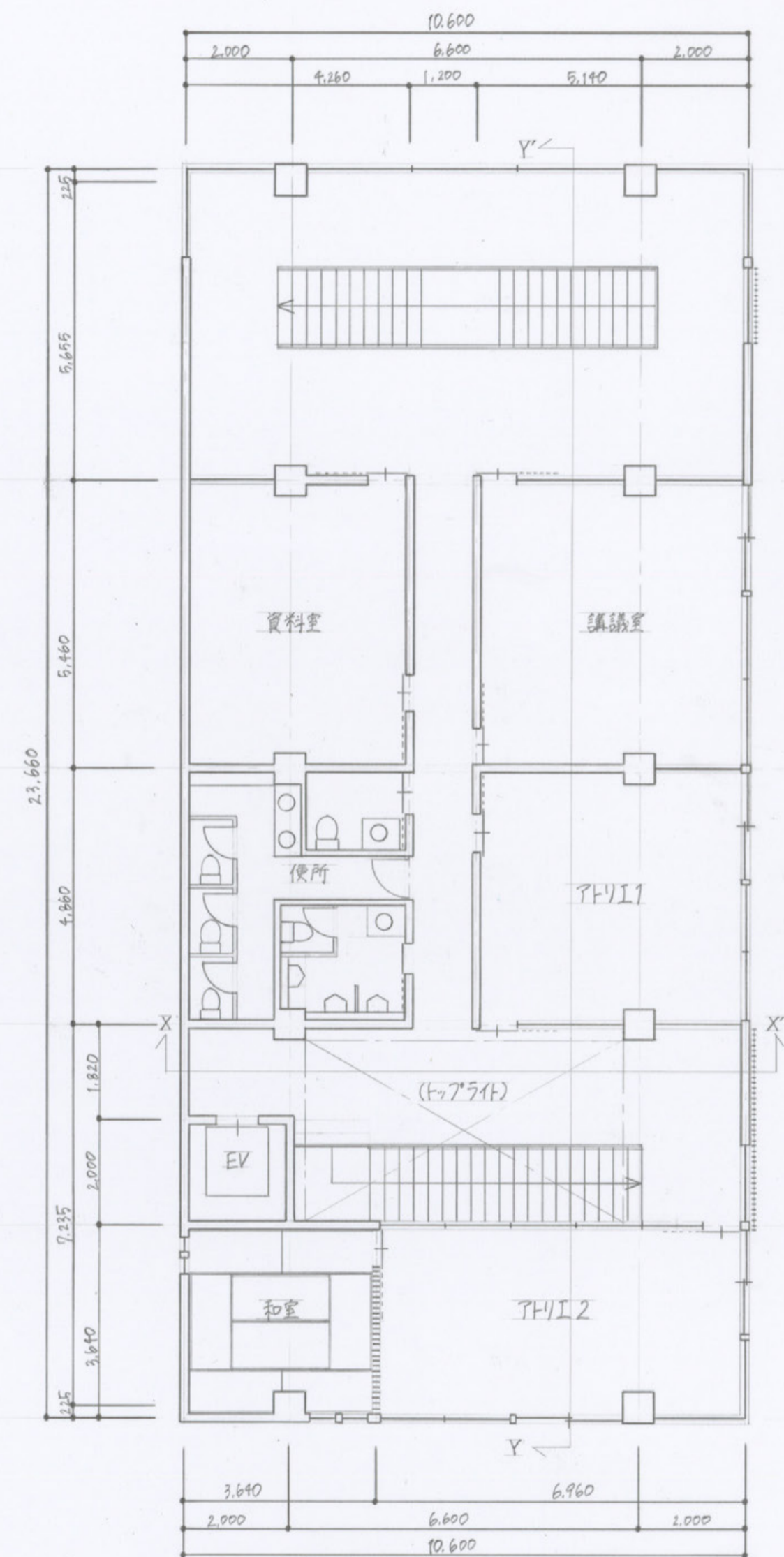
仕上表			
外部仕上			
外壁	シリケート		
屋根	塩ビシート防水 / 緑化		
内部仕上			
	壁	床	天井
エントランス	クロス	モルタル	クロス
カフェ	クロス	モルタル	クロス
多目的ホール	クロス	フローリング	板張り
展示ギャラリー	クロス	モルタル	クロス
アトリエ	クロス	フローリング	板張り
和室	クロス	畳	板張り



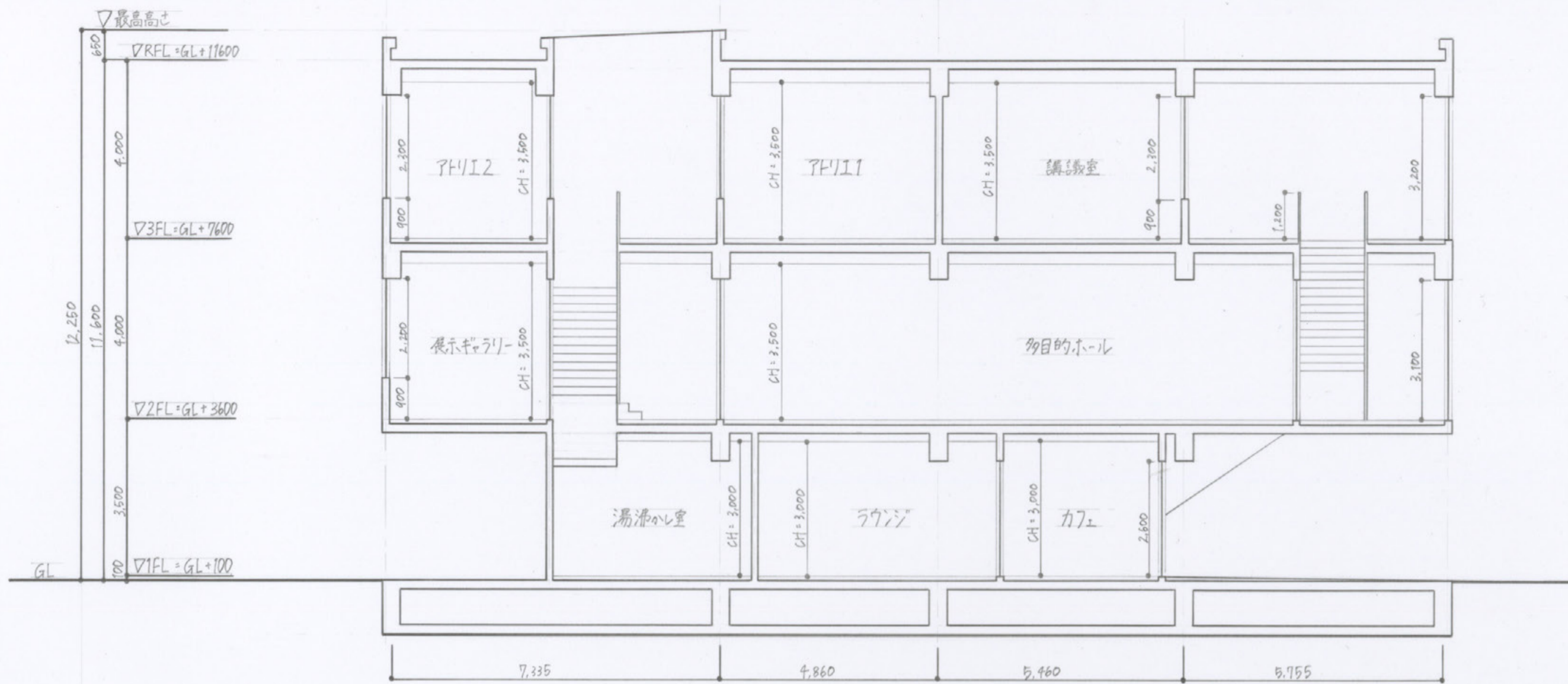
2階 交差する階段



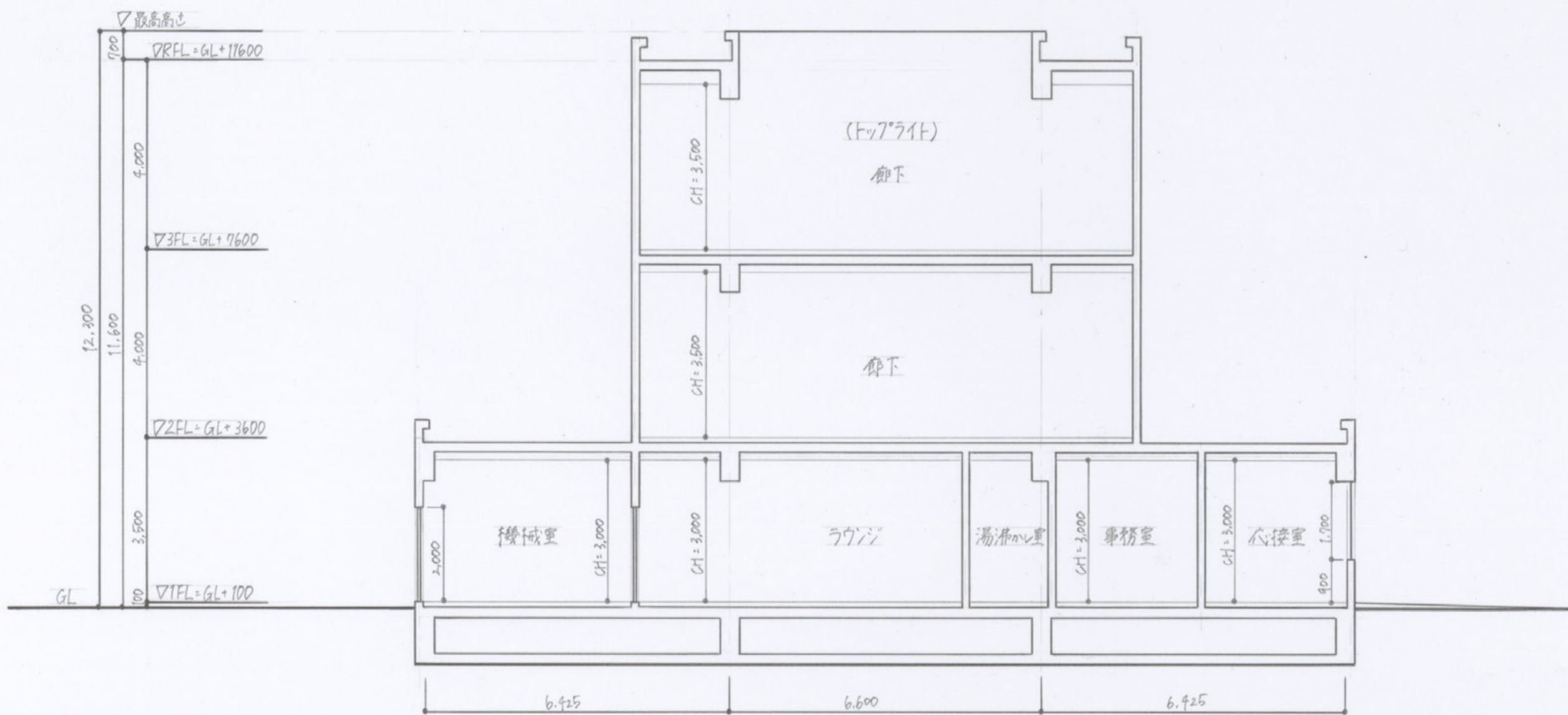
2階平面図 縮尺 1/100



3階平面図 縮尺 1/100



Y-Y'断面図 縮尺 1/100



X-X'断面図 縮尺 1/100

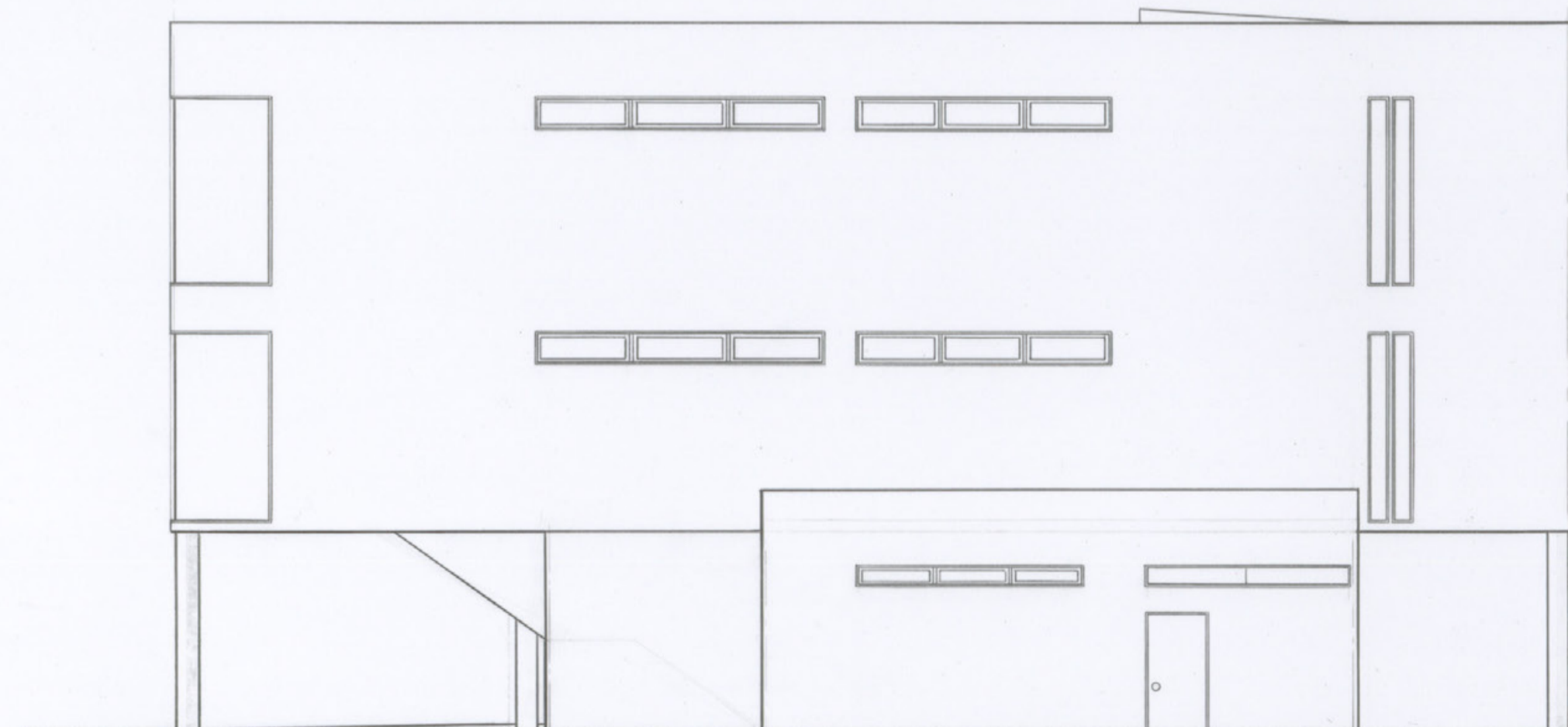




東立面図 縮尺 1/100



南立面図 縮尺 1/100

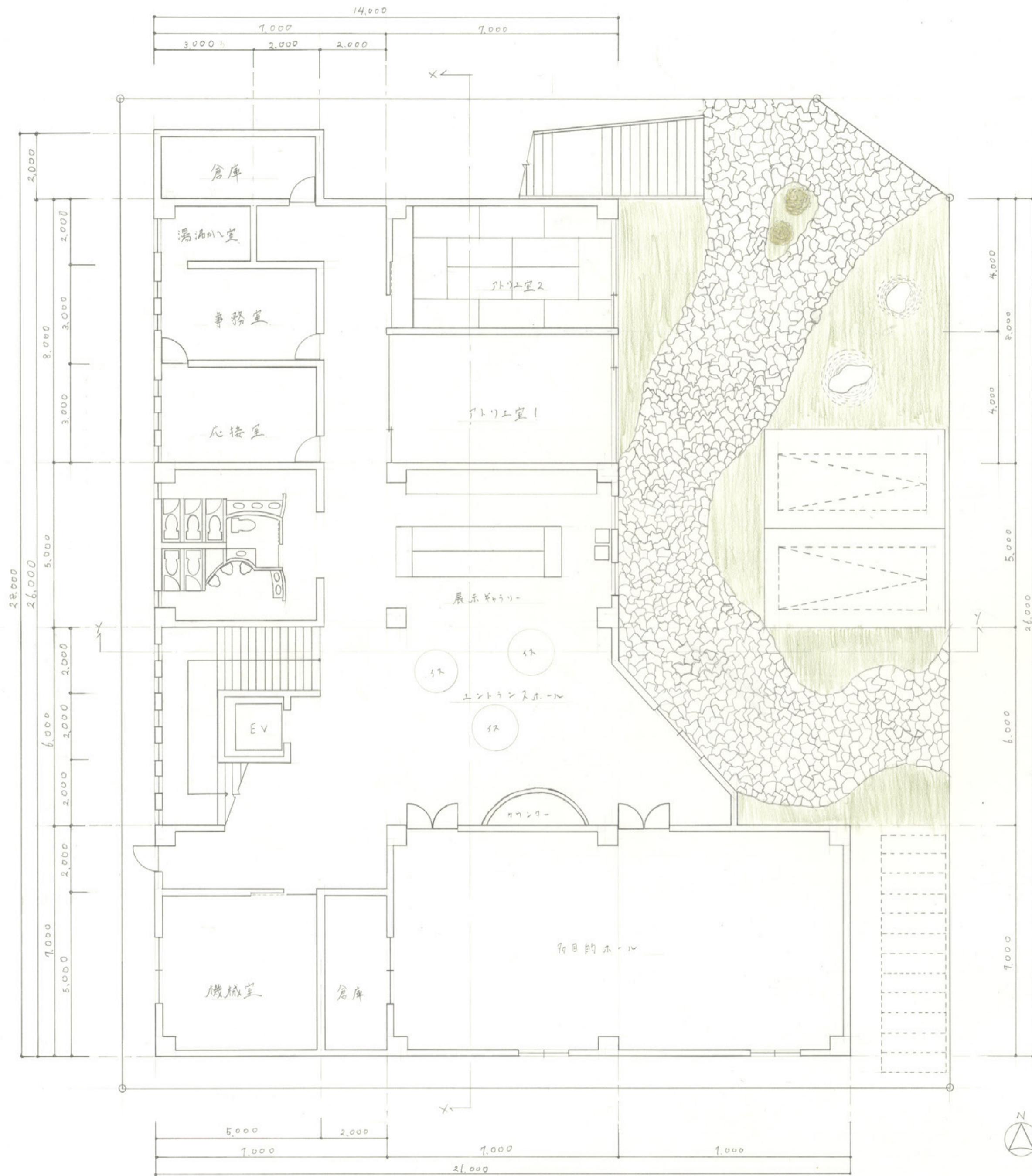


西立面図 縮尺 1/100



北立面図 縮尺 1/100

奈良の施設 時空の場



1階平面図兼配置図

1/100

コンセプト

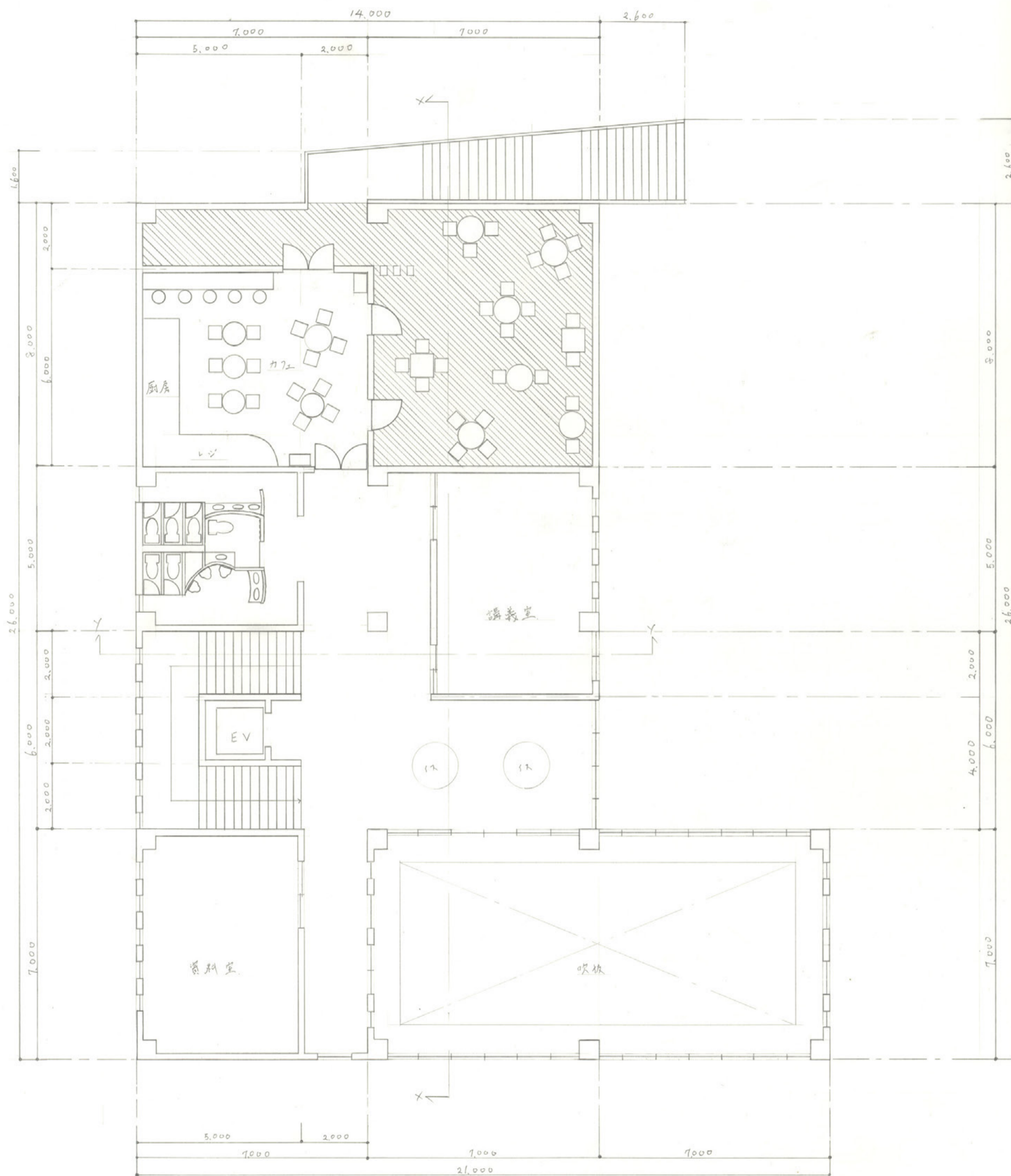
この施設は、奈良公園の一角にあり、アトリウムが主たる施設と、茶道と華道と学ぶための施設と設計された。形に残るものは、写真と同じように思い出して、心に強く残り、その場での体験を通じて、記憶に残る。この施設や体験を通じて、人々には、一度展示ギャラリーで展示される作品を見、作品の美しさ、素晴らしさを、知ってもらい、体験学習として、出入り口に近い場所に展示場をもうけたい。

ガラスと屋根の形と同じにし、一体感を出し、アトリウムの窓を大きくし、体験できるものをアピールしている。カラムだけにより、行きたいという人々を、カラムに直接通る階段を作り、中からじゃあ外から入れるのが、誰かに利用しやすいようにしている。

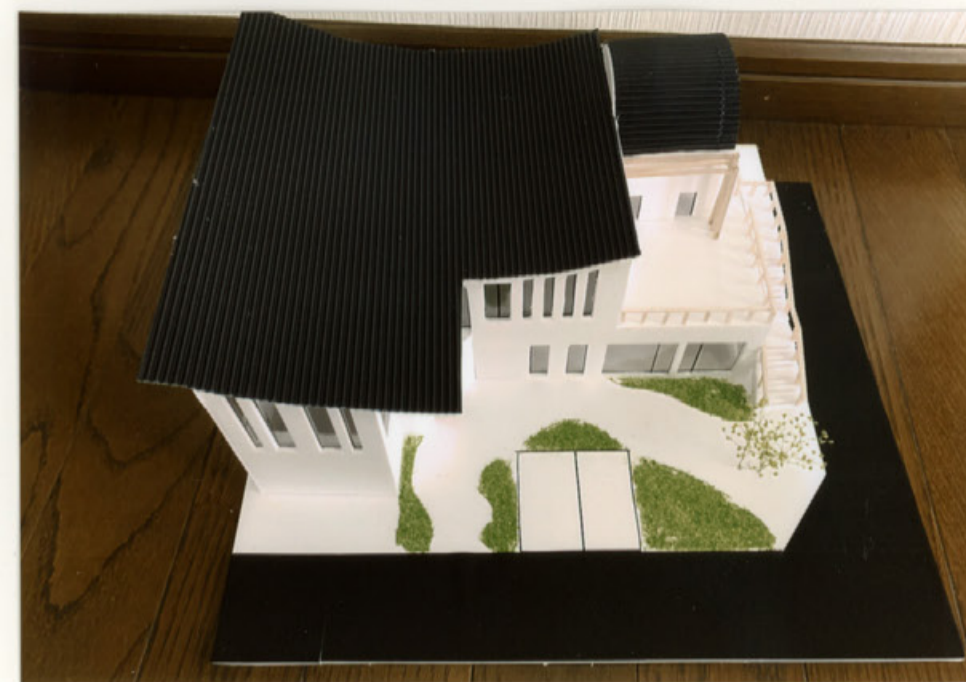
時間と忘れて、奈良町の空間、施設の空間を、楽しんでほしいという意味を、この施設に込めた。

敷地面積	744 m ²
建築面積	491 m ²
1F	491 m ²
2F	259 m ²
延べ床面積	750 m ²

外部 仕上り	屋根	ガルバリウム鋼板		
	外壁	漆喰		
	外構	インゴロッキング		
内部 仕上り	天井	壁	床	
	エントランスホール	吉野杉	吉野杉	調剤フロア
	有目的ホール	吉野杉	吉野杉	調剤フロア
	カラム	吉野杉	調剤板張	フロア
	アトリウム	調剤板張	EP塗装	調剤フロア

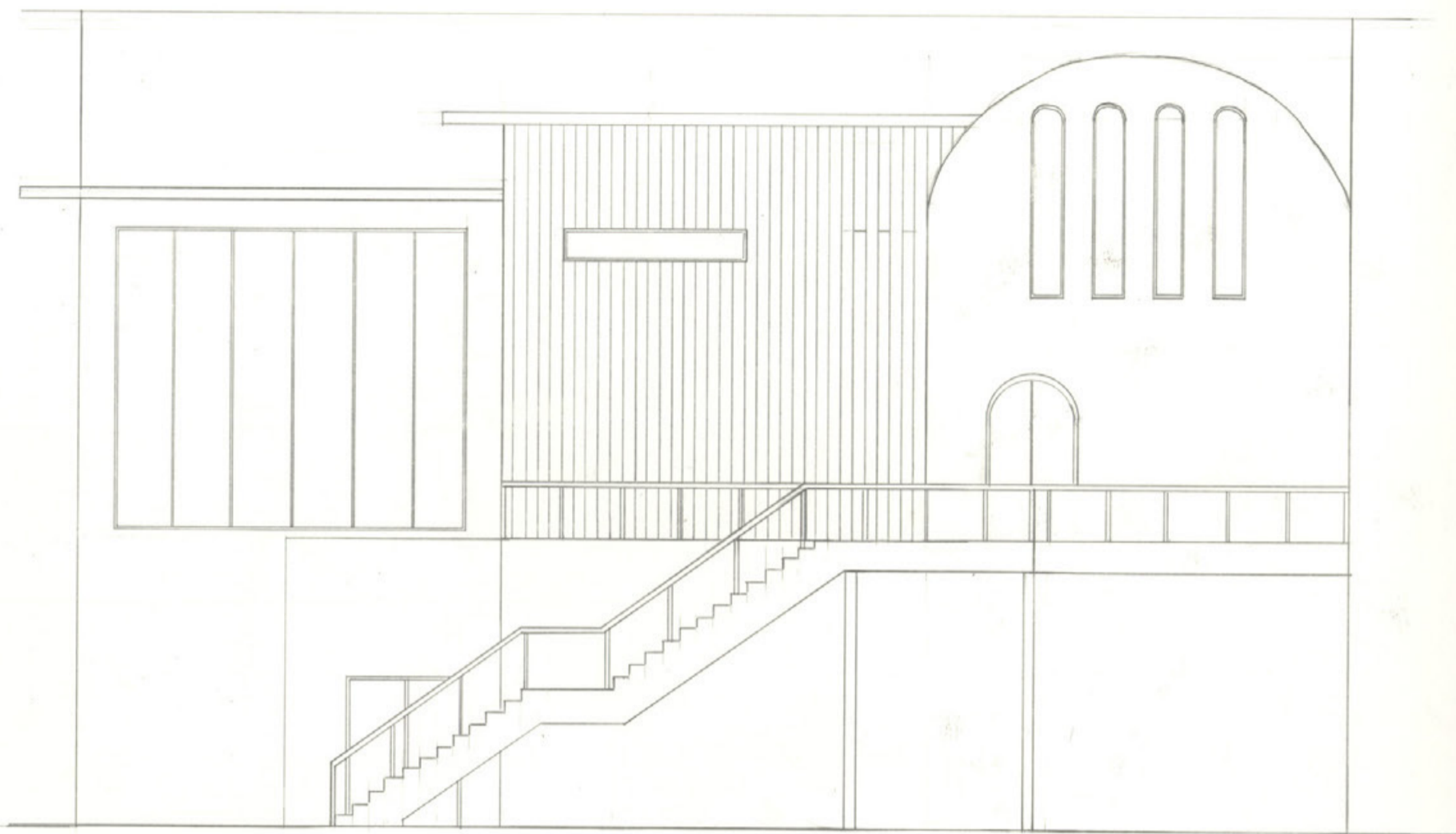


2階平面図

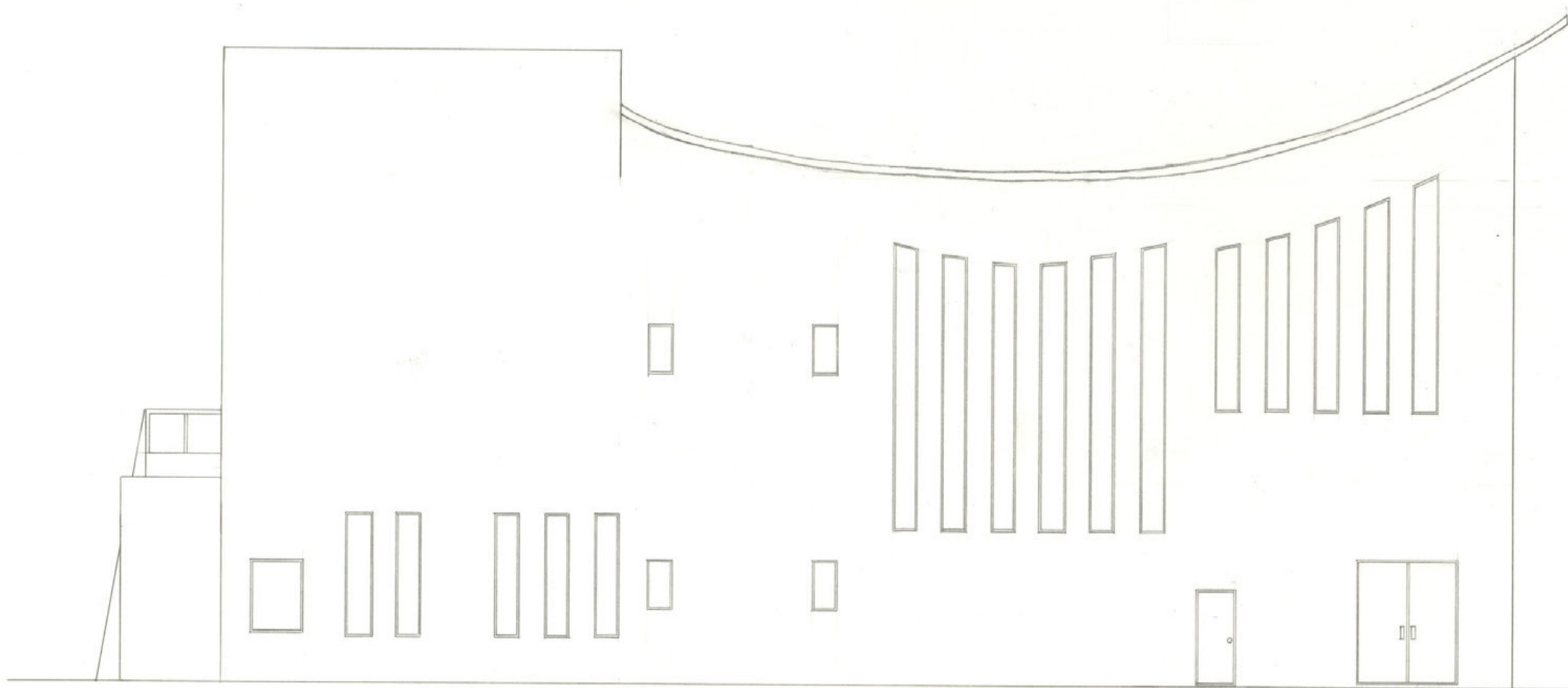




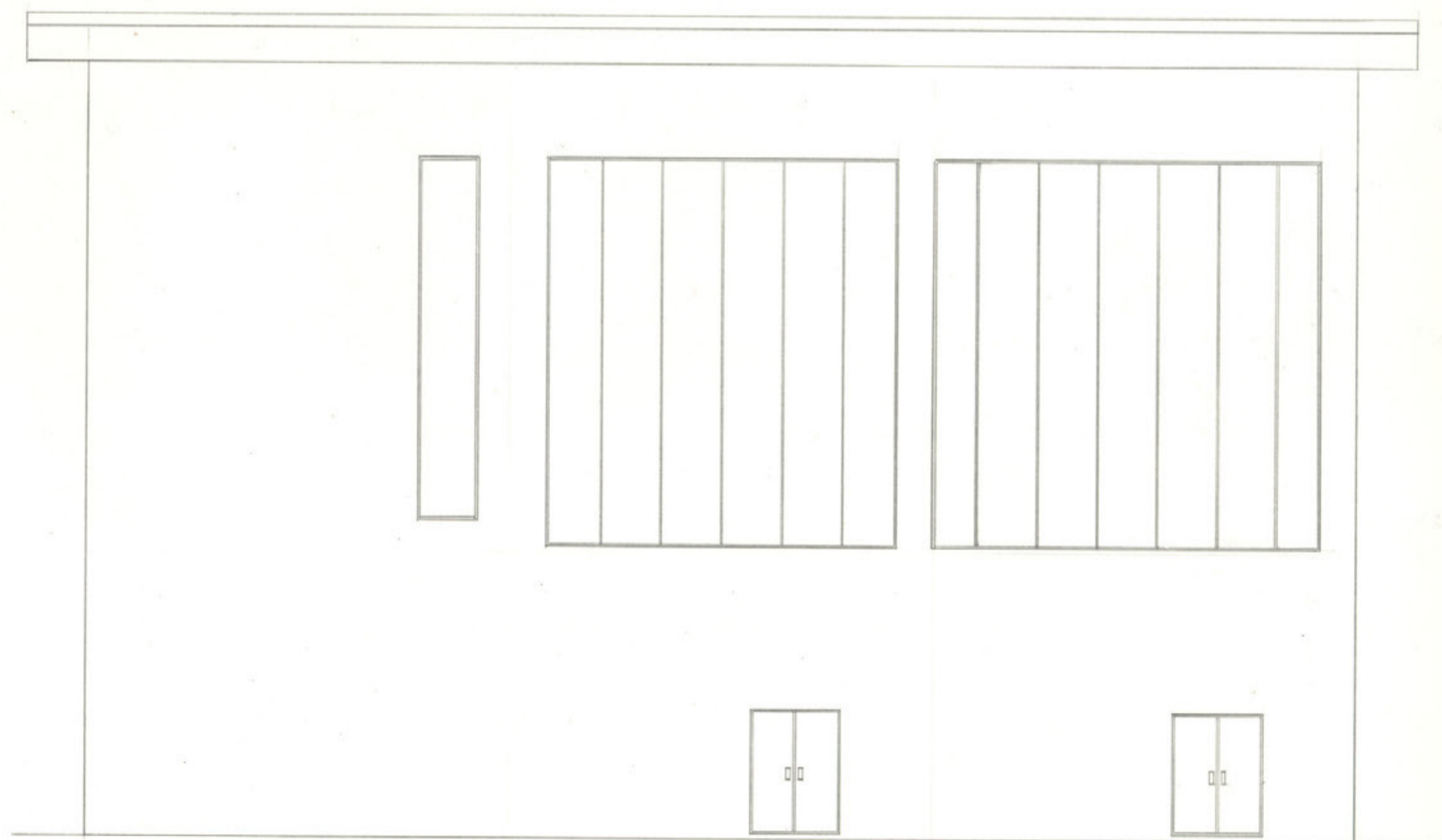
東立面図



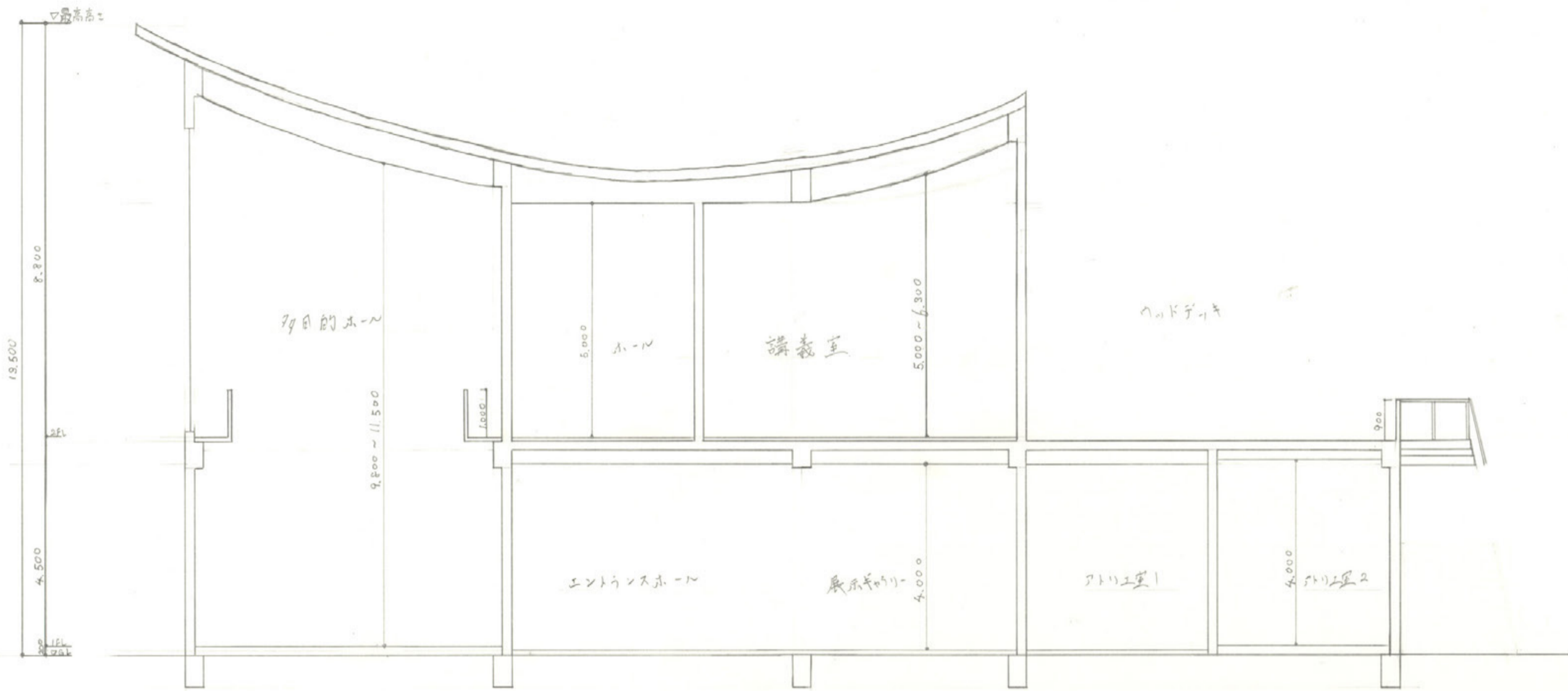
北立面図



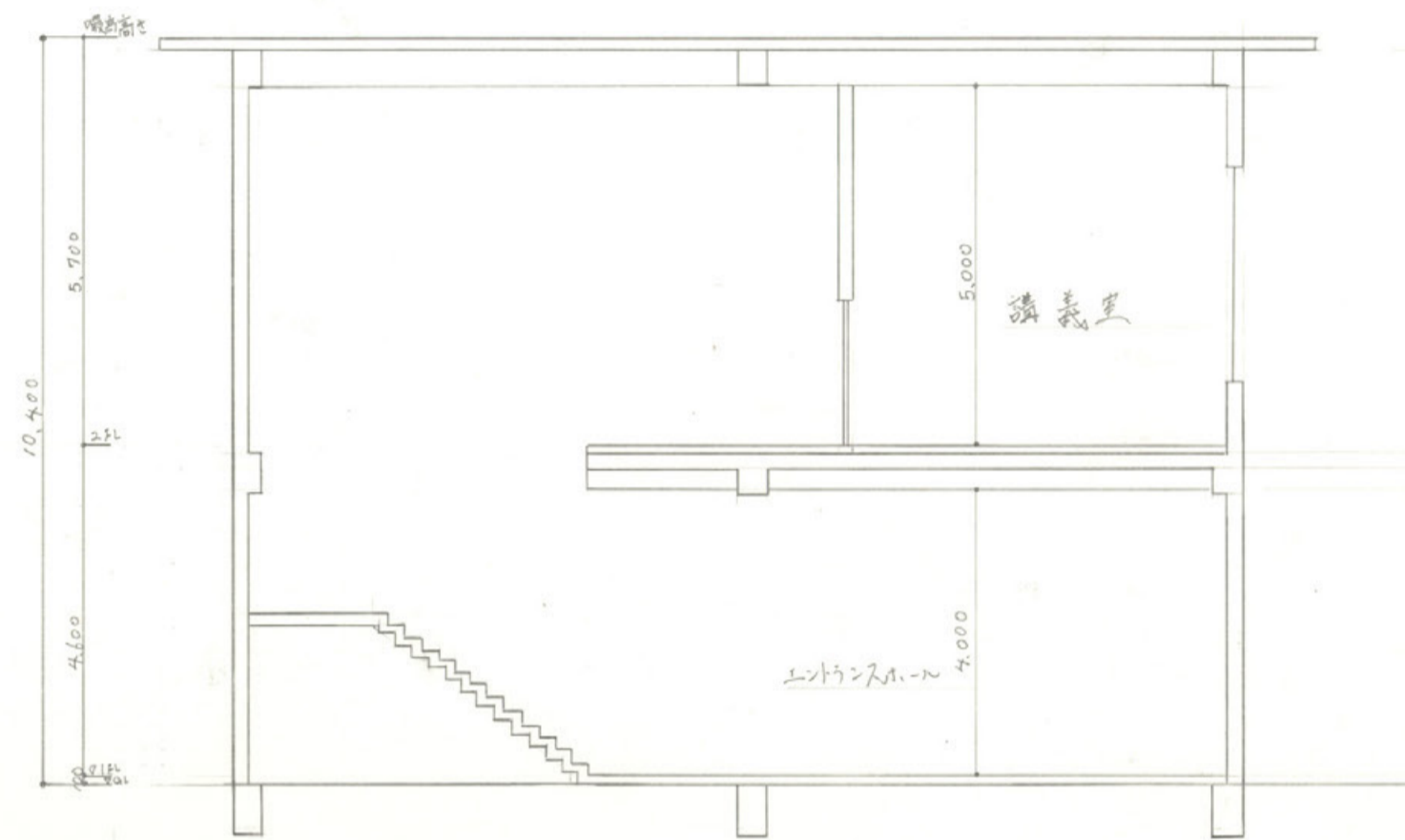
西立面図



南立面図



X-X 断面図



Y-Y 断面図

